

科目名	Ballet I (1) Ballet A(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	近藤南名歩
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	関東大手テーマパークパフォーマー、クラシックバレエ・ジャズダンスインストラクター						
授業の学習 内容	① 踊り全般に必要な基礎や表現力を身につける ② 全ジャンルの基礎 ③ 他ジャンルとの繋がりを見つけ、バレエの必要性を知って欲しい						
到達目標	バレエとは何かを理解し、踊るための身体の作り方を知る						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	バレエとは？/他ジャンルとの関連/目標設定	なぜ踊るためにバレエは必要かを考える
2	5月7日	講義・演習	基本姿勢/足のポジション/体幹トレーニング	姿勢、ポジションの復習/体幹トレーニング
3	5月14日	講義・演習	ストレッチ/アームスの運び	ストレッチ/体幹トレーニング/アームスの復習
4	5月21日	講義・演習	ストレッチ/バー(ブリエ、タンデュ、ジュテ)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
5	5月28日	講義・演習	ストレッチ/バー(ブリエ、タンデュ、ジュテ)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
6	6月4日	講義・演習	ストレッチ/バー(ロンドジャンプ、フォンデュ)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
7	6月11日	講義・演習	ストレッチ/バー(ロンドジャンプ、フォンデュ)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
8	6月18日	講義・演習	ストレッチ/バー(フラッペ)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
9	6月25日	講義・演習	ストレッチ/バー(アダージオ、グランバットマン)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
10	7月2日	講義・演習	ストレッチ/バー(アダージオ、グランバットマン)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
11	7月9日	講義・演習	テスト(バーレッスン)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
12	7月16日	講義・演習	ストレッチ/バー(ブリエ〜グランバットマン)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
13	8月27日	講義・演習	前期の振り返り/今後の課題	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
なし				

科目名	Ballet I (1) Ballet B(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ロシアワガノワバレエアカデミー留学卒業、元谷桃子バレエ団ソリスト						
授業の学習 内容	①バレエは、ダンス全般及び演技に共通して通用する部分が非常に多いので、将来、ダンス関係及び舞台関係への就職を少しでも考えているならば必須です。②ダンス全般の授業と関係します。しなやかで強い筋肉、軸のぶれない体幹、美しい身体のライン、音の聞き方感じ方、以上の体得という位置付けです。③バレエは専門的且つ基礎的で地味な練習が多いが毎時間繰り返し返す事で精神力も鍛え、自分の身体、自分の可能性としっかりと向き合い、卒業後の進路の可能性を広げてほしい。①～③をふまえて柔軟性を高めるためのストレッチ、体幹強化とバレエの基礎知識習得の為にパーレッスン、バレエのステップへの理解を深める為、ジャンプ、回転も多用したセンターレッスン(パーレッスン、センターレッスン、共に音楽に合わせて行う)。						
到達目標	当たり前ではあるが、休まず毎時間出席する事が第1目標。最終的にはバレエのポジション、ステップコンビネーションの説明の理解が出来、尚且つ実践できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	4月14日	講義・演習	前屈ストレッチ、横開脚ストレッチ、縦開脚ストレッチ、下半身の筋肉のストレッチ(大臀筋、腓腹筋等)、上半身の筋肉のストレッチ(僧帽筋等)。	知っているストレッチをやっておく。	
2	4月21日	講義・演習	プリエ:身体をまっすぐにたてる意識を持つ事を重点的に。	1で学んだストレッチ、筋力トレーニング。手のポジション、足のポジションの復習。	
3	5月12日	講義・演習	タンジュとジュテ:自分の前横後ろへ身体がぶれずに真っ直ぐに足を出せる事を重点的に。	2で学んだストレッチ、筋力トレーニング。プリエの復習。	
4	5月19日	講義・演習	ストレッチ、筋力トレーニング、パーレッスン タンジュとジュテ:足の指、ドゥミをきちんと使えるように意識することを重点的に。	3で学んだストレッチ、筋力トレーニング。タンジュ、ジュテの復習。	
5	5月26日	講義・演習	ロンデジャンプ:前横後ろのタンジュを連続して繋げて動かす事を覚える。動かすときに身体、腰がブレない事を意識して。パッセの説明。	4で学んだストレッチ、筋力トレーニング。タンジュ、ジュテの復習。	
6	6月2日	講義・演習	フォンデュ:片足のプリエ、及びクベの形を理解、習得。	5で学んだストレッチ、筋力トレーニング。ロンデジャンプ、パッセの復習。	
7	6月9日	講義・演習	フラッペ:体幹がブレずに音、リズムに合わせてはっきりと素早く足を動かせる。	6で学んだストレッチ、筋力トレーニング。フォンデュ、クベの復習。	
8	6月16日	講義・演習	アダジオとグランバットマン:タンジュを通して足を高く上げ、キープ出来るように。素早く高く上げられるように。	7で学んだストレッチ、筋力トレーニング。フラッペの復習。	
9	6月23日	講義・演習	アダジオとグランバットマン:デベロッパの習得。	8で学んだストレッチ、筋力トレーニング。アダジオ、グランバットマンの復習。	
10	6月30日	講義・演習	ルルベの確認。	9で学んだストレッチ、筋力トレーニング。デベロッパの復習。	
11	7月7日	講義・演習	スシュとエシャッペの説明。	10で学んだストレッチ、筋力トレーニング。ルルベの復習。	
12	7月14日	講義・演習	シャンジュマンの説明。	11で学んだストレッチ、筋力トレーニング。スシュとエシャッペの復習。	
13	8月25日	講義・演習	試験 12までのパーレッスン及びセンターレッスンの内容に対する理解力の確認。	12で学んだストレッチ、筋力トレーニング。シャンジュマンの復習。	
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ。	ワークシート提出。	
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ。	ワークシート提出。	
準備学習 時間外学習			授業前後のストレッチと筋力トレーニング。授業内容や気付いたことをノート等へ書き残しておく。		
【使用教科書・教材・参考書】					
シューズ、レオタード、夏場等必要な場合はタオル					

科目名	Ballet I (2) Ballet A(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	近藤南名歩
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	関東大手テーマパークパフォーマー、クラシックバレエ・ジャズダンスインストラクター						
授業の学習 内容	① 踊り全般に必要な基礎や表現力を身につける ② 全ジャンルの基礎 ③ 他ジャンルとの繋がりを見つけ、バレエの必要性を知って欲しい						
到達目標	足のポジション、アームスの運び、パを覚え、身体の動きと連動できるようにする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	前期の振り返り／目標設定	前期の反省／今後の目標を考えておく
2	10月15日	講義・演習	ストレッチ／バー(プリエ～ロンドジャンプ)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
3	10月22日	講義・演習	ストレッチ／バー(フォンデュ～グランバットマン)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
4	10月29日	講義・演習	ストレッチ／バー(プリエ～グランバットマン)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
5	11月5日	講義・演習	バー／センター(アダージオ)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
6	11月12日	講義・演習	バー／センター(タンデュ、ジュテ)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
7	11月19日	講義・演習	バー／センター(ピルエット)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
8	11月26日	講義・演習	バー／センター(アレグロ)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
9	12月3日	講義・演習	バー／センター(グランワルツ)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
10	12月10日	講義・演習	バー／センター(ターン)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
11	12月17日	講義・演習	テスト	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
12	1月21日	講義・演習	バー／センター(アダージオ～ターン)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
13	2月4日	講義・演習	1年間の振り返り／今後の課題	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
なし				

科目名	Ballet I (2) Ballet B(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ロシアワガノワバレエアカデミー留学卒業、元谷桃子バレエ団ソリスト						
授業の学習 内容	①バレエは、ダンス全般及び演技に共通して通用する部分が非常に多いので、将来、ダンス関係及び舞台関係への就職を少しでも考えているならば必須です。②ダンス全般の授業と関係します。しなやかで強い筋肉、軸のぶれない体幹、美しい身体のライン、音の聞き方感じ方、以上の体得という位置付けです。③バレエは専門的且つ基礎的で地味な練習が多いが毎時間繰り返す事で精神力も鍛え、自分の身体、自分の可能性としっかりと向き合い、卒業後の進路の可能性を広げてほしい。①～③をふまえて柔軟性を高めるためのストレッチ、体幹強化とバレエの基礎知識習得の為にパーレッスン、バレエのステップへの理解を深める為、ジャンプ、回転も多用したセンターレッスン(パーレッスン、センターレッスン、共に音楽に合わせて行う)。						
到達目標	当たり前ではあるが、休まず毎時間出席する事が第1目標。最終的にはバレエのポジション、ステップコンビネーションの説明の理解が出来、尚且つ実践できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	センターレッスンでの角度、身体の向きの説明、エファセ、クロワゼ、エカルテ等。	前期に学んだストレッチ、筋力トレーニング。
2	10月13日	講義・演習	バーを使わずに体幹を保ってタンジュ、グランバットマンと片足でパッセのバランス。	1で学んだストレッチ、筋力トレーニング。センターレッスンでの身体の向き、角度の復習。
3	10月20日	講義・演習	回転をする時の首から上、顔の使い方、アンデダンとアンデオールのビルエットの説明と実践。	2で学んだストレッチ、筋力トレーニング。センターでのタンジュ、グランバットマン、パッセのやり方の復習。
4	10月27日	講義・演習	バーを使わずにアダジオ、デベロペの実践。	3で学んだストレッチ、筋力トレーニング。ビルエットのアンデオールとアンデダンの違いの復習。
5	11月3日	講義・演習	センターでのスシュとエシャッペ、スモールジャンプ(ジャンジュマンやスープリナーなど)前後左右に動かないその場でやるもの、の説明と実践。	4で学んだストレッチ、筋力トレーニング。センターレッスンでのアダジオの復習。
6	11月10日	講義・演習	グリッサードとアッサンブレの説明と実践。	5で学んだストレッチ、筋力トレーニング。スシュ、エシャッペとスモールジャンプの復習。
7	11月17日	講義・演習	5.6.7の内容を応用したコンビネーション。	6で学んだストレッチ、筋力トレーニング。グリッサードとアッサンブレの復習。
8	11月24日	講義・演習	大きなジャンプ、グランワルツ、基本的なコンビネーションで。	7で学んだストレッチ、筋力トレーニング。アレグロジャンプの復習。
9	12月1日	講義・演習	グランワルツを少し複雑なコンビネーションで。	8で学んだストレッチ、筋力トレーニング。グランワルツの復習。
10	12月8日	講義・演習	シェネ、ピケアンデダン等、早い回転の連続技の説明と実践。	9で学んだストレッチ、筋力トレーニング。グランワルツの復習。
11	12月15日	講義・演習	シェネとピケアンデダンのコンビネーション。	10で学んだストレッチ、筋力トレーニング。シェネとピケアンデダンの復習。
12	1月19日	講義・演習	ジャンプとターンのコンビネーション。	11で学んだストレッチ、筋力トレーニング。連続回転コンビネーションの復習。
13	2月2日	講義・演習	13:試験 後期12までのパーレッスン及びセンターレッスンの内容に対する理解力の確認。	12で学んだストレッチ、筋力トレーニング。今までに習ったコンビネーションや回転技が出来るか試してみる。
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ。	ワークシート提出。
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ。	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習			授業前後のストレッチと筋力トレーニング。授業内容や気付いたことをノート等へ書き残しておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、レオタード、夏場等必要な場合はタオル				

科目名	Ballet II(1)Ballet C(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	白石純子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季、オリエンタルランド、ダンス講師、振付家						
授業の学習 内容	基礎トレーニングの中で身体の隅々までコントロールできる身体作り、身体の仕組みを理解し、そのための解剖学、分解学を学ぶ。 身体の癖や思い込みをなくし、全てのジャンルのダンスに繋がるバレエを学ぶ。						
到達目標	身体のコアの未開拓の部分を整備して、中心から末端まで意識を届け、コントロールできる身体を目指し、技術の向上を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバー(前半)	なぜこの授業を選択したのかを意識的に確認する
2	4月24日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバー(後半)	基礎トレーニングの復習
3	5月8日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバーの復習	基礎トレーニングの復習
4	5月15日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバー、ターンの基礎	基礎トレーニングの復習
5	5月22日	講義・演習	バー、センター基礎と順番	基礎トレーニングの復習
6	5月29日	講義・演習	バー、センター(ターン、スモールジャンプ)	基礎トレーニングの復習
7	6月5日	講義・演習	バー、センター(ターン、スモールジャンプ)応用	基礎トレーニングの復習
8	6月12日	講義・演習	バー、センター、細かい繋ぎの基礎	基礎トレーニングの復習
9	6月19日	講義・演習	バー、センター、大ジャンプの技の基礎	応用の予習復習
10	7月3日	講義・演習	バー、センター、技の種類の取得	応用の予習復習
11	7月10日	講義・演習	バー、センター、グランワルツまで	応用の予習復習
12	7月17日	講義・演習	バー、センター、グランワルツまでのテスト	まとめ
13	8月21日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	レポートの提出
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどの動画をみること	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Ballet II(1) Ballet D(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	近藤南名歩
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	関東大手テーマパークパフォーマー、クラシックバレエ・ジャズダンスインストラクター						
授業の学習 内容	① 踊り全般に必要な基礎や表現力を身につけ、応用する ② 全ジャンルの基礎 ③ 他ジャンルとの繋がりを見つけ、バレエの必要性を知って欲しい						
到達目標	バーを使わずに、身体をコントロールする力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	バレエとは？/他ジャンルとの関連/目標設定	バレエがなぜ踊るために必要か考える
2	5月7日	講義・演習	基本姿勢/足のポジション/体幹トレーニング	姿勢、ポジションの復習/体幹トレーニング
3	5月14日	講義・演習	ストレッチ/体幹トレーニング/アームスの運び	ストレッチ/体幹トレーニング/アームスの復習
4	5月21日	講義・演習	ストレッチ/体幹トレーニング/バー(プリエ、タンデュ、ジュテ)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
5	5月28日	講義・演習	ストレッチ/体幹トレーニング/バー(プリエ、タンデュ、ジュテ)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
6	6月4日	講義・演習	ストレッチ/体幹トレーニング/バー(ロンドジャンプ、フォンデュ)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
7	6月11日	講義・演習	ストレッチ/体幹トレーニング/バー(ロンドジャンプ、フォンデュ)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
8	6月18日	講義・演習	ストレッチ/体幹トレーニング/バー(フラッペ)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
9	6月25日	講義・演習	ストレッチ/体幹トレーニング/バー(アダージオ、グランバットマン)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
10	7月2日	講義・演習	ストレッチ/体幹トレーニング/バー(アダージオ、グランバットマン)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
11	7月9日	講義・演習	ストレッチ/体幹トレーニング/バー(プリエ〜グランバットマン)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
12	7月16日	講義・演習	テスト/前期の振り返り/今後の課題	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
13	8月27日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	レポートの提出
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Ballet II (2) Ballet C(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	白石純子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季、オリエンタルランド、ダンス講師、振付家						
授業の学習 内容	基礎トレーニングの中で身体の隅々までコントロールできる身体作り、身体の仕組みを理解し、そのための解剖学、分解学を学ぶ。 身体の癖や思い込みをなくし、全てのジャンルのダンスに繋がるバレエを学ぶ。						
到達目標	身体のコアの未開拓の部分を整備して、中心から末端まで意識を届け、コントロールできる身体を目指し、技術の向上を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	バー、センター復習	基礎トレーニングの復習
2	10月16日	講義・演習	バー、センター復習	基礎トレーニングの復習
3	10月23日	講義・演習	バー、センター、スモールジャンプ、ターンの復習	基礎トレーニングの復習
4	10月30日	講義・演習	バー、センター、スモールジャンプ、ターンの復習	基礎トレーニングの復習
5	11月6日	講義・演習	バー、センター、スモールジャンプ、ターンの応用	基礎トレーニングの復習
6	11月13日	講義・演習	バー、センター、スモールジャンプ、ターンの応用	基礎トレーニングの復習
7	11月20日	講義・演習	身体づくりの基礎を振り返る	基礎トレーニングの復習
8	11月27日	講義・演習	身体づくりの基礎から難しい技へ繋げる考え方	基礎トレーニングの復習
9	12月4日	講義・演習	身体づくりの基礎から難しい技へ繋げる考え方	応用の予習復習
10	12月11日	講義・演習	バー、センター、グランワルツまで、体の仕組み分解学の理解	応用の予習復習
11	12月18日	講義・演習	身体の隅々までコントロールし表現できるところまで繋げる	応用の予習復習
12	1月15日	講義・演習	バー、センター、グランワルツまでのテスト	まとめ
13	1月22日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	レポートの提出
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどの動画をみること	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Ballet II (2) Ballet D(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	近藤南名歩
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	関東大手テーマパークパフォーマー、クラシックバレエ・ジャズダンスインストラクター						
授業の学習 内容	基礎トレーニングの中で身体の隅々までコントロールできる身体作り、身体の仕組みを理解し、そのための解剖学、分解学を学ぶ。 身体の癖や思い込みをなくし、全てのジャンルのダンスに繋がるバレエを学ぶ。						
到達目標	身体のコアの未開拓の部分を整備して、中心から末端まで意識を届け、コントロールできる身体を目指し、技術の向上を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	バー、センター復習	基礎トレーニングの復習
2	10月15日	講義・演習	バー、センター復習	基礎トレーニングの復習
3	10月22日	講義・演習	バー、センター、スモールジャンプ、ターンの復習	基礎トレーニングの復習
4	10月29日	講義・演習	バー、センター、スモールジャンプ、ターンの復習	基礎トレーニングの復習
5	11月5日	講義・演習	バー、センター、スモールジャンプ、ターンの応用	基礎トレーニングの復習
6	11月12日	講義・演習	バー、センター、スモールジャンプ、ターンの応用	基礎トレーニングの復習
7	11月19日	講義・演習	身体づくりの基礎を振り返る	基礎トレーニングの復習
8	11月26日	講義・演習	身体づくりの基礎から難しい技へ繋げる考え方	基礎トレーニングの復習
9	12月3日	講義・演習	身体づくりの基礎から難しい技へ繋げる考え方	応用の予習復習
10	12月10日	講義・演習	バー、センター、グランワルツまで、体の仕組み分解学の理解	応用の予習復習
11	12月17日	講義・演習	身体の隅々までコントロールし表現できるところまで繋げる	応用の予習復習
12	1月21日	講義・演習	バー、センター、グランワルツまでのテスト	まとめ
13	2月4日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	レポートの提出
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Ballet Ⅲ(1) Ballet Intro(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	近藤南名歩
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	関東大手テーマパークパフォーマー、クラシックバレエ・ジャズダンスインストラクター						
授業の学習 内容	① 踊り全般に必要な基礎や表現力を身につける ② 全ジャンルの基礎 ③ 他ジャンルとの繋がりを見つけ、バレエの必要性を知って欲しい						
到達目標	バレエとは何かを理解し、踊るための身体の作り方を知る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	バレエとは？/他ジャンルとの関連/目標設定	バレエがなぜ踊るために必要か考える
2	5月7日	講義・演習	基本姿勢/足のポジション/体幹トレーニング	姿勢、ポジションの復習/体幹トレーニング
3	5月14日	講義・演習	ストレッチ/体幹トレーニング/アームスの運び	ストレッチ/体幹トレーニング/アームスの復習
4	5月21日	講義・演習	ストレッチ/体幹トレーニング/バー(プリエ、タンデュ、ジュテ)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
5	5月28日	講義・演習	ストレッチ/体幹トレーニング/バー(プリエ、タンデュ、ジュテ)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
6	6月4日	講義・演習	ストレッチ/体幹トレーニング/バー(ロンドジャンプ、フォンデュ)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
7	6月11日	講義・演習	ストレッチ/体幹トレーニング/バー(ロンドジャンプ、フォンデュ)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
8	6月18日	講義・演習	ストレッチ/体幹トレーニング/バー(フラッペ)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
9	6月25日	講義・演習	ストレッチ/体幹トレーニング/バー(アダージオ、グランバットマン)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
10	7月2日	講義・演習	ストレッチ/体幹トレーニング/バー(アダージオ、グランバットマン)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
11	7月9日	講義・演習	ストレッチ/体幹トレーニング/バー(プリエ〜グランバットマン)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
12	7月16日	講義・演習	テスト/前期の振り返り/今後の課題	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
13	8月27日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	レポートの提出
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			事前のストレッチ、体幹トレーニング、前授業の復習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Ballet III(1) Ballet Adv(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	浅越葉菜
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2011年～2015年:関東大手テーマパークにて、レギュラーショー等に出演。2016年:劇団四季『ウェストサイド物語』テレンタ役で東京公演、全国ツアー出演。現在は舞台に出演するかたわら、振付師として様々なイベントで作品を発表している。						
授業の学習 内容	①最大限に身体を使い、身体表現を行う為にバレエを学ぶ。 ②他のダンスにも繋がる身体を作る。 ③自分の身体を知り、自分との向き合い方を学んでほしい。 ④ストレッチ、パーレッスン、センターレッスンを通して、身体作り、精神の向上、テクニックの向上を目指す。						
到達目標	自分に向き合い、身体の気付きを持つ。 バレエ、基礎の動きを習慣化する。 他ジャンルに繋がる身体、技術を身につける。 より実践に向けダンスレベルの向上を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	前期の目標設定	前期の目標を明確に設定する
2	5月7日	講義・演習	基礎の見直し(パーレッスン)	自分に合ったトレーニング、ストレッチを見直し、習慣化する
3	5月14日	講義・演習	足さばき、上体の使い方	自分の身体のラインを客観的に見つめる
4	5月21日	講義・演習	テクニック強化(ターン)	パの確認、反復練習
5	5月28日	講義・演習	テクニック強化(ジャンプ)	パの確認、反復練習
6	6月4日	講義・演習	より実践に向けたテクニック強化	テクニックの見直し(出来ること出来ないことを明確に)
7	6月11日	講義・演習	エネルギーが流れる身体づくり(丹田から繋がる身体)	丹田、体幹トレーニング強化
8	6月18日	講義・演習	振付への解釈、音楽性の高さについて	日常的に音楽に対してイメージを持ち、身体に落とし込む
9	6月25日	講義・演習	振付へのアプローチ、解釈、音楽性の高さについて	映像や文献からダンス、身体表現を学ぶ
10	7月2日	講義・演習	前期まとめ(テクニックスキルチェック)	テクニックの見直し(出来ること出来ないことを明確に)
11	7月9日	講義・演習	前期まとめ2(振付に対してのアプローチ)	客観的に自分がどう見えているか
12	7月16日	講義・演習	前期まとめ3(自分を表現する)	前期の反省、復習
13	8月27日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	レポートの提出
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			授業前後のストレッチと筋力トレーニング。授業内容や授業中に気付いた事をノートへ書き残しておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
バレエシューズ、レオタード				

科目名	Ballet Ⅲ(2) Ballet Intro(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	近藤南名歩
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	関東大手テーマパークパフォーマー、クラシックバレエ・ジャズダンスインストラクター						
授業の学習 内容	① 踊り全般に必要な基礎や表現力を身につける ② 全ジャンルの基礎 ③ 他ジャンルとの繋がりを見つけ、バレエの必要性を知って欲しい						
到達目標	バレエとは何かを理解し、踊るための身体の作り方を知る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	前期の振り返り/目標設定	前期の反省/後期にどうなりたいかを考えておく
2	10月15日	講義・演習	ストレッチ/体幹トレーニング/バー(プリエ~ロンドジャンプ)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
3	10月22日	講義・演習	ストレッチ/体幹トレーニング/バー(フォンデュ~グランバットマン)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
4	10月29日	講義・演習	ストレッチ/体幹トレーニング/バー(プリエ~グランバットマン)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
5	11月5日	講義・演習	バー/センター(アダージオ)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
6	11月12日	講義・演習	バー/センター(タンデュ、ジュテ)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
7	11月19日	講義・演習	バー/センター(ピルエット)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
8	11月26日	講義・演習	バー/センター(アレグロ)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
9	12月3日	講義・演習	バー/センター(グランワルツ)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
10	12月10日	講義・演習	バー/センター(グランワルツ、ターン)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
11	12月17日	講義・演習	バー/センター(ターン)	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
12	1月21日	講義・演習	テスト/1年間の振り返り/今後の課題	ストレッチ/体幹トレーニング/授業の復習
13	2月4日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	今学期の振り返り
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			事前のストレッチ、体幹トレーニング、前授業の復習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Ballet III(2) Ballet Adv(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	浅越葉菜
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2011年～2015年:関東大手テーマパークにて、レギュラーショー等に出演。2016年:劇団四季『ウェストサイド物語』テレンタ役で東京公演、全国ツアー出演。現在は舞台に出演するかたわら、振付師として様々なイベントで作品を発表している。						
授業の学習 内容	①最大限に身体を使い、身体表現を行う為にバレエを学ぶ。 ②他のダンスにも繋がる身体を作る。 ③自分の身体を知り、自分との向き合い方を学んでほしい。 ④ストレッチ、パーレッスン、センターレッスンを通して、身体作り、精神の向上、テクニックの向上を目指す。						
到達目標	自分に向き合い、身体の気付きを持つ。 バレエ、基礎の動きを習慣化する。 他ジャンルに繋がる身体、技術を身につける。 より実践に向けダンスレベルの向上を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	前期の目標設定	前期の目標を明確に設定する
2	10月15日	講義・演習	基礎の見直し(パーレッスン)	自分に合ったトレーニング、ストレッチを見直し、習慣化する
3	10月22日	講義・演習	足さばき、上体の使い方	自分の身体のラインを客観的に見つめる
4	10月29日	講義・演習	テクニック強化(ターン)	パの確認、反復練習
5	11月5日	講義・演習	テクニック強化(ジャンプ)	パの確認、反復練習
6	11月12日	講義・演習	より実践に向けたテクニック強化	テクニックの見直し(出来ること出来ないことを明確に)
7	11月19日	講義・演習	エネルギーが流れる身体づくり(丹田から繋がる身体)	丹田、体幹トレーニング強化
8	11月26日	講義・演習	振付への解釈、音楽性の高さについて	日常的に音楽に対してイメージを持ち、身体に落とし込む
9	12月3日	講義・演習	振付へのアプローチ、解釈、音楽性の高さについて	映像や文献からダンス、身体表現を学ぶ
10	12月10日	講義・演習	前期まとめ(テクニックスキルチェック)	テクニックの見直し(出来ること出来ないことを明確に)
11	12月17日	講義・演習	前期まとめ2(振付に対してのアプローチ)	客観的に自分がどう見えているか
12	1月21日	講義・演習	前期まとめ3(自分を表現する)	前期の反省、復習
13	2月4日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	今学期の振り返り
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			授業前後のストレッチと筋力トレーニング。授業内容や授業中に気付いた事をノートへ書き残しておく	
【使用教科書・教材・参考書】				
バレエシューズ、レオタード				

科目名	Jazz I (1) JazzBasic A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩崎依里子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストのMV出演や東方神起のツアーダンサーとして活躍中。						
授業の学習 内容	Jazzの基礎を習得し、他ジャンルの成長に繋がられるようにする。						
到達目標	最低限の基礎の習得、手足を綺麗に使える事。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	基礎練、ターンや手の使い方①	授業内で行った筋トレを自宅で
2	4月25日	講義・演習	基礎練、ターンや手の使い方②	筋トレ、内容復習
3	5月9日	講義・演習	基礎練、ターンや手の使い方③	復習、動画撮影をし自身で確認する
4	5月16日	講義・演習	基礎練、ジャンプの習得 振り付け①	授業内容の復習
5	5月23日	講義・演習	基礎練、ジャンプの習得 振り付け②	授業内容の復習
6	5月30日	講義・演習	手、脚を綺麗に使うをメインに①	授業内容の復習
7	6月6日	講義・演習	手、脚を綺麗に使うをメインに②	授業内容の復習、次の振り付けに向けて自主練
8	6月13日	講義・演習	振り付け応用編①	復習、動画撮影をし自身で確認する
9	6月20日	講義・演習	振り付け応用編②	復習、動画撮影をし自身で確認する
10	7月4日	講義・演習	振り付け応用編の発表	クラス内での動画を確認し、アドバイスを元に再度確認
11	7月11日	講義・演習	フロアワークの習得	自宅のできる限りの復習
12	7月18日	講義・演習	フロアワークの振り付け	筋トレ、内容復習
13	8月22日	講義・演習	振り付け発表	動画確認
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz I (1) JazzBasic B(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	角田美和
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	振付・演出・舞踏家・インストラクター。衣装・空間演出にこだわったディナーショーや自主公演を開催し、公演企画・構成・演出・振付・出演を手がける。						
授業の学習 内容	①柔軟性、基礎体力、リズム感、体幹を鍛え自由に身体表現出来るようになるためにジャズダンスを学ぶ。 ②バレエ…基礎筋肉、基本姿勢、ターンが役立つ。 ③自由に身体表現・感情表現する事の楽しさを感じ向上心を養って欲しい。						
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、全身を使い様々な曲に合わせて踊れるダンス能力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	身体の使い方を学ぶ	自分の身体の癖や特徴を知る。
2	5月7日	講義・演習	アイソレーションを覚える	自分の体の可動域を知る。
3	5月14日	講義・演習	アームス・バレエの正しいポジションを学ぶ	1つのポジションをすぐ反応出来るようにする。
4	5月21日	講義・演習	ストレッチのやり方を学ぶ	ビフォー・アフターストレッチを日々継続する。
5	5月28日	講義・演習	ウォーキングを学ぶ	魅せ方を研究する。
6	6月4日	講義・演習	身体の軸の作り方を学ぶ	軸を意識した時間を作る。
7	6月11日	講義・演習	筋カトレーニング	自分の身体の筋力バランスを考えて日々継続する。
8	6月18日	講義・演習	呼吸法を学ぶ	呼吸を使い分けれる様に練習する。
9	6月25日	講義・演習	様々なターンの説明・ターンのやり方を学ぶ	ターンの名称を覚え、日々ターン練習を継続する。
10	7月2日	講義・演習	様々なジャンプの説明・ジャンプのやり方を学ぶ	ジャンプの名称を覚え、日々練習を継続する。
11	7月9日	講義・演習	クロスフロアを行う	自分に必要なトレーニングを強化する。
12	7月16日	講義・演習	イベント実践を通して作品の作り方を学ぶ	動画を見て研究する。
13	8月27日	講義・演習	イベント実践を通して作品の作り方を学ぶ	動画を見て研究する。
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出。
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz I (2) JazzBasic A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩崎依里子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストのMV出演や東方神起のツアーダンサーとして活躍中。						
授業の学習 内容	Jazzの基礎を習得し、他ジャンルの成長に繋がられるようにする。						
到達目標	最低限の基礎の習得、手足を綺麗に使える事。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	前期の内容を全体的に復習①	基礎練
2	10月17日	講義・演習	前期の内容を全体的に復習②	基礎練
3	10月24日	講義・演習	技の習得①	授業内容復習
4	10月31日	講義・演習	技の習得②	筋トレ、授業内容復習
5	11月7日	講義・演習	習得したテクニックを使った振り付け①	手足の筋トレ
6	11月14日	講義・演習	習得したテクニックを使った振り付け②	授業内容復習、動画確認
7	11月21日	講義・演習	脚トレ、振り付け発表	授業内の筋トレを再度行う
8	11月28日	講義・演習	基礎、応用編①	内容復習、動画確認
9	12月5日	講義・演習	基礎、応用編②	内容復習、動画確認、筋トレ
10	12月12日	講義・演習	体を使うことを重視した振り付け①	体の使い方を再度確認
11	12月19日	講義・演習	体を使うことを重視した振り付け②	体の使い方を再度確認②
12	1月16日	講義・演習	綺麗に踊るをメインとした振り付け	授業内容復習、動画確認
13	1月23日	講義・演習	振り付け発表	クラス内で撮影した動画を確認、イメトレ
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz I (2) JazzBasic B(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 角田美和
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	振付・演出・舞踏家・インストラクター。衣装・空間演出にこだわったディナーショーや自主公演を開催し、公演企画・構成・演出・振付・出演を手がける。					
授業の学習 内容	①柔軟性、基礎体力、リズム感、体幹を鍛え自由に身体表現出来るようになるためにジャズダンスを学ぶ。 ②バレエ…基礎筋肉、基本姿勢、ターンが役立つ。 ③自由に身体表現・感情表現する事の楽しさを感じ向上心を養って欲しい。					
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、全身を使い様々な曲に合わせて踊れるダンス能力を身につける。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	身体の使い方を学ぶ	自分の身体の癖や特徴を知る。
2	10月15日	講義・演習	アイソレーションを覚える	自分の体の可動域を知る。
3	10月22日	講義・演習	アームス・バレエの正しいポジションを学ぶ	1つのポジションをすぐ反応出来るようにする。
4	10月29日	講義・演習	ストレッチのやり方を学ぶ	ビフォー・アフターストレッチを日々継続する。
5	11月5日	講義・演習	ウォーキングを学ぶ	魅せ方を研究する。
6	11月12日	講義・演習	身体の軸の作り方を学ぶ	軸を意識した時間を作る。
7	11月19日	講義・演習	筋カトレーニング	自分の身体の筋力バランスを考えて日々継続する。
8	11月26日	講義・演習	呼吸法を学ぶ	呼吸を使い分けれる様に練習する。
9	12月3日	講義・演習	様々なターンの説明・ターンのやり方を学ぶ	ターンの名称を覚え、日々ターン練習を継続する。
10	12月10日	講義・演習	様々なジャンプの説明・ジャンプのやり方を学ぶ	ジャンプの名称を覚え、日々練習を継続する。
11	12月17日	講義・演習	クロスフロアを行う	自分に必要なトレーニングを強化する。
12	1月21日	講義・演習	イベント実践を通して作品の作り方を学ぶ	動画を見て研究する。
13	2月4日	講義・演習	イベント実践を通して作品の作り方を学ぶ	動画を見て研究する。
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出。
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz II(1) JazzBasic C(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	大手テーマパークにてダンサーとしてショー・パレードなどに多数出演。劇団四季にて活躍しその後ダンサー・振付師として活動の幅をさらに広げる。DANCE SQUARE代表						
授業の学習 内容	①オーディション合格するためのノウハウを学ぶ。 ②ダンスの基礎となるバレエの先の表現の仕方やバレエとは違う身体の使い方などを学ぶ。 ③自分自身の夢である仕事につけるために、今からしっかりと準備をしていく。 ④まずは基礎的な練習、プリエ、タンジュをはじめに、ストレッチなどを入念に行い、オーディションに必要なテクニック、振り覚えのスピード、魅せ方などをしっかりと練習していく。						
到達目標	どんな場所でも自分の力を最大限に発揮できるように、自分には何が足りないかを自分自身で考える力を持ち、補っていけるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	ダンスの基礎であるプリエを学ぶ	なぜプリエが大切なのかを考える
2	4月24日	講義・演習	バットマンやジャンプの通り道であるタンジュを学ぶ	タンジュを意識することによって足の出し方をきれいにする
3	5月8日	講義・演習	軸を作るための練習	踊るうえで重要なバランスをつくる為の第一歩
4	5月15日	講義・演習	丁寧なバランス移動の訓練	バランスがしっかりと取り安定度を上げる
5	5月22日	講義・演習	正しいアームスの位置を覚える	アームスのポジション強化
6	5月29日	講義・演習	アームスの基礎的な通り道を身体に覚えさせる	アームスの動かし方をスムーズに行なえるようにする
7	6月5日	講義・演習	ストレッチの順番を覚える	正しいストレッチ方法を覚える
8	6月12日	講義・演習	ストレッチのやり方を覚えて身体を柔らかくする	ストレッチは日課にする
9	6月19日	講義・演習	呼吸を意識して力を抜く意識を身につける	ストレッチのやり方を間違えると余計に硬くなる
10	7月3日	講義・演習	バットマンでの足の上げ方の練習	高く上がるようにする
11	7月10日	講義・演習	ビルエットでのバランスのとりの練習	バランスをまずはとるように練習する
12	7月17日	講義・演習	ビルエットでの回る練習	まずは1回から綺麗にまわるようにする
13	8月21日	講義・演習	これまでやってきたことの復習	今までのことを忘れていないか一つ一つ考える
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz II (1) JazzBasic D(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	寺本藍
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	バックダンサーとして様々なアーティストのLIVEなどに出演。ダンスインストラクター。						
授業の学習 内容	ただ踊るのではなく、身体の使い方を1から学び、しっかり理解を深め表現出来る様にする。自分の身体を理解し、しっかり身体を使え表現出来る質の高いダンサーを目指して下さい。						
到達目標	身体の作りを覚え(骨、筋肉など)、どの様にして動いていて踊りのどの動きに必要なのかを覚える事。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	授業の進め方の説明。目標の確認。	自分の目標を決める。
2	4月25日	講義・演習	身体の作り(骨、筋肉)の説明。	授業で学んだ事を再度確認し、覚える。
3	5月9日	講義・演習	身体の作りの説明の続きとどの様な動きかを説明。	授業で学んだ事を再度確認し、覚える。
4	5月16日	講義・演習	基本のターン、ピルエットの応用を説明し練習開始。	首のきり方の練習。パッセの高さをキープ出来るようにする。
5	5月23日	講義・演習	応用編ターン、ピルエットの安定を目指す。	首のきり方+アームスの使い方の練習。
6	5月30日	講義・演習	6週まで学んだターンを取り入れたコンビネーション開始。	動きの順番、繋がりを覚える。
7	6月6日	講義・演習	ターンコンビネーションの習得の練習。	繰り返し練習。
8	6月13日	講義・演習	プリエ、タンジュ、ロンデの応用の説明と実践。	引き上げたお腹が落ちない様にする。体幹キープの確認。
9	6月20日	講義・演習	グランバットマン説明と実践。	体幹をキープし足を上げる練習。足先をポイント意識。
10	7月4日	講義・演習	1週目からのまとめの振付け開始。	注意された所の直しと強化。
11	7月11日	講義・演習	実技テストの課題練習①。	自分の中で満足いくまで練習を重ねる。
12	7月18日	講義・演習	実技テストの課題練習②。	自分の中で満足いくまで練習を重ねる。
13	8月22日	講義・演習	実技テスト。	足りなかったことを見つめ直し、次に活かせる様まとめる。
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ。	ワークシート提出。
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ。	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習		YouTubeなどでJAZZDANCEを観る。知る。触れる。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz II (2) JazzBasic C(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	大手テーマパークにてダンサーとしてショー・パレードなどに多数出演。劇団四季にて活躍しその後ダンサー・振付師として活動の幅をさらに広げる。DANCE SQUARE代表						
授業の学習 内容	①オーディション合格するためのノウハウを学ぶ。 ②ダンスの基礎となるバレエの先の表現の仕方やバレエとは違う身体の使い方などを学ぶ。 ③自分自身の夢である仕事につけるために、今からしっかりと準備をしていく。 ④まずは基礎的な練習、プリエ、タンジュをはじめに、ストレッチなどを入念に行い、オーディションに必要なテクニック、振り覚えのスピード、魅せ方などをしっかりと練習していく。						
到達目標	どんな場所でも自分の力を最大限に発揮できるように、自分には何が足りないかを自分自身で考える力を持ち、補っていけるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	前期で行ったことを最初から通して練習	思い出しながら一人でも練習できるようにする
2	10月16日	講義・演習	個々の苦手なところを洗い出して練習	自分が苦手だと思うところを理解して練習する
3	10月23日	講義・演習	ピケターンとシエネを学ぶ	様々なターンの練習を授業外で自分でも行う
4	10月30日	講義・演習	グランジュテ、グランパディシャを学ぶ	様々なジャンプを覚える
5	11月6日	講義・演習	ターンとジャンプの組み合わせの練習	ダンスにおいて大切なテクニックの練習
6	11月13日	講義・演習	振付を覚える	オーディションにおける振りを覚える練習
7	11月20日	講義・演習	振り付けの中の一つ一つの形を整える	自分が一番きれいにみえる形を考える
8	11月27日	講義・演習	新しい振り付けをできる限り短時間で覚える	実践的に早く覚えることを意識する
9	12月4日	講義・演習	振り付けの中の苦手な部分を練習する	苦手なところを自分で見つけるようにこころがける
10	12月11日	講義・演習	鏡を見ないで後ろ向きでの練習	鏡がなくても自分がどう踊っているかを想像する
11	12月18日	講義・演習	お客様が実際にいることを想定して踊る	自分だけでなく客観的に考える
12	1月15日	講義・演習	1分の新しい振り付けを30分で覚える	長い振りでも冷静に短時間で覚えることの強化
13	1月22日	講義・演習	オーディションを想定して魅せる訓練を行う	毎回の振り付けを本当のオーディションだと思いながら授業を受ける
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz II (2) JazzBasic D(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	寺本藍
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	バックダンサーとして様々なアーティストのLIVEなどに出演。ダンスインストラクター。						
授業の学習 内容	ただ踊るのではなく、身体の使い方を1から学び、しっかり理解を深め表現出来る様にする。 身体の使い方をしっかり理解し表現出来き、怪我をしない上質な身体を作って下さい。						
到達目標	前期で学習し覚えた事を必ず実践し、自分の踊り身体について良いところ、足りないところを毎回考える事。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	柔軟性、筋トレによる身体作りの強化。(腹筋)	ストレッチ・腹筋を意識した筋トレ。
2	10月17日	講義・演習	柔軟性、筋トレによる身体作りの強化。(背筋)	ストレッチ・背筋を意識した筋トレ。
3	10月24日	講義・演習	柔軟性、筋トレによる身体作りの強化。(腕、肩甲骨まわり)	ストレッチ・腕、肩甲骨周りを意識した筋トレ。
4	10月31日	講義・演習	3週で学んだ筋力を取り入れた振り付け開始。	必要な筋力を使い踊れているか確認と練習。
5	11月7日	講義・演習	振り付けの追加。	ジャズに必要な手足の先の美しさ柔らかさも出来ているか確認。
6	11月14日	講義・演習	振りの踊り込み。	4.5週目の課題を取り入れ踊り込み。
7	11月21日	講義・演習	4週目からの振り付けの発表。フィードバック。	フィードバックをまとめ次に活かせることを考える。
8	11月28日	講義・演習	進級に向け、テスト課題開始。前期から学んだことを取り入れた振り付け。	振りを覚える+学んできた事を活かしているか確認し練習。
9	12月5日	講義・演習	8週目の振りの確認と振り付けの追加。	追加分の振付を固める。
10	12月12日	講義・演習	振りの意味を説明し、構成を付け作品について考える。	曲をよく聞き、どの様に表現するかを考える。
11	12月19日	講義・演習	構成の確認、作品に仕上げる①。	踊りのスキル、表現を全て出せる様に調整。
12	1月16日	講義・演習	構成の確認、作品に仕上げる②。	踊りのスキル、表現を全て出せる様に調整。
13	1月23日	講義・演習	実技テスト。	テストをして今の自分を考える。これからさらに何ができるかなど。
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ。	ワークシート提出。
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ。	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習		YouTubeなどでJAZZDANCEを観る。知る。触れる。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz III(1) Jazz Technique A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	村瀬美音
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季7年、M&Sカンパニー4年、現在はフリーで俳優・ダンサー・コレオグラファー・脚本家・演出家をしている						
授業の学習 内容	①「なぜこの授業を受けなければならないのか？」→エンタメで必要なJazz danceのスキル習得の為。 ②「どの科目と関係するのか、その位置づけ」→イベントや行事などの実践現場に生かす。 ③「学生にどうなって欲しいか(講師の思い)」→ステージで輝くプレーヤーになってほしい。 ④①～③をふまえたような授業を展開するか、具体的に記載する」→まずは挨拶や礼儀などを、しっかり覚えてもらいます。実際の現場に出た時に恥ずかしくないよう、現場感覚を身につけた上でJazzの基礎を丁寧に指導していきます。						
到達目標	Jazz danceの基礎をしっかりと身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	アイソレーションなどの基礎、前期の目標を立てる	立てた目標の確認
2	4月25日	講義・演習	プリエ、タンジュ、デガジェ、フォンデュなどの基礎	バレエを元にする基礎の重要性を確認する
3	5月9日	講義・演習	指先、つま先等への意識をつくる	覚えたことを腑に落とし、次回に備える
4	5月16日	講義・演習	体幹鍛錬、クロスやコンビネーション	振付の確認、反復練習
5	5月23日	講義・演習	基礎練を流れてできるようにする。振付を進める	振付の確認、反復練習
6	5月30日	講義・演習	基礎の大切さの確認、踊り込み	基礎の不足部分の鍛錬
7	6月6日	講義・演習	ダンスで使える呼吸を身につけ筋肉を鍛える。踊り込み	柔軟性の足りないものは、自宅でストレッチなどの自主練
8	6月13日	講義・演習	Jazzでの表現を考え、動きや表情に活かす	自己の反省点を考え、次回に活かす
9	6月20日	講義・演習	生徒同士、互いの踊りを見せ合い、自身の踊りに活かす	受けた刺激をモチベーションに繋げる
10	7月4日	講義・演習	ステージングやフォーメーションを理解し深める	ミザンスを理解し動いていたか考える
11	7月11日	講義・演習	授業内でダンスを発表する ディスカッション	講師から受けたアドバイスを腑に落とし次回に備える
12	7月18日	講義・演習	前期の総括	前期の自分を振り返り、身についたものを実感する。後期への目標を考える
13	8月22日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	レポートの提出
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz III(1) Jazz Technique B(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	渡辺裕子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	テーマパークダンサー、舞台・TV・海外公演等ダンサー出演						
授業の学習 内容	テーマパーク、舞台等ショーダンサー・パフォーマーを目指すために必要な基礎力、表現力を学ぶクラス エクササイズ、クロスフロアを丁寧に行ってしっかり体をつくり、基礎力を身につける コンビネーションでは表現する楽しさ、表現力を学ぶ						
到達目標	踊るための身体づくり、体の使い方や基礎をしっかりと身につけ、表現力を豊かにする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	毎回行うストレッチ、エクササイズを覚え、理解する	ストレッチ等
2	4月24日	講義・演習	エクササイズ、アイソレーションを覚え体の使い方を学ぶ	前回の注意点、振りの復習
3	5月8日	講義・演習	リズムトレーニング、基礎のステップを学ぶ	前回の注意点、振りの復習
4	5月15日	講義・演習	基礎のステップ、ジャンプを学ぶ	前回の注意点、振りの復習
5	5月22日	講義・演習	引き上げ、体幹、美しいラインを学ぶ	前回の注意点、振りの復習
6	5月29日	講義・演習	ターン基礎、バランス、軸、スポットを習得する	前回の注意点、振りの復習
7	6月5日	講義・演習	ターン①ピケ、シェネを習得する	前回の注意点、振りの復習
8	6月12日	講義・演習	ターン②ビルエットを習得する	前回の注意点、振りの復習
9	6月19日	講義・演習	アームス、上体の使い方を学ぶ	前回の注意点、振りの復習
10	7月3日	講義・演習	目線、表情を意識して表現できるようにする	前回の注意点、振りの復習
11	7月10日	講義・演習	テスト(コンビネーション)	前回の注意点、振りの復習
12	7月17日	講義・演習	前期まとめ、各々の課題を研究する	テストでの注意点、課題の復習
13	8月21日	講義・演習	パフォーマンス披露、表現の幅を広げる	前回の注意点、振りの復習
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz III(2) Jazz Technique A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	村瀬美音
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季7年、M&Sカンパニー4年、現在はフリーで俳優・ダンサー・コレオグラファー・脚本家・演出家をしている						
授業の学習 内容	①「なぜこの授業を受けなければならないのか？」→エンタメで必要なJazz danceのスキル習得の為。 ②「どの科目と関係するのか、その位置づけ」→イベントや行事などの実践現場に生かす。 ③「学生にどうなって欲しいか(講師の思い)」→ステージで輝くプレーヤーになってほしい。 ④①～③をふまえたような授業を展開するか、具体的に記載する」→まずは挨拶や礼儀などを、しっかり覚えてもらいます。実際の現場に出た時に恥ずかしくないような、現場感覚を身につけた上でJazzの基礎を丁寧に指導していきます。						
到達目標	Jazz danceの基礎をしっかりと身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	後期の目標設定	目標を達成するための意識確認をする
2	10月17日	講義・演習	基礎、プリエ、ストレッチ、筋トレ、コンビネーションの複合的レッスン	複合的レッスンに慣れるよう復習してくる
3	10月24日	講義・演習	基礎で身につけたものを、踊りにどう活かすかを考え踊る	自身の足りないところの補填、自主練
4	10月31日	講義・演習	フィジカルの鍛錬とメンタルの鍛錬を共存させる	特にメンタルについて、深く考えてくる
5	11月7日	講義・演習	ソロパートへ挑戦する	自身の踊るパートへの責任を感じ、取り組めるようにする
6	11月14日	講義・演習	自立した考え方を身につけ、自分の踊りに磨きをかける	切磋琢磨の本当の意味を考える
7	11月21日	講義・演習	振り入れのスピードを上げて、限られた時間内でのリアクションを身につける	早いテンポで進む現場へ対応できるように、出来なかったところを反省し次回に備える
8	11月28日	講義・演習	作品制作に取り組む	ダンス発表への目標を設定する
9	12月5日	講義・演習	FIXすべき箇所を見つけ、ブラッシュアップを図る	ブラッシュアップ前後の比較を省みる
10	12月12日	講義・演習	お互いにダンスを発表する	受けた刺激をモチベーションに繋げる
11	12月19日	講義・演習	授業内でダンスを発表する ディスカッション	講師から受けたアドバイスを腑に落とし次回に備える
12	1月16日	講義・演習	総括	1年を振り返り、来年度への目標をたてる
13	1月23日	講義・演習	イベントを通して表現する楽しさを学ぶ	レポート提出
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz III(2) Jazz Technique B(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	渡辺裕子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	テーマパークダンサー、舞台・TV・海外公演等ダンサー出演						
授業の学習 内容	エクササイズ、クロスフロアを丁寧に行ってしっかり体をつくり、基礎力を身につける。 コンビネーションではパフォーマンスする意識を高め、表現力を豊かにする。						
到達目標	しなやかな身体づくり、基礎力、テクニックのスキルアップ、表現の幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	基礎的な要素のスキルアップ	エクササイズ、アイソレーション等の復習
2	10月16日	講義・演習	連続したテクニックを習得する	前回の注意点、振りの復習
3	10月23日	講義・演習	テクニックの強化、振りの中で活かせるようにする	前回の注意点、振りの復習
4	10月30日	講義・演習	柔軟性、筋力、しなやかな体の使い方を学ぶ	前回の注意点、振りの復習
5	11月6日	講義・演習	体幹、軸の重要性、ラインを意識した動きを学ぶ	前回の注意点、振りの復習
6	11月13日	講義・演習	体全体を使ったダイナミックな表現を学ぶ	前回の注意点、振りの復習
7	11月20日	講義・演習	リズムを大切に滑らかな動きができるようにする	前回の注意点、振りの復習
8	11月27日	講義・演習	ロングコンビネーション①長い振りでの表現を学ぶ	前回の注意点、振りの復習
9	12月4日	講義・演習	ロングコンビネーション②リズム、流れの大切さを学ぶ	前回の注意点、振りの復習
10	12月11日	講義・演習	ロングコンビネーション③表情を大切に表現する	前回の注意点、振りの復習
11	12月18日	講義・演習	テスト(コンビネーション)	前回の注意点、振りの復習
12	1月15日	講義・演習	総まとめ、各々の課題に取り組む	テストでの注意点、課題の復習
13	1月22日	講義・演習	パフォーマンス披露、表現力を高める	前回の注意点、振りの復習
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz IV(1) Jazz Technique C(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	村瀬美音
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季7年、M&Sカンパニー4年、現在はフリーで俳優・ダンサー・コレオグラファー・脚本家・演出家をしている						
授業の学習 内容	①「なぜこの授業を受けなければならないのか？」→エンタメで必要なJazz danceのスキル習得の為。 ②「どの科目と関係するのか、その位置づけ」→イベントや行事などの実践現場に生かす。 ③「学生にどうなって欲しいか(講師の思い)」→ステージで輝くプレーヤーになってほしい。 ④①～③をふまえたような授業を展開するか、具体的に記載する」→まずは挨拶や礼儀などを、しっかり覚えてもらいます。実際の現場に出た時に恥ずかしくないような、現場感覚を身につけた上でJazzの基礎を丁寧に指導していきます。						
到達目標	Jazz danceの基礎をしっかりと身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	アイソレーションなどの基礎、前期の目標を立てる	立てた目標の確認
2	4月25日	講義・演習	プリエ、タンジュ、デガジェ、フォンデュなどの基礎	バレエを元にする基礎の重要性を確認する
3	5月9日	講義・演習	指先、つま先等への意識をつくる	覚えたことを腑に落とし、次回に備える
4	5月16日	講義・演習	体幹鍛錬、クロスやコンビネーション	振付の確認、反復練習
5	5月23日	講義・演習	基礎練を流れてできるようにする、振付を進める	振付の確認、反復練習
6	5月30日	講義・演習	基礎の大切さの確認、踊り込み	基礎の不足部分の鍛錬
7	6月6日	講義・演習	ダンスで使える呼吸を身につけ筋肉を鍛える。踊り込み	柔軟性の足りないものは、自宅でストレッチなどの自主練
8	6月13日	講義・演習	Jazzでの表現を考え、動きや表情に活かす	自己の反省点を考え、次回に活かす
9	6月20日	講義・演習	生徒同士、互いの踊りを見せ合い、自身の踊りに活かす	受けた刺激をモチベーションに繋げる
10	7月4日	講義・演習	ステージングやフォーメーションを理解し深める	ミザンスを理解し動いていたか考える
11	7月11日	講義・演習	授業内でダンスを発表する ディスカッション	講師から受けたアドバイスを腑に落とし次回に備える
12	7月18日	講義・演習	前期の総括	前期の自分を振り返り、身についたものを実感する。後期への目標を考える
13	8月22日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	レポートの提出
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz IV(1) Jazz Technique D(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松村武司
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	「地球ゴージャス」ミュージカル出演・「木村カエラ」バックダンサー・「サカナクション」ダンサー						
授業の学習 内容	ダンサーを職業とする為に必要な技術・心構え・コミュニケーション力を、授業内容全般を通して学んでいく。 身体を鍛え抜く事で精神力も鍛え、社会人として必要なマナーも学んで行く。□						
到達目標	自身の個性を、自身のダンススキルで表現出来るようになる。将来の目標としている分野に進んで行けるよう、自身で考え行動して行ける人物になる。必要とされる人材になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	授業紹介・スキルチェック	ストレッチ、クールダウン
2	4月25日	講義・演習	JAZZ基礎・筋トレ・ターン&ジャンプ・コレオ	ストレッチ、クールダウン、振付練習
3	5月9日	講義・演習	JAZZ基礎・筋トレ・ターン&ジャンプ・コレオ	ストレッチ、クールダウン、振付練習
4	5月16日	講義・演習	JAZZ基礎・筋トレ・ターン&ジャンプ・コレオ	ストレッチ、クールダウン、振付練習
5	5月23日	講義・演習	JAZZ基礎・筋トレ・ターン&ジャンプ・コレオ	ストレッチ、クールダウン、振付練習
6	5月30日	講義・演習	JAZZ基礎・筋トレ・ターン&ジャンプ・コレオ	ストレッチ、クールダウン、振付練習
7	6月6日	講義・演習	JAZZ基礎・筋トレ・ターン&ジャンプ・コレオ	ストレッチ、クールダウン、振付練習
8	6月13日	講義・演習	JAZZ基礎・筋トレ・ターン&ジャンプ・コレオ	ストレッチ、クールダウン、振付練習
9	6月20日	講義・演習	JAZZ基礎・筋トレ・ターン&ジャンプ・コレオ	ストレッチ、クールダウン、振付練習
10	7月4日	講義・演習	JAZZ基礎・筋トレ・ターン&ジャンプ・コレオ	ストレッチ、クールダウン、振付練習
11	7月11日	講義・演習	JAZZ基礎・筋トレ・ターン&ジャンプ・コレオ	ストレッチ、クールダウン、振付練習
12	7月18日	講義・演習	定期テスト	自身の踊りの研究
13	8月22日	講義・演習	前期まとめ	後期に向けての目標を立てる
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz IV(2) Jazz Technique C(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	村瀬美音
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季7年、M&Sカンパニー4年、現在はフリーで俳優・ダンサー・コレオグラファー・脚本家・演出家をしている						
授業の学習 内容	①「なぜこの授業を受けなければならないのか？」→エンタメで必要なJazz danceのスキル習得の為。 ②「どの科目と関係するのか、その位置づけ」→イベントや行事などの実践現場に生かす。 ③「学生にどうなって欲しいか(講師の思い)」→ステージで輝くプレーヤーになってほしい。 ④①～③をふまえたような授業を展開するか、具体的に記載する」→まずは挨拶や礼儀などを、しっかり覚えてもらいます。実際の現場に出た時に恥ずかしくないような、現場感覚を身につけた上でJazzの基礎を丁寧に指導していきます。						
到達目標	Jazz danceの基礎をしっかりと身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	後期の目標設定	目標を達成するための意識確認をする
2	10月17日	講義・演習	基礎、プリエ、ストレッチ、筋トレ、コンビネーションの複合的レッスン	複合的レッスンに慣れるよう復習してくる
3	10月24日	講義・演習	基礎で身につけたものを、踊りにどう活かすかを考え踊る	自身の足りないところの補填、自主練
4	10月31日	講義・演習	フィジカルの鍛錬とメンタルの鍛錬を共存させる	特にメンタルについて、深く考えてくる
5	11月7日	講義・演習	ソロパートへ挑戦する	自身の踊るパートへの責任を感じ、取り組めるようにする
6	11月14日	講義・演習	自立した考え方を身につけ、自分の踊りに磨きをかける	切磋琢磨の本当の意味を考える
7	11月21日	講義・演習	振り入れのスピードを上げて、限られた時間内でのリアクションを身につける	早いテンポで進む現場へ対応できるように、出来なかったところを反省し次回に備える
8	11月28日	講義・演習	作品制作に取り組む	ダンス発表への目標を設定する
9	12月5日	講義・演習	FIXすべき箇所を見つけ、ブラッシュアップを図る	ブラッシュアップ前後の比較を省みる
10	12月12日	講義・演習	お互いにダンスを発表する	受けた刺激をモチベーションに繋げる
11	12月19日	講義・演習	授業内でダンスを発表する ディスカッション	講師から受けたアドバイスを腑に落とし次回に備える
12	1月16日	講義・演習	総括	1年を振り返り、来年度への目標をたてる
13	1月23日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	レポートの提出
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz IV(2) Jazz Technique D(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松村武司
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	「地球ゴージャス」ミュージカル出演・「木村カエラ」バックダンサー・「サカナクション」ダンサー						
授業の学習 内容	ダンサーを職業とする為に必要な技術・心構え・コミュニケーション力を、授業内容全般を通して学んでいく。 身体を鍛え抜く事で精神力も鍛え、社会人として必要なマナーも学んで行く。						
到達目標	自身の個性を、自身のダンススキルで表現出来るようになる。将来の目標としている分野に進んで行けるよう、自身で考え行動して行ける人物になる。必要とされる人材になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	スキルチェック・目標設定	ストレッチ、クールダウン
2	10月17日	講義・演習	JAZZ基礎・筋トレ・ターン&ジャンプ・コレオ	ストレッチ、クールダウン、振付練習
3	10月24日	講義・演習	JAZZ基礎・筋トレ・ターン&ジャンプ・コレオ	ストレッチ、クールダウン、振付練習
4	10月31日	講義・演習	JAZZ基礎・筋トレ・ターン&ジャンプ・コレオ	ストレッチ、クールダウン、振付練習
5	11月7日	講義・演習	JAZZ基礎・筋トレ・ターン&ジャンプ・コレオ	ストレッチ、クールダウン、振付練習
6	11月14日	講義・演習	JAZZ基礎・筋トレ・ターン&ジャンプ・コレオ	ストレッチ、クールダウン、振付練習
7	11月21日	講義・演習	JAZZ基礎・筋トレ・ターン&ジャンプ・コレオ	ストレッチ、クールダウン、振付練習
8	11月28日	講義・演習	JAZZ基礎・筋トレ・ターン&ジャンプ・コレオ	ストレッチ、クールダウン、振付練習
9	12月5日	講義・演習	JAZZ基礎・筋トレ・ターン&ジャンプ・コレオ	ストレッチ、クールダウン、振付練習
10	12月12日	講義・演習	JAZZ基礎・筋トレ・ターン&ジャンプ・コレオ	ストレッチ、クールダウン、振付練習
11	12月19日	講義・演習	JAZZ基礎・筋トレ・ターン&ジャンプ・コレオ	ストレッチ、クールダウン、振付練習
12	1月16日	講義・演習	定期テスト	自身の踊りの研究
13	1月23日	講義・演習	後期まとめ	後期に向けての目標を立てる
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してダJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Hiphop I (1) Hiphop A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	渡邊優輝子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	バックダンサー・スタジオインストラクター・全国ダンスSHOWケース出演						
授業の学習 内容	どの現場に行っても通用するダンサーであってほしいので、振り付けになってもリズムをとって踊りこなせるダンサーであるために、基礎リズムやステップを徹底してやっていきます。						
到達目標	体にHiphopの基礎リズムがしっかり入ったダンサーにします。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	自己紹介・授業の目的など説明・前期の目標設定・をする	目標設定できていない人は次回まで宿題
2	5月7日	講義・演習	ダウン・アップ・でリズムをとることができる	
3	5月14日	講義・演習	ダウンとアップのコンビネーションで踊ることができる	
4	5月21日	講義・演習	前ノリでリズムをとることができる	
5	5月28日	講義・演習	前ノリのコンビネーションで踊ることができる	
6	6月4日	講義・演習	後ろノリでリズムをとることができる	
7	6月11日	講義・演習	後ろノリのコンビネーションで踊ることができる	
8	6月18日	講義・演習	前ノリと後ろノリのコンビネーションで踊ることができる	
9	6月25日	講義・演習	16ビートでリズムをとることができる	
10	7月2日	講義・演習	16ビートのコンビネーションで踊ることができる	
11	7月9日	講義・演習	ここまでの疑問点や苦手な箇所を聞き、クリアにする	疑問点や不安なところをアンケートする
12	7月16日	講義・演習	基本リズム(5種類)のコンビネーションで踊ることができる	
13	8月27日	講義・演習	基本リズム(5種類)のコンビネーションで踊ることができる	
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習		疑問質問は聞いた人勝ち！小さな疑問も後に大きな疑問になることも。遠慮なく聞いてください。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Hiphop I (1) Hiphop B(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石岡乃枝美
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	NHK紅白歌合戦、docomo、日清食品CM出演 他出演多数。JIBJABやFORPANCAKE.にて活動中。そして全国制覇する程の特技である書道を通じ、文化や礼儀を重んじつつ2足のわらじを履きながらも今日ヒップホップ・ライブに動しむフィメールダンサー。						
授業の学習 内容	Hiphop Danceに必要な基礎的リズムの取り方、アイソレーションやコントロール法を覚え、技術だけでなく、文化的基礎知識、諸技法の取得、研究、反復。						
到達目標	・時代や土地の文化に応じた身体の使い方を理解し出来るようにする。(NYC90's style, WEST COAST style, etc...) ・質の向上を目指す。 ・ステップの名前や技法、由来、先人の考えなどを学ぶ。 ・インプロビゼーション(フリースタイル)等の材料にし、各々のレベル、フィールドで活かせるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	Hiphopの授業を受ける意味への理解と前期目標の設定、基本の体作り。	学ぶ意味、前期目標の設定、基本の体作り。
2	5月7日	講義・演習	身体のパーツコントロール入門編 ～真っ直ぐ立つところから～。	真っ直ぐ立つところから各パーツコントロールを知る。
3	5月14日	講義・演習	身体のパーツ、立ち方、ポジションを学ぶ。音楽の基本リズムを知る。	自分の身体の特徴、癖、傾向を知る。
4	5月21日	講義・演習	音楽の基本リズムと時代を学ぶ。アイソレーション～ジャンルによって違う使い方～入門。	音楽とスタイルを知る。自分の身体の特徴、癖、傾向を知る。
5	5月28日	講義・演習	音楽の基本リズムとスタイルを学ぶ。アイソレーション～時代によって違う使い方～基礎。	音楽とスタイルを知る。自分の身体の特徴、癖、傾向を知る。
6	6月4日	講義・演習	Hiphop,streetdanceアイソレーション～時代、ジャンルによって違う使い方、魅せ方～。	音楽とスタイルを知る。自分の身体の特徴、癖、傾向を知る。
7	6月11日	講義・演習	Hiphop,streetdanceにおける重心移動を学ぶ。入門。	共通と違いを考える。
8	6月18日	講義・演習	Hiphop,streetdanceにおける重心移動～骨盤、股関節からなる足の出し方の基本～。	重心移動要復習。
9	6月25日	講義・演習	音楽とスタイルを通じて、重心移動、足の出し方、ステップの運動を感じる。	音楽とスタイルを通じて、重心移動、足の出し方、ステップの運動を感じ、癖や傾向を知る。
10	7月2日	講義・演習	音楽、時代、スタイルを通じて、重心移動、足の出し方、ステップの運動を感じる。	足の出し方しまい方要復習。ステップ用語と動きを一致させ質を高める。
11	7月9日	講義・演習	音楽、時代とスタイルを感じたアイソレーションとステップの組み合わせ。	身体の繋がりに理解とミュージカリティのマッチを意識する。
12	7月16日	講義・演習	音楽、時代とスタイルを感じてアイソレーションとステップの組み合わせ踊る事を強化。	身体の繋がりに理解とミュージカリティのマッチを意識する。癖や傾向を知る。
13	8月27日	講義・演習	組み合わせを理解し、自らの身体で表現する。	組み合わせを理解し、自らの身体で表現、比較する。
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ。	ワークシート提出。
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ。	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習			各自ストレッチ。メンタルをHiphopの授業へ向け集中させる。音楽を沢山聴く。動画を観る。	
【使用教科書・教材・参考書】				
・筆記用具 ・ノート ・踊りやすいスニーカー(ジャズスニーカー、バレエシューズ、過度の厚底、ランニング専用シューズはNG)				

科目名	Hiphop I (2) Hiphop A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	渡邊優輝子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	バックダンサー・スタジオインストラクター・全国ダンスSHOWケース出演						
授業の学習 内容	どの現場に行っても通用するダンサーであってほしいので、振り付けになってもリズムをとって踊りこなせるダンサーであるために、基礎リズムやステップを徹底してやっていきます。						
到達目標	体にHiphopの基礎リズムがしっかり入ったダンサーにします。即興でも自分を堂々と出せるダンサーにします。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	授業の目的など説明・後期の目標設定をする	目標設定できていない人は次回まで宿題
2	10月15日	講義・演習	ダウン・アップ・前のり後のり・16ビートのおさらい	
3	10月22日	講義・演習	基本リズム(5種類)のコンビネーションで踊ることができる	
4	10月29日	講義・演習	基本リズムの疑問点や不安点を聞き、クリアにし、補填する	
5	11月5日	講義・演習	基本リズムのコンビネーションからのセッションで自分を表現する	
6	11月12日	講義・演習	基本リズムのコンビネーションからのセッションで自分を表現する	
7	11月19日	講義・演習	体が立体的であることを理解し、自分のボディイメージを表現する	
8	11月26日	講義・演習	体が立体的であることを理解し、自分のボディイメージを表現する	
9	12月3日	講義・演習	体が立体的であることを理解したうえで踊る事ができる	
10	12月10日	講義・演習	体が立体的であることを理解したうえで踊る事ができる	
11	12月17日	講義・演習	ここまでの疑問点や苦手な箇所を聞き、クリアにする	疑問点や不安なところをアンケートする
12	1月21日	講義・演習	立体的に体を使い、基本リズム(5種類)のコンビネーション	
13	2月4日	講義・演習	立体的に体を使い、基本リズム(5種類)のコンビネーション	
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習		疑問質問は聞いた人勝ち！小さな疑問も後に大きな疑問になることも。遠慮なく聞いてください。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Hiphop I (2) Hiphop B(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石岡乃枝美
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	NHK紅白歌合戦、docomo、日清食品CM出演 他出演多数。JIBJABやFORPANCAKE.にて活動中。そして全国制覇する程の特技である書道を通じ、文化や礼儀を重んじつつ2足のわらじを履きながらも今日ヒップホップ・ライブに勤しむフィメールダンサー。						
授業の学習 内容	Hiphop Danceに必要な基礎的リズムの取り方、アイソレーションやコントロール法を覚え、技術だけでなく、文化的基礎知識、諸技法の取得、研究、反復。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代や土地の文化に応じた身体の使い方を理解し出来るようにする。(NYC90's style, WEST COAST style, etc...)</li> <li>・質の向上を目指す。</li> <li>・ステップの名前や技法、由来、先人の考え方などを学ぶ。</li> <li>・インプロビゼーション(フリースタイル)等の材料にし、各々のレベル、フィールドで活かせるようにする。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	Hiphopの授業を受ける意味への理解と後期目標の設定、基本の体作り確認。	学ぶ意味、後期目標の設定、基本の体作り。
2	10月15日	講義・演習	身体のパーツコントロール確認編 ～真っ直ぐ立つところから中心部意識の動き～。	真っ直ぐ立つところから各パーツコントロールを知る。
3	10月22日	講義・演習	身体のパーツ、立ち方、ポジションを学ぶ。音楽の基本リズムを確認。	自分の身体の特徴、癖、傾向を知る。
4	10月29日	講義・演習	音楽の基本リズムと時代を学ぶ。アイソレーション～ジャンルによって違う使い方～確認。	音楽とスタイルを知る。自分の身体の特徴、癖、傾向を知る。
5	11月5日	講義・演習	音楽の基本リズムとスタイルを学ぶ。アイソレーション～時代によって違う使い方～。	音楽とスタイルを知る。自分の身体の特徴、癖、傾向を知る。
6	11月12日	講義・演習	Hiphop,streetdanceアイソレーション～時代、ジャンルによって違う使い方、魅せ方～。	音楽とスタイルを知る。自分の身体の特徴、癖、傾向を知る。
7	11月19日	講義・演習	Hiphop,streetdanceにおける重心移動の確認～派生。	共通と違いを考える。
8	11月26日	講義・演習	Hiphop,streetdanceにおける重心移動～骨盤、股関節からなる足の出し方の確認。	重心移動要復習。
9	12月3日	講義・演習	音楽とスタイルを通じて、重心移動、足の出し方、ステップの運動を感じる。	音楽とスタイルを通じて、重心移動、足の出し方、ステップの運動を感じ、癖や傾向を知る。
10	12月10日	講義・演習	音楽、時代、スタイルを通じて、重心移動、足の出し方、ステップの運動を感じる。	足の出し方しまい方要復習。ステップ用語と動きを一致させ質を高める。
11	12月17日	講義・演習	音楽、時代とスタイルを感じたアイソレーションとステップの組み合わせの理解と確認。	身体の繋がりに理解とミュージカリティのマッチを意識する。
12	1月21日	講義・演習	音楽、時代とスタイルを感じたアイソレーションとステップの組み合わせを踊る事を強化。	身体の繋がりに理解とミュージカリティのマッチを意識する。癖や傾向を知る。
13	2月4日	講義・演習	組み合わせを理解し、自らの身体で表現する。	組み合わせを理解し、自らの身体で表現、比較する。
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ。	ワークシート提出。
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ。	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習		各自ストレッチ。メンタルをHiphopの授業へ向け集中させる。音楽を沢山聴く。動画を観る。		
【使用教科書・教材・参考書】				
・筆記用具 ・ノート ・踊りやすいスニーカー(ジャズスニーカー、バレエシューズ、過度の厚底、ランニング専用シューズはNG)				

科目名	Hiphop II (1) Hiphop C(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	須田和慎
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	元関東大手テーマパークダンサー、浦島坂田船、香取慎吾、等バックダンサー、インストラクター、振付師						
授業の学習 内容	プロダンサーとして必要最低限の基礎力、表現力を学ぶ。HIOHOPの振り付けだけではなくJAZZのようなラインの取り方や表現方法も授業の中で取り入れていき、マルチなパフォーマンスが出来るダンサーとしての技術や知識を身につけていく。またその学んだ事を自分のフィルターを通して人に伝えることの出来るダンサーになれるような授業を展開していく。						
到達目標	学生一人一人のなりたいダンサー、人間になれるようにサポートしていき個性を伸ばす。 また昨今は現場でも多様なジャンルを要求される事がありその為どの現場でも通用する様なマルチな表現者になれる様にする。 学生が卒業後自立できる様に授業を通して個人の自主性を高めていく。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	授業の説明、アイソレーション(首、胸)の使い方を理解する。	自分の体と向き合い理解する。
2	5月7日	講義・演習	アイソレーション(腰、肩)の使い方を理解する。	授業の復習。自分の長所、短所を見つける。
3	5月14日	講義・演習	アイソレーションの確認、リズムの取り方を理解する。	授業の復習。様々な音楽を聴く。
4	5月21日	講義・演習	アップ、ダウンの使い分けを理解する。	授業の復習。一人でリズムにのる。
5	5月28日	講義・演習	アイソレとリズムを理解し深める。	授業の復習。基礎トレーニングの意味を理解する。
6	6月4日	講義・演習	前ノリ、後ろノリの体の使い方を理解する。	授業の復習。体幹部の強化。
7	6月11日	講義・演習	ここまでの授業の復習。	授業の復習。自分の目標や理想像を確認する。
8	6月18日	講義・演習	応用の振付を学び理解する。	授業の復習。YouTube等で映像を観て研究する。
9	6月25日	講義・演習	基礎的なステップを身につける。	授業の復習。ステップのアレンジを研究する。
10	7月2日	講義・演習	体の基礎的な使い方を理解し自分なりの表現を取り入れる。	授業の復習。YouTube等で資料を観て研究する。
11	7月9日	講義・演習	自分の長所と短所を理解し改善しようと試みる。	授業の復習。課題を克服する努力をする。
12	7月16日	講義・演習	シルエットを意識した振り付けで磨きをかける。	撮影した映像で自分を客観的に見て改善点を探す。
13	8月27日	講義・演習	ここまでの授業の復習②	授業の復習。自分の目標や理想像を確認する。
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ	ワークシート提出。
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習			YouTube等での資料研究、ストレッチ、体幹トレーニング。他ジャンルのレッスンの受講。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル				

科目名	Hiphop II (1) Hiphop D(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	木本雄
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンサーや振付でLIVE等に参加(BTS、MIYAVI、KESHA、w-inds.など)						
授業の学習 内容	①基礎的なダンスを深めると共に魅せることを意識する ②ダンスに関しては全般 ③一線で活躍できるアーティスト ④単純な振り落としの授業ではなく、体の使い方なども含めた内容						
到達目標	ダンスの技術的向上、その習慣化						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	身体作り	授業内容を自主練習
2	4月24日	講義・演習	筋トレによる、身体作り	授業内容を自主練習
3	5月8日	講義・演習	学んだ事を取り入れた振付け開始。	授業内容を自主練習
4	5月15日	講義・演習	振付けの踊りこみ	授業内容を自主練習
5	5月22日	講義・演習	振付けの応用	授業内容を自主練習
6	5月29日	講義・演習	Hiphopの振付け	授業内容を自主練習
7	6月5日	講義・演習	Hiphopの技を多く入れた振付け開始。	授業内容を自主練習
8	6月12日	講義・演習	Hiphopの技を多く入れた振付けの応用	授業内容を自主練習
9	6月19日	講義・演習	Hiphopの技を多く入れた振付けの応用踊りこみ	授業内容を自主練習
10	7月3日	講義・演習	Hiphopの技を多く入れた振付けの応用踊りこみ②	授業内容を自主練習
11	7月10日	講義・演習	Hiphopの技を多く入れた振付けの応用踊りこみ③	授業内容を自主練習
12	7月17日	講義・演習	テスト振付	授業内容を自主練習
13	8月21日	講義・演習	テスト	授業内容を自主練習
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Hiphop II (2) Hiphop C(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	須田和慎
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	元関東大手テーマパークダンサー、浦島坂田船、香取慎吾、等バックダンサー、インストラクター、振付師						
授業の学習 内容	プロダンサーとして必要最低限の基礎力、表現力を学ぶ。HIOHOPの振り付けだけではなくJAZZのようなラインの取り方や表現方法も授業の中で取り入れていく為マルチなパフォーマンスが出来るダンサーとしての技術や知識を身につけていく。またその学んだ事を自分のフィルターを通して人に伝えることの出来るダンサーになれるような授業を展開していく。そしてプロとして活躍出来る様な振る舞い、マナー、メンタル等を授業の中で伝えていく。						
到達目標	学生一人一人のなりたいダンサー、人間になれるようにサポートしていき個性を伸ばす。 また昨今は現場でも多様なジャンルを要求される事がある為どの現場でも通用する様なマルチな表現者になれる様にする。 インストラクターとしても活躍できる様に授業内で生徒達による授業や振り付けに対して構成を入れ、クリエイターとしてのセンスも磨く。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	前期の復習、基礎的な動きの振り付けにアレンジを加える。	授業の復習。後期の目標設定を行う。
2	10月15日	講義・演習	振り付けは同じにして楽曲を変えて違ったアプローチを試みる。	楽曲事のフィーリングの違いを具現化し理解する。
3	10月22日	講義・演習	グループワーク①振り付けを生徒自ら考えて自分の意思を伝えられる様にする。	良い授業を行う為のノウハウを学ぶ。
4	10月29日	講義・演習	グループワーク②振り付けを生徒自ら考えて自分の意思を伝えられる様にする。	自分の体の感覚を言語化する。
5	11月5日	講義・演習	前回の授業のディスカッションを交えながら新しい振り付けを学ぶ。	改めて普段の授業から講師の発言等を意識する。
6	11月12日	講義・演習	パワーや勢いを意識した振り付けを学び習得する。	授業の復習。自分の筋力を理解する。
7	11月19日	講義・演習	ためや体の伸縮を意識した振り付けを学び習得する。	体幹部の強化、日常での重心や姿勢を気にする。
8	11月26日	講義・演習	大人っぽい妖艶な楽曲にあった表現を身につける。	世界観の作り方や仕草について考える。
9	12月3日	講義・演習	キャッチーな楽曲で体をはっきり大きく使う為の技術を学ぶ。	表情について思考し自分と向き合う。
10	12月10日	講義・演習	ここまでの授業の復習。	授業内で消化できなかった部分の復習をする。
11	12月17日	講義・演習	グループワーク③振り付けに構成の付け方を学ぶ。	YouTube等で資料を研究する。
12	1月21日	講義・演習	グループワーク④振り付けに構成の付け方を学ぶ。	次の授業で披露するソロパフォーマンスを考える。
13	2月4日	講義・演習	総まとめの試験を行う。振り入れ。	次の授業で披露するソロパフォーマンスを考える。
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ。	ワークシート提出。
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ。	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習			YouTube等での資料研究、ストレッチ、体幹トレーニング。他ジャンルのレッスンの受講。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、水分				

科目名	Hiphop II (2) Hiphop D(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	木本雄
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンサーや振付でLIVE等に参加(BTS、MIYAVI、KESHA、w-indsなど)						
授業の学習 内容	①基礎的なダンスを深めると共に魅せることを意識する ②ダンスに関しては全般 ③一線で活躍できるアーティスト ④単純な振り落としの授業ではなく、体の使い方なども含めた内容						
到達目標	ダンスの技術的向上、その習慣化						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	前期の復習。体づくりの見直し	授業内容を自主練習
2	10月17日	講義・演習	前期のダンスの見直し、復習	授業内容を自主練習
3	10月24日	講義・演習	前期より難易度を高めた振付	授業内容を自主練習
4	10月31日	講義・演習	難易度を高めた振付の踊り込み	授業内容を自主練習
5	11月7日	講義・演習	より難しい振付	授業内容を自主練習
6	11月14日	講義・演習	応用の踊り込み	授業内容を自主練習
7	11月21日	講義・演習	これまでの物を入れたうえで自由度を高めた振付	授業内容を自主練習
8	11月28日	講義・演習	自由度を高めた振付の踊り込み	授業内容を自主練習
9	12月5日	講義・演習	より自由度と難易度の高い振付	授業内容を自主練習
10	12月12日	講義・演習	前週の踊り込み	授業内容を自主練習
11	12月19日	講義・演習	自己表現を求めた踊り	授業内容を自主練習
12	1月16日	講義・演習	テスト振付	授業内容を自主練習
13	1月23日	講義・演習	テスト	授業内容を自主練習
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Contemporary A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家						
授業の学習 内容	①なぜこの授業を受けなければならないのか②どの科目と関係するのか、その位置づけ③学生にどうなって欲しいか④※1~3をふまえたような授業を展開するか①コンテンポラリーダンスは高い柔軟性と強い体幹が必然です。つまりあらゆるダンスの動きに適用する身体になるという事。②バレエ、テーマパーク、ジャズダンス等に応用可能。③最初は、ポジション、ムーブメントなど分からない事ばかりですが、継続することで身に付いていきます。④コンテンポラリーダンスの基礎とポジション、ダンスクラシック(基礎)の理解。正しい姿勢、骨と筋肉の正しい使い方を学ぶ事でダンサーの身体になっていきます。						
到達目標	初歩的な身体構造の理解。正しい姿勢と立ち方、骨と筋肉の使い方を習得する。目標→骨とインナーマッスルの正しい連動を理解する事で外側に見える動きのクオリティーの向上を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	オリエンテーションと成長する為の心構え。	シラバス等を見て準備する。
2	5月7日	講義・演習	身体の骨と筋肉の説明と理解。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
3	5月14日	講義・演習	①腸腰筋の引き上げと正しい姿勢、立ち方。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
4	5月21日	講義・演習	②インナーマッスルの理解と応用。①の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
5	5月28日	講義・演習	③フロアエクササイズとストレッチの理解。①~②の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
6	6月4日	講義・演習	④センターエクササイズとストレッチの理解。①~③の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
7	6月11日	講義・演習	⑤クロスフロアステップの理解。①~④の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
8	6月18日	講義・演習	⑥クロスフロアステップの理解。①~⑤の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
9	6月25日	講義・演習	⑦クロスフロアステップの理解。①~⑥の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
10	7月2日	講義・演習	⑧クロスフロアステップの理解。①~⑦の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
11	7月9日	講義・演習	⑨クロスフロアステップの理解。①~⑧の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
12	7月16日	講義・演習	⑩コンビネーションの基礎。①~⑨の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
13	8月27日	講義・演習	実技試験。	試験結果の反省と今後の対策。
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ。	ワークシート提出。
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ。	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習			授業内容を確認、理解し自身のスキルアップを計画的に考えて復習。ストレッチ等を反復する。	
【使用教科書・教材・参考書】				
ドレスコードは、身体ラインが見える物。裸足or靴下。				

科目名	Contemporary A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家						
授業の学習 内容	①体の中心軸(背骨を中心と骨盤、胸郭、頭、3つの正しい位置)とインナーマッスルの使い方を理解してアカデミックな動きに繋げる事でバレエ、テーマパーク、ジャズダンス等に活用可能な身体になります。 ②正しいダンサーの身体になる為の内側の骨と筋肉の使い方に気づくのが大事。 ③コンテンポラリーダンスのポジション、ダンスクラシック(基礎等)の更なる理解。 ④また呼吸、正しい姿勢、骨とインナーマッスルの正しい運動の使い方を学ぶ。更にダンスにとって大事な精神面の強度を高める為のメンタル講義を行う。						
到達目標	体幹軸を習得する事で、コンテンポラリーダンス、その他のダンス含めた動きの対応力が身に付く。また正しい骨とインナーマッスルの使い方を旨す。ダンスで大事なメンタル面の強化を図る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	前期の内容確認と骨とインナーマッスルの確認と内転筋の理解。	前期の授業内容の復習と確認。
2	10月15日	講義・演習	②腹横筋の引き上げ(お腹スイッチ)。腹筋と内転筋の繋がりの理解。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
3	10月22日	講義・演習	③エクササイズ、ストレッチ等の更なる理解と新ステップの理解。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
4	10月29日	講義・演習	④新ステップ、新コンビネーションの理解。①～③の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
5	11月5日	講義・演習	⑤新ステップ、新コンビネーションの反復。①～④の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
6	11月12日	講義・演習	⑥新ステップ、新コンビネーションの反復。①～⑤の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
7	11月19日	講義・演習	⑦新ステップ、新コンビネーションの応用。①～⑥の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
8	11月26日	講義・演習	⑧新ステップ、新コンビネーションの応用。①～⑦の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
9	12月3日	講義・演習	⑨新ステップの反復。新たなコンビネーションの理解。①～⑧の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
10	12月10日	講義・演習	⑩新ステップの反復。新たなコンビネーションの理解。①～⑧の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
11	12月17日	講義・演習	実技試験。	試験結果の反省と今後の対策。
12	1月21日	講義・演習	メンタル講義(ポジティブとネガティブ関係性)。	筆記用具持参。復習と理解。
13	2月4日	講義・演習	メンタル講義(成長のプロセス)。	筆記用具持参。復習と理解。
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ。	ワークシート提出。
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ。	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習		授業内容を確認、理解し自身のスキルアップを計画的に考えて復習。ストレッチ等を反復する。		
【使用教科書・教材・参考書】				
ドレスコードは体ラインがハッキリ見える物。裸足or靴下。				

科目名	Contemporary B(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家						
授業の学習 内容	フェルデンクライスメソッド・ダンス版(コンディショニング) ①身体の中にある骨の関節の隙間と可動域を広げ、筋肉の捻れを解く事で、柔軟性を高める。 ②全てのダンスのジャンルに活用可能。 ③あらゆるダンスの動きに適用する身体になり、継続することで身に付いていきます。 ④目瞑り床に寝て、小さな動きを繰り返す事で、動きやすい身体を生み出す。 ⑤ダイナミック・ストレッチ、瞑想、エネルギーワーク。						
到達目標	床を足で押し返す感じが分かる。立ちやすくなる。動きやすくなる。正しい背骨のS字カーブになる(反り腰の解消)筋肉の捻れの解消。全ての関節の隙間と股関節の可動域の向上。腰痛解消、ケガの防止。脳の疲れを取り、ストレス軽減。身体知覚を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	オリエンテーションと身体の骨と筋肉の説明と理解	シラバス等を見て準備する。
2	5月7日	講義・演習	①フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
3	5月14日	講義・演習	②フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
4	5月21日	講義・演習	③フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
5	5月28日	講義・演習	④フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
6	6月4日	講義・演習	⑤フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
7	6月11日	講義・演習	⑥フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
8	6月18日	講義・演習	⑦フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
9	6月25日	講義・演習	⑧フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
10	7月2日	講義・演習	⑨フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
11	7月9日	講義・演習	⑩フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
12	7月16日	講義・演習	⑪フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
13	8月27日	講義・演習	実技試験	試験結果の反省と今後の対策。
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			授業内容を確認、理解し自身のスキルアップを計画的に考えて復習。ストレッチ等を反復する。	
【使用教科書・教材・参考書】				
ドレスコードは体ラインがハッキリ見える物。裸足or靴下。				

科目名	Contemporary B(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家						
授業の学習 内容	フェルデンクライスメソッド・ダンス版(コンディショニング) ①身体の中にある骨の関節の隙間と可動域を広げ、筋肉の捻れを解く事で、柔軟性を高める。 ②全てのダンスのジャンルに適用可能。 ③あらゆるダンスの動きに適用する身体になり、継続することで身に付いていきます。 ④目瞑り床に寝て、小さな動きを繰り返す事で、動きやすい身体を生み出す。 ⑤ダイナミック・ストレッチ、瞑想、エネルギーワーク。						
到達目標	床を足で押し返す感じが分かる。立ちやすくなる。動きやすくなる。正しい背骨のS字カーブになる(反り腰の解消)筋肉の捻れの解消。全ての関節の隙間と股関節の可動域の向上。腰痛解消、ケガの防止。脳の疲れを取り、ストレス軽減。。身体知覚を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	前期の確認。身体の骨と筋肉の説明と理解	前期授業の復習。
2	10月15日	講義・演習	①フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
3	10月22日	講義・演習	②フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
4	10月29日	講義・演習	③フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
5	11月5日	講義・演習	④フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
6	11月12日	講義・演習	⑤フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
7	11月19日	講義・演習	⑥フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
8	11月26日	講義・演習	⑦フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
9	12月3日	講義・演習	⑧フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
10	12月10日	講義・演習	⑨フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
11	12月17日	講義・演習	⑩フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
12	1月21日	講義・演習	⑪フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
13	2月4日	講義・演習	実技試験	試験結果の反省と今後の対策。
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			授業内容を確認、理解し自身のスキルアップを計画的に考えて復習。ストレッチ等を反復する。	
【使用教科書・教材・参考書】				
ドレスコードは体ラインがハッキリ見える物。裸足or靴下。				

科目名	Modern A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石井直彦
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	海外ダンスカンパニー、国際バレエコンクール振付、国内スタジオ(BDCなど)でのモダン/コンテンポラリー講師						
授業の学習 内容	①使えていない身体の部分、筋肉に気づける。また、自身の癖の発見。 ②身体コアの感覚の強化、重心を落として踊る、という意味で全てのダンス。 ③多様な身体表現の可能性・特性を勉強した上で、自身がやりたいダンスにその学びを投影し、成長し続けるダンサーになってほしい。 ④踊る身体作りに必要なベーシック(バレエベース)を反復しつつ、各々が動きに対するアプローチを考え、提案し合える「参加型」のクラス。						
到達目標	前期では、新しく学ぶ 動きのポキャラリー を理解・マスターし、 また他分野で活かせる技術面の向上を図る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	ガイドダンス。静的・動的ストレッチ考察。フレーズまで	家でできる静的・動的ストレッチメニュー考案(発表あり)
2	4月24日	講義・演習	呼吸と身体の伸縮、動きとの関連性	日常生活の中での呼吸の変化に注目
3	5月8日	講義・演習	踊る身体のセンターとは	生活の中でコアを意識する時間
4	5月15日	講義・演習	ロールダウン・アップ。フラットバック	起床後のロールアップ・ダウンを習慣化
5	5月22日	講義・演習	ターンアウト考察、上体との関係	ターンアウトのメリット考察、実践
6	5月29日	講義・演習	エクササイズ～プリエ応用、コントラクション	コアエクササイズ
7	6月5日	講義・演習	片脚で立つとは。エクササイズ～タンジュ・デガジェ応用	タンジュ、デガジェ時の足の出し方考察・練習
8	6月12日	講義・演習	腕の重さ、頭の重さ・骨盤の重さ	体幹トレーニング
9	6月19日	講義・演習	上記 8、9を取り入れたリリース・テクニック	下半身強化
10	7月3日	講義・演習	上記 8を考えて エクササイズ～タンジュ・デガジェ	股関節ストレッチ(臀部、内転筋)
11	7月10日	講義・演習	クロスフロア～ターン、フレーズ	自分が得意、優れているもの考察、課題の発見
12	7月17日	講義・演習	クロスフロア～ターン、ジャンプ、フレーズ	自分が苦手、できないと思っていること考察、課題の発見
13	8月21日	講義・演習	前期の復習	レポートの提出
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習		授業内容を確認、理解し自身のスキルアップを計画的に考えて復習。ストレッチ等を反復する。		
【使用教科書・教材・参考書】				
ドレスコードは体ラインがハッキリ見える物。裸足or靴下。				

科目名	Modern A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石井直彦
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	海外ダンスカンパニー、国際パレエコンクール振付、国内スタジオ(BDCなど)でのモダン/コンテンポラリー講師						
授業の学習 内容	①身体改造 ②身体コアの感覚の強化、重心を落として踊る、という意味で全てのダンス。 ③「上手」なダンサーから「心が見える」ダンサーへ。 ④身体強化に必要なベーシック(パレエベース)を反復しつつ、自己分析～発表を通して 学生の獨創性を育成。						
到達目標	振付を覚えて「上手に踊ること」だけを目標とするのではなく、時間がかかっても どうやったら「自分らしい踊り」ができるダンサーになれるのか、それを考えながら毎クラスの学習に臨む。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	前期の復習①	休み中の課題/成果(発表あり)
2	10月16日	講義・演習	前期の復習②	今期の課題を考える(短期、長期)
3	10月23日	講義・演習	ロンドゥ・ジャンプ・応用	体幹トレーニング
4	10月30日	講義・演習	エクササイズ～ロンドゥ・ジャンプ+フロア	体幹トレーニング、上体のストレッチ
5	11月6日	講義・演習	フォンデュ・応用	自身の身体の何が変わったか考察
6	11月13日	講義・演習	エクササイズ～応用	つま先、アキレス ストレッチ
7	11月20日	講義・演習	ジャンプ	足の裏強化エクササイズ、ストレッチ
8	11月27日	講義・演習	クロスフロア～ジャンプ応用	色々なジャンルのダンス動画を観る
9	12月4日	講義・演習	多様な音楽を感じる	多様な音楽に心はどう動く?
10	12月11日	講義・演習	お題下のインプロビゼーション(仮)	自由に即興で動いてみる
11	12月18日	講義・演習	シンプルなフレーズ創作(仮)	ストレッチ見直し
12	1月15日	講義・演習	フレーズ発表	体幹トレーニング レベルアップ
13	1月22日	講義・演習	基礎トレーニングの確認	今後の課題、自身のダンス向上に必要なのは何か考察
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習		授業内容を確認、理解し自身のスキルアップを計画的に考えて復習。ストレッチ等を反復する。		
【使用教科書・教材・参考書】				
ドレスコードは体ラインがハッキリ見える物。裸足or靴下。				

科目名	Modern B(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石井直彦
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	海外ダンスカンパニー、国際バレエコンクール振付、国内スタジオ(BDCなど)でのモダン/コンテンポラリー講師						
授業の学習 内容	①使えていない身体の部分、筋肉に気づける。また、自身の癖の発見。 ②身体コアの感覚の強化、重心を落として踊る、という意味で全てのダンス。 ③多様な身体表現の可能性・特性を勉強した上で、自身がやりたいダンスにその学びを投影し、成長し続けるダンサーになってほしい。 ④踊る身体作りに必要なベーシック(バレエベース)を反復しつつ、各々が動きに対するアプローチを考え、提案し合える「参加型」のクラス。						
到達目標	前期では、新しく学ぶ 動きのポキャブラリー を理解・マスターし、 また他分野で活かせる技術面の向上を図る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	ガイドダンス。静的・動的ストレッチ考察。フレーズまで	家でできる静的・動的ストレッチメニュー考案(発表あり)
2	4月24日	講義・演習	呼吸と身体の伸縮、動きとの関連性	日常生活の中での呼吸の変化に注目
3	5月8日	講義・演習	踊る身体のセンターとは	生活の中でコアを意識する時間
4	5月15日	講義・演習	ロールダウン・アップ。フラットバック	起床後のロールアップ・ダウンを習慣化
5	5月22日	講義・演習	ターンアウト考察、上体との関係	ターンアウトのメリット考察、実践
6	5月29日	講義・演習	エクササイズ～プリエ応用、コントラクション	コアエクササイズ
7	6月5日	講義・演習	片脚で立つとは。エクササイズ～タンジュ・デガジェ応用	タンジュ、デガジェ時の足の出し方考察・練習
8	6月12日	講義・演習	腕の重さ、頭の重さ・骨盤の重さ	体幹トレーニング
9	6月19日	講義・演習	上記 8、9を取り入れたリリース・テクニック	下半身強化
10	7月3日	講義・演習	上記 8を考えて エクササイズ～タンジュ・デガジェ	股関節ストレッチ(臀部、内転筋)
11	7月10日	講義・演習	クロスフロア～ターン、フレーズ	自分が得意、優れているもの考察、課題の発見
12	7月17日	講義・演習	クロスフロア～ターン、ジャンプ、フレーズ	自分が苦手、できないと思っていること考察、課題の発見
13	8月21日	講義・演習	前期の復習	レポートの提出
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習		授業内容を確認、理解し自身のスキルアップを計画的に考えて復習。ストレッチ等を反復する。		
【使用教科書・教材・参考書】				
ドレスコードは体ラインがハッキリ見える物。裸足or靴下。				

科目名	Modern B(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石井直彦
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	海外ダンスカンパニー、国際パレエコンクール振付、国内スタジオ(BDCなど)でのモダン/コンテンポラリー講師						
授業の学習 内容	①身体改造 ②身体コアの感覚の強化、重心を落として踊る、という意味で全てのダンス。 ③「上手」なダンサーから「心が見える」ダンサーへ。 ④身体強化に必要なベーシック(パレエベース)を反復しつつ、自己分析～発表を通して 学生の獨創性を育成。						
到達目標	振付を覚えて「上手に踊ること」だけを目標とするのではなく、時間がかかっても どうやったら「自分らしい踊り」ができるダンサーになれるのか、それを考えながら毎クラスの学習に臨む。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	前期の復習①	休み中の課題/成果(発表あり)
2	10月16日	講義・演習	前期の復習②	今期の課題を考える(短期、長期)
3	10月23日	講義・演習	ロンドゥ・ジャンプ・応用	体幹トレーニング
4	10月30日	講義・演習	エクササイズ～ロンドゥ・ジャンプ+フロア	体幹トレーニング、上体のストレッチ
5	11月6日	講義・演習	フォンデュ・応用	自身の身体の何が変わったか考察
6	11月13日	講義・演習	エクササイズ～応用	つま先、アキレス ストレッチ
7	11月20日	講義・演習	ジャンプ	足の裏強化エクササイズ、ストレッチ
8	11月27日	講義・演習	クロスフロア～ジャンプ応用	色々なジャンルのダンス動画を観る
9	12月4日	講義・演習	多様な音楽を感じる	多様な音楽に心はどう動く？
10	12月11日	講義・演習	お題下のインプロビゼーション(仮)	自由に即興で動いてみる
11	12月18日	講義・演習	シンプルなフレーズ創作(仮)	ストレッチ見直し
12	1月15日	講義・演習	フレーズ発表	体幹トレーニング レベルアップ
13	1月22日	講義・演習	基礎トレーニングの確認	今後の課題、自身のダンス向上に必要なのは何か考察
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習		授業内容を確認、理解し自身のスキルアップを計画的に考えて復習。ストレッチ等を反復する。		
【使用教科書・教材・参考書】				
ドレスコードは体ラインがハッキリ見える物。裸足or靴下。				

科目名	Back Dancer B(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩崎依里子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	椎名林檎、星野源、平井堅、あいみょん、ORESAMA、DAOKO、RIPSLYME、等のバックダンサーを務める						
授業の学習 内容	バックダンサーを目指す生徒がバレエを始めとしたベーシックレッスンを受けた上で当レッスンを受け、バックダンサーに必要なスキルとテクニックを身につけることを目的とする。 アーティストを影でサポートするダンスのプロフェッショナルになってもらうべく、バックダンサーとして必要なスキルやテクニックの習得は勿論、構成や振付の意図を汲む作業にも取り組み、人として成長してもらえるようなレッスン内容にする。						
到達目標	振り付けの意図を汲み、周りのダンサーとの協調性を持ちながらしっかりと自分の身体を通して熱量を伝えるパフォーマンスができるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	ウォームアップ、身体への理解を深める	ウォームアップの復習
2	4月25日	講義・演習	振り付けの習得スピードを早める	振り付けの復習、次回への準備
3	5月9日	講義・演習	振り付けへの理解力を高めることができる	振り付けの復習、次回への準備
4	5月16日	講義・演習	ユニゾンを意識し、周りとの協調性を持って踊る	1曲の振り付けの振り返りと反省
5	5月23日	講義・演習	振り付けの習得スピードを早める	振り付けの復習、次回への準備
6	5月30日	講義・演習	振り付けへの理解力を高めることができる	振り付けの復習、次回への準備
7	6月6日	講義・演習	構成やユニゾンへ身体を対応させていくことができる	振り付けの復習、次回への準備
8	6月13日	講義・演習	パフォーマンスを通してしっかりと見せ切る	1曲の振り付けの振り返りと反省
9	6月20日	講義・演習	振り付けの習得スピード更に早める	振り付けの復習、次回への準備
10	7月4日	講義・演習	振り付けへの理解力を高めることができる	振り付けの復習、次回への準備
11	7月11日	講義・演習	構成やユニゾンへ身体を対応させていくことができる	振り付けの復習、次回への準備
12	7月18日	講義・演習	パフォーマンスを通してしっかりと見せ切る	1曲の振り付けの振り返りと反省
13	8月22日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して業バックダンサーを学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通して業バックダンサーを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Back Dancer B(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩崎依里子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	椎名林檎、星野源、平井堅、あいみょん、ORESAMA、DAOKO、RIPSLYME、等のバックダンサーを務める						
授業の学習 内容	バックダンサーを目指す生徒がバレエを始めとしたベーシックレッスンを受けた上で当レッスンを受け、バックダンサーに必要なスキルとテクニックを身につけることを目的とする。 アーティストを影でサポートするダンスのプロフェッショナルになってもらうべく、バックダンサーとして必要なスキルやテクニックの習得は勿論、構成や振付の意図を汲む作業にも取り組み、人として成長してもらえるようなレッスン内容にする。						
到達目標	振り付けの意図を汲み、周りのダンサーとの協調性を持ちながらしっかりと自分の身体を通して熱量を伝えるパフォーマンスができるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	ウォームアップ、身体への解釈を再確認する	ウォームアップの復習
2	10月17日	講義・演習	振り付けの習得スピードを早める	振り付けの復習、次回への準備
3	10月24日	講義・演習	振り付けへの理解力を高めることができる	振り付けの復習、次回への準備
4	10月31日	講義・演習	ユニゾンを意識し、周りとの協調性を持って踊る	1曲の振り付けの振り返りと反省
5	11月7日	講義・演習	振り付けの習得スピードを早める	振り付けの復習、次回への準備
6	11月14日	講義・演習	振り付けへの理解力を高めることができる	振り付けの復習、次回への準備
7	11月21日	講義・演習	構成やユニゾンへ身体を対応させていくことができる	振り付けの復習、次回への準備
8	11月28日	講義・演習	パフォーマンスを通してしっかりと見せ切る	1曲の振り付けの振り返りと反省
9	12月5日	講義・演習	振り付けの習得スピード更に早める	振り付けの復習、次回への準備
10	12月12日	講義・演習	振り付けへの理解力を高めることができる	振り付けの復習、次回への準備
11	12月19日	講義・演習	構成やユニゾンへ身体を対応させていくことができる	振り付けの復習、次回への準備
12	1月16日	講義・演習	パフォーマンスを通してしっかりと見せ切る	1曲の振り付けの振り返りと反省
13	1月23日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポートの提出
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通して業バックダンサーを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して業バックダンサーを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP B(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	小川紗弥花
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2PM CONCERT HOUSE PARTY in Japan ダンサー出演 他						
授業の学習 内容	ダンスの基礎練習・身体の使い方を研究・怪我をしないためのストレッチ方法の学習						
到達目標	基礎を練習して身体の可動域を広げること・自分にしかできない表現力を磨き、自信をつけること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	自己紹介・目標設定・授業内容説明・基礎練習	得意なことを探す
2	4月25日	講義・演習	アイソレーション基礎練習	前週の復習
3	5月9日	講義・演習	アイソレーション基礎応用	前週の復習
4	5月16日	講義・演習	ステップ基礎練習	前週の復習
5	5月23日	講義・演習	ステップ基礎応用	前週の復習
6	5月30日	講義・演習	指先・足先にフォーカス 動線確認	前週の復習
7	6月6日	講義・演習	緩急について研究	前週の復習
8	6月13日	講義・演習	テスト内容 振り写し・練習	前週の復習
9	6月20日	講義・演習	テスト内容 振り写し・練習	テスト内容の練習
10	7月4日	講義・演習	テスト内容 練習	テスト内容の練習
11	7月11日	講義・演習	前期 実技テスト	テスト内容の練習
12	7月18日	講義・演習	身体の使い方 確認	前週の復習
13	8月22日	講義・演習	個性を活かした表現の研究	前週の復習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して業K-popを学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通して業K-popを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル・ドリンク				

科目名	K-POP B(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	小川紗弥花
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2PM CONCERT HOUSE PARTY in Japan ダンサー出演 他						
授業の学習 内容	ダンスの基礎練習・身体の使い方を研究・怪我をしないためのストレッチ方法の学習						
到達目標	基礎を練習して身体の可動域を広げること・自分にしかできない表現力を磨き、自信をつけること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	目標確認・前期の復習	目標の確認
2	10月17日	講義・演習	アイソレーションテクニック習得	前週の復習
3	10月24日	講義・演習	アイソレーションテクニック応用	前週の復習
4	10月31日	講義・演習	ステップテクニック習得	前週の復習
5	11月7日	講義・演習	ステップテクニック応用	前週の復習
6	11月14日	講義・演習	フロアテクニック練習	前週の復習
7	11月21日	講義・演習	フロアテクニック応用	前週の復習
8	11月28日	講義・演習	テスト内容 振り写し・練習	前週の復習
9	12月5日	講義・演習	テスト内容 振り写し・練習	テスト内容の練習
10	12月12日	講義・演習	テスト内容 練習	テスト内容の練習
11	12月19日	講義・演習	後期 実技テスト	テスト内容の練習
12	1月16日	講義・演習	身体の角度にフォーカス 練習	前週の復習
13	1月23日	講義・演習	自分だけのダンススタイルを築く	前週の復習
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通して業K-popを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して業K-popを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル・ドリンク				

科目名	Girls Hiphop (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	新井杏子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンスインストラクター歴27年□						
授業の学習 内容	Girls HiphopにHiphop,R&B,Reggae,J-pop,K-popなど様々なジャンルの要素をとりいれて学び、 昨今のジャンルレス、ジェンダーレスなコレオグラフィーに対応できる技術を学び、感性を磨く。						
到達目標	ダンサーとしての必要不可欠なエクササイズ、アイソレーション、グルーヴ、ウォーキング、ポージングなど基礎を身に付け、 実際に振り付けを踊り表現力を身に付ける。□						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	授業内容の把握、ウォーミングアップ□	
2	4月25日	講義・演習	アイソレーションの理解、体幹トレーニング 基礎の動きを使った振り付け□	ストレッチの流れを復習
3	5月9日	講義・演習	しなやかな動きの理解、アイソレーション、課題曲振り付け	アイソレーションの復習
4	5月16日	講義・演習	腰の動き、グルーヴ感を養う、課題曲振り付け続き	前回の振り付け復習
5	5月23日	講義・演習	グルーヴ感、パワフルさを活かし 課題曲振り付けを完成させる	次回課題曲を聞いておく
6	5月30日	講義・演習	視線の使い方を理解し表現力を身に付ける 振り付けを覚える	振り付けの復習をしておく
7	6月6日	講義・演習	上半身の強化 J-popで踊り、歌詞に沿った表現力を身に付ける	振り付けの復習をしておく
8	6月13日	講義・演習	下半身の強化 前回の振り付け確認、さらに振り付けを覚える	振り付けの復習をしておく
9	6月20日	講義・演習	前回の振り付けに表現力をつけ自分らしさをひきだす	課題曲を聞いておく
10	7月4日	講義・演習	テストの課題曲の振り付けを覚える	振り付けの復習をしておく
11	7月11日	講義・演習	テスト	後期への課題を自分で考える
12	7月18日	講義・演習	テスト振り返り	後期へむけて復習
13	8月22日	講義・演習	前期で学んだことを活かして踊り込む	
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Girls Hiphop (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	新井杏子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンスインストラクター歴27年□						
授業の学習 内容	Girls HiphopにHiphop,R&B,Reggae,J-pop,K-popなど様々なジャンルの要素をとりいれて学び、 昨今のジャンルレス、ジェンダーレスなコレオグラフィーに対応できる技術を学び、感性を磨く。						
到達目標	ダンサーとしての必要不可欠なエクササイズ、アイソレーション、グルーヴ、ウォーキング、ポージングなど基礎を身に付け、実際に振り付けを踊り表現力を身に付ける。□						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	リズム、ニュアンスなある動きを理解する	体幹を鍛えておく
2	10月17日	講義・演習	グルーヴ、アイソレーションの確認 課題曲の振り付け	前回の復習をしておく
3	10月24日	講義・演習	アイソレーション、ウォーキング 課題曲の振り付け続き	前回の振り付けを復習しておく
4	10月31日	講義・演習	課題曲の理解を深め、表現力をつけ踊る	前回の振り付けを復習しておく
5	11月7日	講義・演習	振り付けにフォーメーションをつけて踊る	前回の振り付けを復習しておく
6	11月14日	講義・演習	ヒールでウォーキングができる	課題曲を聞いておく
7	11月21日	講義・演習	ヒールを履いて振り付けを踊る	前回の振り付けを復習しておく
8	11月28日	講義・演習	椅子を使った振り付けを理解する	前回の振り付けを復習しておく
9	12月5日	講義・演習	椅子を使った振り付けに表現力をつける	前回の振り付けを復習しておく
10	12月12日	講義・演習	テストの課題曲の振り付けを覚える	課題曲を聞いておく
11	12月19日	講義・演習	テスト	自分なりの課題を立てておく
12	1月16日	講義・演習	テスト振り返り	自分で立てた課題を復習しておく
13	1月23日	講義・演習	後期学んだことを活かして踊り込む	
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Break(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 東山悠司
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	ブレイクダンス指導歴 STUDIO ARTRIZ(13年)・ZEAL町田(10年)・WINWIN, WANNA DANNCE STUDIO, SUNNY SPOT(5年)・他ワークショップ等(21年)					
授業の学習 内容	①ブレイクダンスの要素を細分化し基礎から習得する中で、非日常的な姿勢で静止したり、全身を使って立体的に回転したり、パフォーマンスの中で特に人の目を惹きつける技を体得していく。 ②ストリートダンス全般に関連し、歴史的背景もあり1対1でのバトル等、競い合う精神が一番高いジャンル。 ③他ジャンルでは得にくい基礎体力・筋力・バランス感覚等を養う。 ④レッスン順序 柔軟→筋力トレーニング→フリーズ各種→振り付けまたは技の練習→バトルまたはセッション。					
到達目標	ストレッチで柔軟性を養い関節の可動域を広げ、可能な技の範囲を拡大する。筋力トレーニングで特に上半身の筋力を養い、脚が床に着かない色々な体勢で支持出来る体作りを行う。倒立が基礎になる技を多用するので、倒立が自立で可能になる為のトレーニングを段階的に行う。名前の付いている基礎となるステップを覚え、反復練習する。ブレイクダンスの歴史と、今も残る特有の文化を学習する。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	ブレイクダンスの歴史と文化の説明	ネット上でブレイクダンスの歴史と文化を調査
2	4月24日	講義・演習	日本でのブレイクダンスシーン解説	日本人有名ダンサーを検索・把握
3	5月8日	講義・演習	ネットでの学習の仕方や検索用語の説明	教わった用語を使用し、ネットにて調査
4	5月15日	講義・演習	柔軟・筋トレ・フリーズ各種の習得	ネットでの動画閲覧
5	5月22日	講義・演習	柔軟・筋トレ・フリーズ各種の実践	動画を撮影し、自身の柔軟性・筋力を分析
6	5月29日	講義・演習	柔軟・筋トレ・フリーズ各種の自己分析	動画を撮影し、自身のフリーズの形を分析
7	6月5日	講義・演習	倒立・ステップ数種の習得	動画を撮影し、自身の倒立を分析
8	6月12日	講義・演習	倒立・ステップ数種の実践	動画を撮影し、自身のステップを分析
9	6月19日	講義・演習	倒立・ステップ数種の自己分析	この時点での自身の能力に合った技術を選定
10	7月3日	講義・演習	振り付け・セッションの練習	動画を撮影し、自己分析
11	7月10日	講義・演習	振り付け・セッションの実践	動画を撮影し、見直し
12	7月17日	講義・演習	振り付け・バトルの練習・実践	動画を撮影し、自己分析
13	8月21日	講義・演習	イベント実践を通して文化と精神面、様々な技術を学ぶ	レポートの提出
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してブレイクダンスを学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してブレイクダンスを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			ネットを使用し、検索や調査・動画サイトで初心者～上級者まで閲覧	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル・ソフトマット1枚				

科目名	Break(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	東山悠司
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ブレイクダンス指導歴 STUDIO ARTRIZ(13年)・ZEAL町田(10年)・WINWIN, WANNA DANNCE STUDIO, SUNNY SPOT(5年)・他ワークショップ等(21年)						
授業の学習 内容	①群舞でのパフォーマンスと区別し、一人で踊る事への意義を実感してもらう。 ②ストリートダンス全般に関連し、歴史的背景もあり1対1でのバトル等、競い合う精神が一番高いジャンル。 ③難易度の高い技の習得に向かい、出来た時の達成感を感じる事で、途中で屈しない精神を養う。 ④バトルを通じて、競争心・コミュニケーション・相手への尊重等の育成を図る。						
到達目標	前期で培われた柔軟性・筋力・覚えたステップを基礎とし、1人で踊る為の振り付けを自分で組み立てる。バトルを想定し、鏡では無く、対戦相手にエネルギーを向けて踊る訓練をする。振り付けとは別で、即興性やミスした際にリカバリーする能力を高める。1対1またはチーム分けをし、ダンスバトルを実践する。バトルのモチベーションとは別で、円になりお互いを尊重しながら見せ合うだけのセッションを行う。大技の習得。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	高難度の柔軟・筋トレの解説 ステップ数種	各自目標とする難度技の設定
2	10月16日	講義・演習	高難度の柔軟・筋トレの練習 ステップ数種	ネットや動画サイトを調べ、難度技の理論を分析
3	10月23日	講義・演習	高難度の柔軟・筋トレの実践 振り付け	自身の柔軟度・筋力を動画撮影し分析
4	10月30日	講義・演習	高難度の倒立の解説 ステップ数種	倒立に関する記事や動画をネットで閲覧
5	11月6日	講義・演習	高難度の倒立の練習 ステップ数種	動画を撮影し分析
6	11月13日	講義・演習	高難度の倒立の実践 振り付け	高難度の倒立の反復練習
7	11月20日	講義・演習	高難度のフリーズ各種の練習 ステップ数種	フリーズに関する記事や動画をネットで閲覧
8	11月27日	講義・演習	高難度のフリーズ各種の実践 振り付け	高難度のフリーズの反復練習
9	12月4日	講義・演習	即興・リカバリーの解説・練習	即興・リカバリーに関する記事や動画をネットで閲覧
10	12月11日	講義・演習	即興・リカバリーの実践	動画を撮影し分析
11	12月18日	講義・演習	バトルの解説、実践	自身の振り付けを事前に構想
12	1月15日	講義・演習	チーム分けバトルまたは1対1のバトル	実践動画を分析し、見直し・考察
13	1月22日	講義・演習	イベント実践を通して文化と精神面、様々な技術を学ぶ	レポートの提出
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してブレイクダンスを学ぶ	ワークシート提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してブレイクダンスを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			授業内で行った内容の反復練習・動画の自己撮影	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Acrobat(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	東山悠司
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アクロバット指導歴 STUDIO ARTRIZ(13年)・STUDIO VICEO、BOX ACADEMY(5年)・ENERGY DANCE STUDIO(4年)・SPACE N(3年)・他ワークショップ等(16年)						
授業の学習 内容	①特殊技能であるアクロバットを習得するのが目的。 ②アクロバット習得に必要な基礎トレーニングを重ねることによって、身体能力の向上が期待出来るので、他のダンスや実技クラスにも活かせる。 ③技の習得やアクロバット技術への理解を深めることにより、パフォーマンスの幅を広げる。 ④主に前方系・後方系・側方系の基礎的なマット運動。補助倒立。筋力トレーニング・柔軟。						
到達目標	男子も女子も綺麗なロンダートを目指とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	授業内容、注意事項の説明 基礎練習	ネット上でアクロバットの歴史と文化を調査
2	4月24日	講義・演習	基礎練習 前方系・後方系・側方系 ブリッジ・倒立	動画を撮影し、自身の柔軟性・筋力を分析
3	5月8日	講義・演習	基礎練習 前方系・後方系・側方系 ブリッジ・倒立	体幹トレーニング
4	5月15日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを説明～補助付きで練習	ネット上で参考動画の検索・閲覧
5	5月22日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを補助付きで練習	動画を撮影し、自己分析
6	5月29日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを補助付きで練習	体幹トレーニング
7	6月5日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを補助無しでの練習	動画を撮影し、自己分析
8	6月12日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを補助無しでの練習	体幹トレーニング
9	6月19日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを補助無しでの練習	体幹トレーニング
10	7月3日	講義・演習	基礎練習 ロンダートの実践	動画を撮影し、自己分析
11	7月10日	講義・演習	基礎練習 ロンダートの実践	動画を撮影し、自己分析
12	7月17日	講義・演習	基礎練習 ロンダートの実践	動画を撮影し、自己分析
13	8月21日	講義・演習	イベント実践を通して筋力・柔軟性の必要性を学ぶ	レポートの提出
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してアクロバットを学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してアクロバットを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			自宅や狭い場所でも可能な体幹トレーニング数種	
【使用教科書・教材・参考書】				
マット各種				

科目名	Acrobat(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	東山悠司
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アクロバット指導歴 STUDIO ARTRIZ(13年)・STUDIO VICEO、BOX ACADEMY(5年)・ENERGY DANCE STUDIO(4年)・SPACE N(3年)・他ワークショップ等(16年)						
授業の学習 内容	①具体的に自身で選んだ高難度の技を習得し、補助無しの実践。パフォーマンスの印象付けになる。 ②アクロバット習得に必要な基礎トレーニングを重ねることによって、身体能力の向上が期待出来るので、他のダンスや実技クラスにも活かせる。 ③技が成功した時の達成感や、一つの難しいことにも繰り返し挑戦する意義を実感させる。 ④主に前方系・後方系・側方系の高難度のマット運動。倒立静止。筋力トレーニング・柔軟。タンブリング(連続技)。カポエイラやトリッキングなどの動きを取り入れた練習も行う。						
到達目標	男子も女子も二つ以上のタンブリング(連続技)を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	後期の方向性の説明 基礎練習	各自目標とする難度技の設定
2	10月16日	講義・演習	基礎練習 前方系・後方系・側方系 ブリッジ・倒立	動画を撮影し、自身の柔軟性・筋力を分析
3	10月23日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンスプリングを補助付きで練習	動画を撮影し、自己分析
4	10月30日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハンスプリングを補助無しで実践	動画を撮影し、自己分析
5	11月6日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技を補助付きで練習	動画を撮影し、自己分析
6	11月13日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技を補助無しで練習	動画を撮影し、自己分析
7	11月20日	講義・演習	基礎練習 カポエイラやトリッキング等の説明～体験	ネット上で参考動画の検索・閲覧
8	11月27日	講義・演習	基礎練習 カポエイラやトリッキング等の練習	動画を撮影し、自己分析
9	12月4日	講義・演習	基礎練習 カポエイラやトリッキング等の練習	体幹トレーニング
10	12月11日	講義・演習	基礎練習 カポエイラやトリッキング等の練習	体幹トレーニング
11	12月18日	講義・演習	基礎練習 タンブリングの説明～補助付きで体験	ネット上で参考動画の検索・閲覧
12	1月15日	講義・演習	基礎練習 タンブリングの練習・実践	動画を撮影し、自己分析
13	1月22日	講義・演習	イベント実践を通してを達成感・アクロバットが持つ魅力を学ぶ	レポートの提出
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してアクロバットを学ぶ	ワークシート提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してアクロバットを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			自宅や狭い場所でも可能な体幹トレーニング数種	
【使用教科書・教材・参考書】				
マット各種				

科目名	Pop(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	村上未来
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	チームでのショーやバトル、ナンバー出演、インストラクターなど多方面で活動						
授業の学習 内容	アイルから始まり様々な身体のコントロールの仕方を学び、技を身に着ける。振付(作る・踊る)、フリースタイルの練習。						
到達目標	身体の使い方を理解しコントロールしながらPop特有の技を身に着け応用としてフリースタイルや自ジャンルに生かせるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	Popとは？筋力の使い方(腕・脚)	ヒット練習・筋トレ
2	4月21日	講義・演習	ヒットの打ち方②(首・手首)	ヒット練習・筋トレ
3	5月12日	講義・演習	ヒットの打ち方③(胸)/ウェーブ	ヒット練習・ウェーブ練習
4	5月19日	講義・演習	ハンドウィーブ/ボディーウェーブ	授業の復習
5	5月26日	講義・演習	リズムキープしながら踊る	授業の復習
6	6月2日	講義・演習	ウォークアウト/ステップの練習	授業の復習
7	6月9日	講義・演習	フレックスのバリエーション	授業の復習
8	6月16日	講義・演習	⑥⑦の復習と振付の練習	授業の復習
9	6月23日	講義・演習	リズムキープしながら踊るのタットの応用	授業の復習
10	6月30日	講義・演習	オールドマン(引っぱり)について	授業の復習
11	7月7日	講義・演習	①～⑪の復習を応用(フリー)	授業の復習
12	7月14日	講義・演習	テスト準備しチームで振付	振付の復習・考えてくる
13	8月25日	講義・演習	テスト	動画を見て振り返り
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してPopを学ぶ	ワークシート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してPopを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Pop(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	村上未来
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	チームでのショーやバトル、ナンバー出展、インストラクターなど多方面で活動						
授業の学習 内容	動きの繋がりを意識しながら、どんな音にも対応できるスキルと応用を身につける。						
到達目標	前期で習得したスキルと新しく学ぶスキルを混ぜながらフリースタイルで踊れるようになる。振り付けと構成をつけられるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	前期のヒットの復習と名称の確認	ヒット練習と名称の確認、復習
2	10月13日	講義・演習	ヒットとウェーブのおり混ぜ、応用	ヒット、ウェーブ練習
3	10月20日	講義・演習	ステップとリズム意識の音の乗り方	リズムをとりながらのヒット練習
4	10月27日	講義・演習	ロールとウェーブの繋がり	ウェーブ、ロールの練習
5	11月3日	講義・演習	フレックスの種類①	動きと名称の復習
6	11月10日	講義・演習	フレックスの種類②、動きの繋げ方	動きと名称の復習
7	11月17日	講義・演習	1～6を応用したフリースタイル	フリーで踊る練習
8	11月24日	講義・演習	ダブルヒット、スピードコントロール	ヒット練習、フリーで踊る練習
9	12月1日	講義・演習	手のアプローチと足のアプローチ	音楽を聴く、フリーで踊る練習
10	12月8日	講義・演習	カノンやベアの振り付けのバリエーション	音楽を聴く、フリーで踊る練習
11	12月15日	講義・演習	今までの授業の応用と振り付け作り	音楽を聴く、フリーで踊る練習
12	1月19日	講義・演習	振り付け作り、構成付け、テスト	音楽を聴く、フリーで踊る練習
13	2月2日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	今学期の振り返り
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してPopを学ぶ	ワークシート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してPopを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
スニーカー、動きやすい服装				

科目名	LA Style(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	相馬伊織
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アメリカ・ロサンゼルスでダンサーとして活動、WS、MV等出演						
授業の学習 内容	①日本にいても海外のスタイルを学べるため ②他のダンスにも応用できる技術を身に付ける ③世界でも活躍できるダンサー ④ストレッチ、アイソレーション、振り付けを通し、身体作りスキルの向上						
到達目標	基礎を学び、個々のダンススタイルを確立する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	身体作り	筋カトレーニング
2	4月24日	講義・演習	ストレッチ	自分の体の特徴を知る
3	5月8日	講義・演習	アイソレーション	アイソレーションの復習
4	5月15日	講義・演習	ストレッチ、アイソレーションの応用	応用の復習
5	5月22日	講義・演習	コンビネーション	コンビネーション復習
6	5月29日	講義・演習	カウントの取り方	授業内容の復習
7	6月5日	講義・演習	音の取り方、感じ方	曲を聞いて音とカウントを意識する
8	6月12日	講義・演習	身体の使い方	アイソレーションを意識する
9	6月19日	講義・演習	音を取り入れた身体の使い方	音によって異なる身体の使い方を考える
10	7月3日	講義・演習	重心、シルエットの運び方	自分の体と向き合い自分の癖を考える
11	7月10日	講義・演習	振り付けと音の結びつき	洋楽の音・歌詞の意味を考える
12	7月17日	講義・演習	力の強弱と振り付けの緩急	自分の個性に合わせた魅せ方を知る
13	8月21日	講義・演習	テスト	これまでの授業の復習・今後の課題を見据える
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してLAの身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してLAの身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習		授業内容の反復練習。授業で扱った洋楽の英語の意味を自分で調べ日頃からの英語学習を心得る。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	LA Style(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	相馬伊織
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アメリカ・ロサンゼルスでダンサーとして活動、WS、MV等出演						
授業の学習 内容	①日本にいても海外のスタイルを学べるため ②他のダンスにも応用できる技術を身に付ける ③世界でも活躍できるダンサー ④ストレッチ、アイソレーション、振り付けを通し、身体作りスキルの向上						
到達目標	海外でも通用するマインド&ダンススキルの獲得						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	前期の復習、後期の目標設定	自分のなりたいダンサー像を設定する
2	10月16日	講義・演習	自分のスタイルと向き合い長所を振り下げる	独自のダンススタイルを伸ばす意識をする
3	10月23日	講義・演習	日本とアメリカのダンス業界の差異について	視野を広げて今の自分の課題を見つける
4	10月30日	講義・演習	自分のスタイルを用いてフリーで踊る	音や歌詞に合わせて踊る意識を身体に染み込ませる
5	11月6日	講義・演習	アメリカにおけるダンスへのマインドについて	ソロでも自分を魅せられる力を身に付ける
6	11月13日	講義・演習	ひとりひとりソロで魅せるダンス	自分の個性と向き合い自分の課題を見つめる
7	11月20日	講義・演習	振り付けを作る際の音の取り方	独自の音の取り方を身に付ける
8	11月27日	講義・演習	洋楽の歌詞の意味を理解した上で踊る	これまでの英語学習をアウトプットする
9	12月4日	講義・演習	授業で扱った振り付けを取り入れ自分のスタイルにする	誰にも寄せず、振り付けを自分のものにする意識をする
10	12月11日	講義・演習	フリースタイルで振り付け制作して発表	これまでに得た自分のスタイルで振り付けを制作
11	12月18日	講義・演習	ステージレオグラフィー①	舞台やステージ上での個性の発揮を目指す
12	1月15日	講義・演習	ステージレオグラフィー②	舞台やステージ上での個性の発揮を目指す
13	1月22日	講義・演習	テスト	これまでの授業の復習・今後の課題を見据える
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してLAの身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してLAの身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習		授業内容の反復練習。授業で扱った洋楽の英語の意味を自分で調べ日頃からの英語学習を心得る。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	House(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鳥居勇
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンススタジオインストラクター、イベント出演、アーティスト振付						
授業の学習 内容	他ジャンルと比べ特にステップに特化している為、リズムと身体の軸を正しく捉えることで、より幅広く自身の踊りを表現することができるようになる。基礎を反復し、きちんとした下地を作り、表面だけのステップにならないよう授業を進めていきます。授業後半ではフリーで踊る練習もしていきます。						
到達目標	授業で習得したステップを使いフリーで踊れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	リズムの取り方、身体の弾ませ方の説明、ピックアップステップ「バドレ」	基本リズムの復習を各自
2	4月21日	講義・演習	基本ステップ反復、ピックアップステップ「2ステップ、ルースレグ」	ルースレグ 振付復習
3	5月12日	講義・演習	基本ステップ反復、ピックアップステップ「ヒールトゥ」	ヒールトゥ 振付復習
4	5月19日	講義・演習	基本ステップ反復、ピックアップステップ「ツイストを使ったステップ」	ツイスト 振付復習
5	5月26日	講義・演習	基本ステップ反復、ピックアップステップ「膝抜き」	膝抜き 振付復習
6	6月2日	講義・演習	基本ステップ反復、ピックアップステップ「ファーマー」	ファーマー 振付復習
7	6月9日	講義・演習	基本ステップ反復、ピックアップステップ「クロスウォーク、シャッフル」	クロスウォーク、シャッフル 振付復習
8	6月16日	講義・演習	基本ステップ反復、フロアムーブ	振付復習
9	6月23日	講義・演習	基本ステップ反復、ピックアップ各ステップ復習	各ステップの細かい確認
10	6月30日	講義・演習	基本ステップ反復、前期の総合的なステップの振付を覚える	振付復習
11	7月7日	講義・演習	基本ステップ反復、前期の総合的なステップの振付続き	振付復習
12	7月14日	講義・演習	2週続けた振付での少人数づつのテスト フリーのテスト	振付復習
13	8月25日	講義・演習	前期の総復習	各基本ステップの確認
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してHOUSEを学ぶ	ワークシート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してHOUSEを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	House(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鳥居勇
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンススタジオインストラクター、イベント出演、アーティスト振付						
授業の学習 内容	前期と同様、リズムの取り方と基本ステップを繰り返し練習し、HOUSEのノリの理解を更に深める。またフリーで踊る表現の幅を 広くできるように授業を進めていく。						
到達目標	起承転結を意識しフリーで踊る						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	リズムと弾み方の説明、基本ステップ説明・復習「バドブレ・応用」	振付復習
2	10月13日	講義・演習	基本ステップ「2ステップ・ルースレグ、表裏のリズム、腰の使い方」	腰の使い方 振付復習
3	10月20日	講義・演習	基本ステップ 前期後期ステップ復習①	ステップ復習
4	10月27日	講義・演習	基本ステップ 前期後期ステップ復習②	ステップ復習
5	11月3日	講義・演習	基本ステップ「スワル」	スワル 振付復習
6	11月10日	講義・演習	基本ステップ「スワル応用」	振付復習
7	11月17日	講義・演習	基本ステップ「ピーターポール」	ピーターポール 振付復習
8	11月24日	講義・演習	基本ステップ 3連ステップドルフィン	振付復習
9	12月1日	講義・演習	基本ステップ 総復習	基本ステップの練習
10	12月8日	講義・演習	基本ステップ 総復習・応用	ステップとステップを繋ぐ練習
11	12月15日	講義・演習	基本ステップ 総復習・応用	フリーで踊るイメージ具体化してみる
12	1月19日	講義・演習	基本ステップ 実技テスト用振付	ステップ復習
13	2月2日	講義・演習	基本ステップ テスト フリーテスト	振付復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してHOUSEを学ぶ	ワークシート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してHOUSEを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Voice Training A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西涼子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	昭和音楽短期大学声楽科卒業後ヤマハのコンテストで優秀賞を受賞し、その後多数アーティストのバックコーラスとしてレコーディングやTV番組、コンサートツアーに参加。現在オリジナル呼吸法で企業向けの研修も行っている。						
授業の学習 内容	①基礎である呼吸法をしっかり身に着けることで、歌うためのメンタルと身体楽器を作ることを学ぶ ②歌うことで更なる表現力を学びダンス等への表現力へと繋げる ③基礎をしっかりと身に着け、歌う為の響きの良い身体を習得してほしい						
到達目標	歌うために必要な基礎をしっかりと身に着け、土台を作り上げる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	1年間の授業内容の説明とプリント配布	プリントの解読
2	4月25日	講義・演習	歌う時の姿勢・呼吸法の基礎の実践①一人ずつワンコーラス歌を発表	姿勢・呼吸法のおさらい①発表曲のおさらい
3	5月9日	講義・演習	歌う時の姿勢・呼吸法の基礎の実践②一人ずつワンコーラス歌を発表	姿勢・呼吸法のおさらい②発表曲のおさらい
4	5月16日	講義・演習	歌う時の姿勢・呼吸法の基礎の実践③一人ずつワンコーラス歌を発表	姿勢・呼吸法のおさらい③発表曲のおさらい
5	5月23日	講義・演習	歌う時の土台になる筋力・スケールのトレーニング①一人ずつワンコーラス歌を発表	筋力・スケールトレーニングのおさらい①発表曲のおさらい
6	5月30日	講義・演習	歌う時の土台になる筋力・スケールのトレーニング②一人ずつワンコーラス歌を発表	筋力・スケールトレーニングのおさらい②発表曲のおさらい
7	6月6日	講義・演習	声を作り出す筋力①・リップロール・スケールのトレーニング・一人ずつワンコーラス歌を	声筋力①・リップロール・スケールトレーニングのおさらい・発表曲のおさらい
8	6月13日	講義・演習	声を作り出す筋力②・タンロール・スケールのトレーニング・一人ずつワンコーラス歌を発表	声筋力②・タンロール・スケールトレーニングのおさらい・発表曲のおさらい
9	6月20日	講義・演習	腹筋強化・舌のトレーニング①・一人ずつワンコーラス歌を発表	腹筋強化・舌のトレーニング①のおさらい・発表曲のおさらい
10	7月4日	講義・演習	腹筋強化・舌のトレーニング②・一人ずつワンコーラス歌を発表	腹筋強化・舌のトレーニング②のおさらい・発表曲のおさらい
11	7月11日	講義・演習	腹筋強化・舌のトレーニング③・一人ずつワンコーラス歌を発表	腹筋強化・舌のトレーニング③のおさらい・発表曲のおさらい
12	7月18日	講義・演習	前期の授業内容の確認	前期のトレーニングの復習
13	8月22日	講義・演習	前期の歌のまとめと発表	前期の発表曲の復習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			毎日呼吸法の実践・VTノートを作りすべての注意点を記入・自分の歌った曲は必ず録音する	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布したプリント・メモ用ノート・録音機器(ipad)・自分が歌う曲の歌詞				

科目名	Voice Training A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西涼子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	昭和音楽短期大学声楽科卒業後ヤマハのコンテストで優秀賞を受賞し、その後多数アーティストのバックコーラスとしてレコーディングやTV番組、コンサートツアーに参加。現在オリジナル呼吸法で企業向けの研修も行っている。						
授業の学習 内容	①基礎である呼吸法をしっかり身に着けることで、歌うためのメンタルと身体楽器を作ることを学ぶ ②歌うことで更なる表現力を学びダンス等への表現力へと繋げる ③基礎をしっかりと身に着け、歌う為の響きの良い身体を習得してほしい						
到達目標	基礎である土台固めをさらに築いて響きの良い身体作りを実践する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	後期の各自の目標制作	後期の目標確認
2	10月17日	講義・演習	一人ずつフルコーラス歌を発表	発表曲のおさらい
3	10月24日	講義・演習	前期のすべてのおさらい	前期内容の確認
4	10月31日	講義・演習	呼吸法・リズム・半音のトレーニング①一人ずつワンコーラス歌を発表	呼吸法・リズム・半音のおさらい①発表曲のおさらい
5	11月7日	講義・演習	呼吸法・リズム・半音のトレーニング②一人ずつワンコーラス歌を発表	呼吸法・リズム・半音のおさらい②発表曲のおさらい
6	11月14日	講義・演習	呼吸法・リズム・半音のトレーニング③一人ずつワンコーラス歌を発表	呼吸法・リズム・半音のおさらい③発表曲のおさらい
7	11月21日	講義・演習	呼吸法・リズム・半音のトレーニング④一人ずつワンコーラス歌を発表	呼吸法・リズム・半音のおさらい④発表曲のおさらい
8	11月28日	講義・演習	身体の中で声を鳴らす・胸の響かせ方・一人ずつワンコーラス歌を発表	胸の響かせ方のおさらい・発表曲のおさらい
9	12月5日	講義・演習	身体の中で声を鳴らす・鼻の響かせ方・一人ずつワンコーラス歌を発表	鼻の響かせ方のおさらい・発表曲のおさらい
10	12月12日	講義・演習	身体の中で声を鳴らす・ヘッドの響かせ方・一人ずつワンコーラス歌を発表	ヘッドの響かせ方のおさらい・発表曲のおさらい
11	12月19日	講義・演習	身体の中で声を鳴らす・響かせ方おさらい・一人ずつワンコーラス歌を発表	すべての響かせ方のおさらい・発表曲のおさらい
12	1月16日	講義・演習	1年間のまとめ	1年間のおさらい
13	1月23日	講義・演習	最後の歌の発表	発表曲のおさらい
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			毎日呼吸法の実践・VTノートを作りすべての注意点を記入・自分の歌った曲は必ず録音する	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布したプリント・メモ用ノート・録音機器(ipad)・自分が歌う曲の歌詞				

科目名	Voice Training B(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 藤田統子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	HIPHOP R&Bユニット「SoFly」のボーカルとして2005年にメジャーデビュー。アーティスト/ボーカリストとして活動する傍ら、ボイトレーナー(2006年～)としても活動中。□					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱トレーニングメインで進める。</li> <li>・どんな状況においても本来の自分の力を発揮できるようなメンタルを身につけられるようにマインドセットもやる。</li> <li>・オーディションやライブでのパフォーマンス力を上げ、デビューへ近づぐための実践型トレーニング。</li> <li>・表現者として生きていく上での基礎的な知識と体力を身につける。</li> </ul>					
到達目標	<p>他人と比べず、自分の声・自分の歌を見つけ、それを言葉で説明、実技で表現できるようにすること。 ダンスと歌を共存させるために必要な力(表現力・パフォーマンス力・実行力)、 そして表現者としての振る舞い方や心と体のバランス感覚・考え方を身につける。</p>					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	課題曲①-1 【課題】表現とダイナミックさについて学ぶ。	授業内容の復習・自主トレ
2	5月7日	講義・演習	課題曲①-2 【課題】表現とダイナミックさについて学ぶ。	授業内容の復習・自主トレ
3	5月14日	講義・演習	課題曲①-3/定期発表の練習 各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
4	5月21日	講義・演習	課題曲① 定期発表	授業内容の復習・自主トレ
5	5月28日	講義・演習	課題曲②-1 【課題】ロングトーンとプレスを再現する。	授業内容の復習・自主トレ
6	6月4日	講義・演習	課題曲②-2 【課題】ロングトーンとプレスを再現する。	授業内容の復習・自主トレ
7	6月11日	講義・演習	課題曲②-3/定期発表の練習 各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
8	6月18日	講義・演習	課題曲② 定期発表	授業内容の復習・自主トレ
9	6月25日	講義・演習	課題曲③-1 【課題】滑舌とリズムを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
10	7月2日	講義・演習	課題曲③-2 【課題】滑舌とリズムを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
11	7月9日	講義・演習	課題曲③-3/定期発表の練習 各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
12	7月16日	講義・演習	課題曲③ 定期発表	授業内容の復習・自主トレ
13	8月27日	講義・演習	個人カウンセリング	授業内容の復習・自主トレ
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			進行具合によって課題が変わるので、必ず授業後には復習と自主練を行うことが必要。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Voice Training B(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 藤田統子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	HIPHOP R&Bユニット「SoFly」のボーカルとして2005年にメジャーデビュー。アーティスト/ボーカリストとして活動する傍ら、ボイストレーナー(2006年～)としても活動中。□					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱トレーニングメインで進める。</li> <li>・どんな状況においても本来の自分の力を発揮できるようなメンタルを身につけられるようにマインドセットもやる。</li> <li>・オーディションやライブでのパフォーマンス力を上げ、デビューへ近づぐための実践型トレーニング。</li> <li>・表現者として生きていく上での基礎的な知識と体力を身につける。</li> </ul>					
到達目標	他人と比べず、自分の声・自分の歌を見つけ、それを言葉で説明、実技で表現できるようにすること。 ダンスと歌を共存させるために必要な力(表現力・パフォーマンス力・実行力)、 そして表現者としての振る舞い方や心と体のバランス感覚・考え方を身につける。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	課題曲④-1 【課題】ハモリを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
2	10月15日	講義・演習	課題曲④-2 【課題】ハモリを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
3	10月22日	講義・演習	課題曲課題曲④-3/定期発表の練習 各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
4	10月29日	講義・演習	課題曲④ 定期発表	授業内容の復習・自主トレ
5	11月5日	講義・演習	課題曲⑤-1(洋楽) 【課題】洋楽についての学習(英語の発音)	授業内容の復習・自主トレ
6	11月12日	講義・演習	課題曲⑤-2(洋楽) 【課題】洋楽についての学習(英語の発音)	授業内容の復習・自主トレ
7	11月19日	講義・演習	課題曲課題曲⑤-3/定期発表の練習 各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
8	11月26日	講義・演習	課題曲⑤ 定期発表	授業内容の復習・自主トレ
9	12月3日	講義・演習	課題曲⑥-1 【課題】二年間の総まとめ	授業内容の復習・自主トレ
10	12月10日	講義・演習	課題曲⑥-2 【課題】二年間の総まとめ	授業内容の復習・自主トレ
11	12月17日	講義・演習	課題曲課題曲⑥-3/定期発表の練習 各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
12	1月21日	講義・演習	課題曲⑥ 定期発表	授業内容の復習・自主トレ
13	2月4日	講義・演習	個人カウンセリング	授業内容の復習・自主トレ
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			進行具合によって課題が変わるので、必ず授業後には復習と自主練を行うことが必要。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Voice Training C(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 藤田統子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	HIPHOP R&Bユニット「SoFly」のボーカルとして2005年にメジャーデビュー。アーティスト/ボーカリストとして活動する傍ら、ボイトレーナー(2006年～)としても活動中。□					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱トレーニングメインで進める。</li> <li>・どんな状況においても本来の自分の力を発揮できるようなメンタルを身につけられるようにマインドセットもやる。</li> <li>・オーディションやライブでのパフォーマンス力を上げ、デビューへ近づぐための実践型トレーニング。</li> <li>・表現者として生きていく上での基礎的な知識と体力を身につける。</li> </ul>					
到達目標	他人と比べず、自分の声・自分の歌を見つけ、それを言葉で説明、実技で表現できるようにすること。 ダンスと歌を共存させるために必要な力(表現力・パフォーマンス力・実行力)、 そして表現者としての振る舞い方や心と体のバランス感覚・考え方を身につける。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	課題曲①-1 【課題】表現とダイナミックさについて学ぶ。	授業内容の復習・自主トレ
2	5月7日	講義・演習	課題曲①-2 【課題】表現とダイナミックさについて学ぶ。	授業内容の復習・自主トレ
3	5月14日	講義・演習	課題曲①-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
4	5月21日	講義・演習	課題曲① 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
5	5月28日	講義・演習	課題曲②-1 【課題】ロングトーンとプレスを再現する。	授業内容の復習・自主トレ
6	6月4日	講義・演習	課題曲②-2 【課題】ロングトーンとプレスを再現する。	授業内容の復習・自主トレ
7	6月11日	講義・演習	課題曲②-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
8	6月18日	講義・演習	課題曲② 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
9	6月25日	講義・演習	課題曲③-1 【課題】滑舌とリズムを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
10	7月2日	講義・演習	課題曲③-2 【課題】滑舌とリズムを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
11	7月9日	講義・演習	課題曲③-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
12	7月16日	講義・演習	課題曲③ 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
13	8月27日	講義・演習	個人カウンセリング。	授業内容の復習・自主トレ
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ。	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			進行具合によって課題が変わるので、必ず授業後には復習と自主練を行うことが必要。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Voice Training C(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 藤田統子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	HIPHOP R&Bユニット「SoFly」のボーカルとして2005年にメジャーデビュー。アーティスト/ボーカリストとして活動する傍ら、ボイトレーナー(2006年～)としても活動中。□					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱トレーニングメインで進める。</li> <li>・どんな状況においても本来の自分の力を発揮できるようなメンタルを身につけられるようにマインドセットもやる。</li> <li>・オーディションやライブでのパフォーマンス力を上げ、デビューへ近づくための実践型トレーニング。</li> <li>・表現者として生きていく上での基礎的な知識と体力を身につける。</li> </ul>					
到達目標	他人と比べず、自分の声・自分の歌を見つけ、それを言葉で説明、実技で表現できるようにすること。 ダンスと歌を共存させるために必要な力(表現力・パフォーマンス力・実行力)、 そして表現者としての振る舞い方や心と体のバランス感覚・考え方を身につける。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	課題曲④-1 【課題】ハモリを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
2	10月15日	講義・演習	課題曲④-2 【課題】ハモリを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
3	10月22日	講義・演習	課題曲課題曲④-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及び びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
4	10月29日	講義・演習	課題曲④ 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
5	11月5日	講義・演習	課題曲⑤-1(洋楽) 【課題】洋楽についての学習(英語の発音)。	授業内容の復習・自主トレ
6	11月12日	講義・演習	課題曲⑤-2(洋楽) 【課題】洋楽についての学習(英語の発音)。	授業内容の復習・自主トレ
7	11月19日	講義・演習	課題曲課題曲⑤-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及び びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
8	11月26日	講義・演習	課題曲⑤ 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
9	12月3日	講義・演習	課題曲⑥-1 【課題】二年間の総まとめ。	授業内容の復習・自主トレ
10	12月10日	講義・演習	課題曲⑥-2 【課題】二年間の総まとめ。	授業内容の復習・自主トレ
11	12月17日	講義・演習	課題曲課題曲⑥-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及び びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
12	1月21日	講義・演習	課題曲⑥ 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
13	2月4日	講義・演習	個人カウンセリング。	授業内容の復習・自主トレ
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ。	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			進行具合によって課題が変わるので、必ず授業後には復習と自主練を行うことが必要。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP VT(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	潤豊 ・ キムゴンヒョ ン
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習 内容	韓国語発音の正確さを極める。歌唱の基礎、リズム、音程の正確な取り方						
到達目標	K-POPシンガーに必要な心構えを兼ね備えたアーティストの育成						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	自己紹介、プレゼン	
2	4月21日	講義・演習	基本の発生、腹式呼吸	前週の復習、自主練習
3	5月12日	講義・演習	K-POPの課題曲の決定	前週の復習、自主練習
4	5月19日	講義・演習	パート分け	前週の復習、自主練習
5	5月26日	講義・演習	パート分けのハーモニーの練習	前週の復習、自主練習
6	6月2日	講義・演習	パート分けのハーモニーの練習②	前週の復習、自主練習
7	6月9日	講義・演習	パート分けのハーモニーの練習③	前週の復習、自主練習
8	6月16日	講義・演習	別の課題曲決めスタート	前週の復習、自主練習
9	6月23日	講義・演習	パート分けのハーモニーの練習	前週の復習、自主練習
10	6月30日	講義・演習	パート分けのハーモニーの練習②	前週の復習、自主練習
11	7月7日	講義・演習	パート分けのハーモニーの練習③	前週の復習、自主練習
12	7月14日	講義・演習	課題曲のテスト	前週の復習、自主練習
13	8月25日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	今学期の振り返り
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP VT(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	潤豊 ・ キムゴンヒョ ン
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習 内容	更なる韓国語の発音の正確さを極める。前期に学んだ基礎を基に、後期はダンスと歌の融合						
到達目標	KPOPシンガーに必要な心構えを兼ね備えたアーティストの育成						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	前期の復習・歌に臨むマインドを考える	
2	10月13日	講義・演習	マイクの使い方	前週の復習、自主練習
3	10月20日	講義・演習	KPOPダンスと歌の課題、グループ・パート決め	前週の復習、自主練習
4	10月27日	講義・演習	KPOPダンスと歌の課題、練習	前週の復習、自主練習
5	11月3日	講義・演習	KPOPダンスと歌の課題、練習②	前週の復習、自主練習
6	11月10日	講義・演習	KPOPダンスと歌の課題、練習③	前週の復習、自主練習
7	11月17日	講義・演習	新しい曲・スタイルの考察	前週の復習、自主練習
8	11月24日	講義・演習	新課題曲選び、グループ決め、練習	前週の復習、自主練習
9	12月1日	講義・演習	新課題曲、練習②	前週の復習、自主練習
10	12月8日	講義・演習	新課題曲、練習③	前週の復習、自主練習
11	12月15日	講義・演習	新課題曲、練習④	前週の復習、自主練習
12	1月19日	講義・演習	グループでテスト	前週の復習、自主練習
13	2月2日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	今学期の振り返り
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	振付理論(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家・ダンサー						
授業の学習 内容	①ダンスを目指して行くなら振付と構成を学ぶ必要がある。 ②どんなジャンルにも対応可能な振付構成法です。 ③ダンスは、振付より構成の方が大事、少しでも構成が上手になって欲しい。 ④振付と構成の講義(実技あり)→動画から構成読み取り→実践を通して学ぶ。 *授業の進行状況によっては、授業内容の変更あり。						
到達目標	①振付と構成の講義(①ダンスと音楽の関係性。②作品構造の考え方。③振付と構成の考え方。④動きのフレーズ構成・フォーメーションと空間構成。) ②動画から構成読み取り(実際にいくつかの作品動画を見ながら構成等の読み取りを行う。) ③実践を通して学ぶ(グループになり簡単な動きと構成を創り実験、修正しながら経験していく。) ④舞台照明の講義。 ①～④を習得して、ダンス作品の振付・構成のスキルアップを目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	オリエンテーション・①振付と構成の講義。	シラバス等を見て準備する。
2	5月7日	講義・演習	②振付と構成の講義。	前回授業の復習(確認と理解)
3	5月14日	講義・演習	③振付と構成の講義。	前回授業の復習(確認と理解)
4	5月21日	講義・演習	①動画から構成読み取り。	前回授業の復習(確認と理解)
5	5月28日	講義・演習	②動画から構成読み取り。	前回授業の復習(確認と理解)
6	6月4日	講義・演習	③動画から構成読み取り。	前回授業の復習(確認と理解)
7	6月11日	講義・演習	①実践。	前回授業の復習(確認と理解)
8	6月18日	講義・演習	②実践。	前回授業の復習(確認と理解)
9	6月25日	講義・演習	③実践。	前回授業の復習(確認と理解)
10	7月2日	講義・演習	④実践。	前回授業の復習(確認と理解)
11	7月9日	講義・演習	①舞台照明の講義。	前回授業の復習(確認と理解)
12	7月16日	講義・演習	②舞台照明の講義。	前回授業の復習(確認と理解)
13	8月27日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ。	前回授業の復習(確認と理解)
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して振付理論を学ぶ。	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して振付理論を学ぶ。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			授業内容を確認、理解し自身のスキルアップを計画的に考えて復習。	
【使用教科書・教材・参考書】				
講義・読み取り→筆記用具・iphone等・pc)実践→レッスン着等。				

科目名	振付理論(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家・ダンサー						
授業の学習 内容	①ダンス向上の為にメンタル面のコントロールを学ぶ事が大切です。 ②全てのダンスに必須。 ③・④肉体と精神の繋がりが、安定が大切な事を学んで欲しい。 * 授業の進行状況によっては、授業内容の変更あり。						
到達目標	案件、外部イベント、学校内イベントなど多忙になるとメンタル面が落ちてくる。 また、日頃の生活から来るストレスによるメンタルダウン。 少しでも自身でメンタルコントロール、ポジティブな思考・感情にスイッチイン出来る事を目指したい。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	①メンタル講義	シラバス等を見て準備。
2	10月15日	講義・演習	②メンタル講義	前回授業の復習(確認と理解)
3	10月22日	講義・演習	③メンタル講義	前回授業の復習(確認と理解)
4	10月29日	講義・演習	④メンタル講義	前回授業の復習(確認と理解)
5	11月5日	講義・演習	①癒しのワーク(フェルデンクライス・エクササイズ、呼吸法、マインドフルネス、その他)	前回授業の復習(確認と理解)
6	11月12日	講義・演習	②癒しのワーク(フェルデンクライス・エクササイズ、呼吸法、マインドフルネス、その他)	前回授業の復習(確認と理解)
7	11月19日	講義・演習	③癒しのワーク(フェルデンクライス・エクササイズ、呼吸法、マインドフルネス、その他)	前回授業の復習(確認と理解)
8	11月26日	講義・演習	④癒しのワーク(フェルデンクライス・エクササイズ、呼吸法、マインドフルネス、その他)	前回授業の復習(確認と理解)
9	12月3日	講義・演習	⑤癒しのワーク(フェルデンクライス・エクササイズ、呼吸法、マインドフルネス、その他)	前回授業の復習(確認と理解)
10	12月10日	講義・演習	課外授業(自然とのワーク)	前回授業の復習(確認と理解)
11	12月17日	講義・演習	特別講義(スピリチュアル)	前回授業の復習(確認と理解)
12	1月21日	講義・演習	特別講義(スピリチュアル)	前回授業の復習(確認と理解)
13	2月4日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	前回授業の復習(確認と理解)
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して振付理論を学ぶ	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通して振付理論を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習		授業内容を確認、理解し自身のメンタルケア、向上を考えて実践と復習。		
【使用教科書・教材・参考書】				
講義→筆記用具・iphone等・pc)ワーク等→レッスン着等。				

科目名	Teacher's Training(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	新井杏子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンスインストラクター歴27年□						
授業の学習 内容	ダンスを学びたいあらゆる対象者に合った教えるスキルを身につけ、対象者の技術の向上だけでなく、楽しさ、芸術性、個性を引き出す講師を目指す						
到達目標	対象者によつて的確に伝わる方法でレッスンできる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	授業内容の把握 ストレッチ構築	
2	4月24日	講義・演習	課外活動1のチーム作り、把握	ストレッチの構築
3	5月8日	講義・演習	幼児、小学生への指導方法(低学年)	課外活動の選曲
4	5月15日	講義・演習	小学生への指導方法(高学年)、課外活動2の準備	課外活動の振り付け
5	5月22日	講義・演習	課外活動1のフィードバック	課外活動2の選曲
6	5月29日	講義・演習	課外活動1のフィードバック、課外活動の準備	課外活動1,2の準備
7	6月5日	講義・演習	課外活動2の模擬レッスン	課外活動1,2の準備
8	6月12日	講義・演習	課外活動2	
9	6月19日	講義・演習	課外活動2のフィードバック、課外活動の準備	課外活動1、2の準備
10	7月3日	講義・演習	課外活動1、2の準備模擬レッスン	課外活動1,2の準備
11	7月10日	講義・演習	テスト	
12	7月17日	講義・演習	課外活動1、2の準備模擬レッスン	模擬レッスンの準備
13	8月21日	講義・演習	課外活動1、2の準備模擬レッスン	
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してインストラクターの考えを学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してインストラクターの考えを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Teacher's Training(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	新井杏子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンスインストラクター歴27年□						
授業の学習 内容	ダンスを学びたいあらゆる対象者に合った教えるスキルを身につけ、対象者の技術の向上だけでなく、楽しさ、芸術性、個性を引き出す講師を目指す						
到達目標	対象者によつて的確に伝わる方法でレッスンできる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	課外活動1のチーム作り、把握	
2	10月16日	講義・演習	小学生への指導方法(高学年)、課外活動2の準備	ストレッチの構築
3	10月23日	講義・演習	課外活動1、2の準備模擬レッスン	課外活動の選曲
4	10月30日	講義・演習	課外活動1、2の準備模擬レッスン	課外活動の振り付け
5	11月6日	講義・演習	課外活動1のフィードバック	課外活動2の復習
6	11月13日	講義・演習	ワークショップに向けてのレッスン構築	レッスンで使用する曲の選曲
7	11月20日	講義・演習	ワークショップ	ストレッチの確認
8	11月27日	講義・演習	ワークショップに向けてのレッスン構築	振り付けの確認
9	12月4日	講義・演習	ワークショップ	レッスンで使用する曲の選曲
10	12月11日	講義・演習	ワークショップに向けての準備、課外活動2の準備	ストレッチの確認
11	12月18日	講義・演習	テスト	
12	1月15日	講義・演習	ワークショップ	振り付けの確認
13	1月22日	講義・演習	ワークショップのフィードバック	
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してインストラクターの考えを学ぶ	ワークシート提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してインストラクターの考えを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	デビュー対策プロジェクト(1) Theme Park Project(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西川明宏
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	TSM卒業後、2006年オリエンタルランド入社。関東大手テーマパークにて4年間ダンサーとして出演。その後フリーランスとして、キッズショーなど様々な舞台に立つ。現在はテーマパークの振付などでも活躍中。						
授業の学習 内容	①ウォーミングアップからしっかり身体作りを行い、一人一人が自分と向き合って基礎力を向上させる。 ②テクニックを身につける上で、クロスフロアなど基礎から応用まで反復練習させる。 ③オーディション対策クラスとして、振り渡しから本番同様のイメージで行い、実践的な即戦力を養う。 ④様々なコンビネーションを通してブラッシュアップをする事で、次の授業のステップアップを目指す。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーディションを通過する為のテクニックや表現力を身に付けること。</li> <li>オーディション本番に向けての知識も身につけ、適した服装やメイク等の意識を高める。</li> <li>プロフェッショナルとして精神面・人間性を養い、様々な環境で活躍できる人材になる。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	基礎力や対応力のスキルチェック。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
2	4月21日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
3	5月12日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
4	5月19日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
5	5月26日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
6	6月2日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
7	6月9日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
8	6月16日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
9	6月23日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
10	6月30日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
11	7月7日	講義・演習	テスト	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
12	7月14日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
13	8月25日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してテーマパークダンサーを学ぶ。	ワークシート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してテーマパークダンサーを学ぶ。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	デビュー対策プロジェクト(1) 韓国語(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	盧貞愛
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	韓国延世大学韓国語教師課程修了、韓国高麗サイバー大学韓国語学科卒業(韓国語教員資格2級取得)						
授業の学習 内容	K-POPや韓流ブームによって世界中韓国語がトレンドになっています。 将来、仕事で使うビジネス韓国語はもちろんのこと、韓国文化も学ぶことで韓流を深く理解することを目指します。 韓国語の基礎から日常会話、そして韓国の文化について学びます。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ハングル文字の読み書きができる。</li> <li>2. ネイティブ発音・イントネーションで自然な会話ができる。</li> <li>3. 日常生活の基本会話ができる。</li> <li>4. 自己紹介ができる。</li> <li>5. 物事の否定表現ができる。</li> <li>6. 丁寧語で話すことができる。</li> <li>7. 習った言葉は積極的に日常で使ってみて自分の物にする。</li> </ol>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	韓国語の紹介、ハングルの基本母音・基本子音を学ぶ。	文字の書く練習
2	4月25日	講義・演習	基本子音、激音・濃音の区別、挨拶ができる。	第3章挨拶P80/81練習と暗記
3	5月9日	講義・演習	合成母音・パッチム、自己紹介、自分の名前を書く。	第3章P82/83 自己紹介の練習
4	5月16日	講義・演習	(文法)Lesson1名詞です。発音のルールを理解する。	第3章返事P84/85 第2章家族単語暗記、職業、国
5	5月23日	講義・演習	Lesson2 疑問文ができる。	第3章お礼P86第2章食事単語暗記
6	5月30日	講義・演習	Lesson3 否定することができる。韓国の文化を理解する。	指示代名詞の練習・暗記
7	6月6日	講義・演習	Lesson4 否定の疑問文でやり取りする。	第3章P87の練習と暗記
8	6月13日	講義・演習	Lesson5 存在を言う、物・建物の位置を言う。	位置を尋ねる練習、第2章場所単語、会話①暗記
9	6月20日	講義・演習	Lesson6 存在を否定することができる。	会話文の暗記
10	7月4日	講義・演習	Lesson7/8 丁寧語で話す。スムニダ体で話す。	第2章動詞の暗記、助詞「을/를」発音練習
11	7月11日	講義・演習	Lesson9 ヨ体へ活用ができる。	第4章第1課・2課・3課で復習
12	7月18日	講義・演習	テスト:筆記試験・会話試験。	レポート提出
13	8月22日	講義・演習	イベント実践を通してやさしい韓国語を活用する。	レポート提出
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してやさしい韓国語を活用する。	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してやさしい韓国語を活用する。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
KO韓国語初歩の初歩、KO韓国語「文法」トレーニング、できる韓国語初級1、ワークブック				

科目名	デビュー対策プロジェクト(2) Theme Park Project(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西川明宏
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	TSM卒業後、2006年オリエンタルランド入社。関東大手テーマパークにて4年間ダンサーとして出演。その後フリーランスとして、キッズショーなど様々な舞台に立つ。現在はテーマパークの振付などでも活躍中。						
授業の学習 内容	①ウォーミングアップからしっかり身体作りを行い、一人一人が自分と向き合って基礎力を向上させる。 ②テクニックを身につける上で、クロスフロアなど基礎から応用まで反復練習させる。 ③オーディション対策クラスとして、振り渡しから本番同様のイメージで行い、実践的な即戦力を養う。 ④様々なコンビネーションを通してブラッシュアップをする事で、次の授業のステップアップを目指す。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーディションを通過する為のテクニックや表現力を身に付けること。</li> <li>オーディション本番に向けての知識も身につけ、適した服装やメイク等の意識を高める。</li> <li>プロフェッショナルとして精神面・人間性を養い、様々な環境で活躍できる人材になる。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	基礎力や対応力のスキルチェック。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
2	10月13日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
3	10月20日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
4	10月27日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
5	11月3日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
6	11月10日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
7	11月17日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
8	11月24日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
9	12月1日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
10	12月8日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
11	12月15日	講義・演習	テスト	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
12	1月19日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
13	2月2日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してテーマパークダンサーを学ぶ。	ワークシート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してテーマパークダンサーを学ぶ。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	デビュー対策プロジェクト(2) 韓国語(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	盧貞愛
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	韓国延世大学韓国語教師課程修了、韓国高麗サイバー大学韓国語学科卒業(韓国語教員資格2級取得)						
授業の学習 内容	K-POPや韓流ブームによって世界中韓国語がトレンドになっています。将来、仕事で使うビジネス韓国語はもちろんのこと、韓国文化も学ぶことで韓流を深く理解することを目指します。韓国語の基礎から日常会話、そして韓国の文化について学びます。						
到達目標	1. ハングル文字の読み書きができる。 2. ネイティブ発音・イントネーションで自然な会話ができる。 3. 打ち解けた言葉で話すことができる。 4. 数字の読むことができる。 5. 時計の読み方がわかる、物を数えることができる。 6. 不可能の表現ができる。 7. 尊敬語で話すことができる。 8. 正しく韓国語を使えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	Lesson10 数字を読む(漢数詞)、会話文②暗記	第2章P72/75 漢数詞の読む練習、プリントで練習
2	10月17日	講義・演習	Lesson11 値段や曜日を尋ねる。	第3章謝罪P88 買い物物の練習
3	10月24日	講義・演習	Lesson12 固有数字で数える、時計を読む。	第3章P89 第2章P73/74 プリントで練習、私の一日
4	10月31日	講義・演習	Lesson13 打ち解けた言葉で話す。する動詞のへヨ体。	第3章P90第2章P64/65 動詞暗記、「へヨ体」の活用
5	11月7日	講義・演習	Lesson14 打ち解けた言葉で話す。へヨ体で言う。	第3章P91第4章第5/6課、第2章P68/69形容詞暗記
6	11月14日	講義・演習	Lesson15 動詞・形容詞の否定表現、会話文③暗記。	第3章P92 しないことを言う 第2章動詞②暗記
7	11月21日	講義・演習	Lesson16 不可能なことを話す。	出来ないことを言う、第2章形容詞②暗記
8	11月28日	講義・演習	Lesson17 過去の出来事を言う。韓国の文化を理解する。	過去形ノ活用練習
9	12月5日	講義・演習	Lesson18 過去の出来事を言う。	活用シート完成・練習
10	12月12日	講義・演習	Lesson19 過去形の否定表現で言う。	第4章第9課
11	12月19日	講義・演習	Lesson20 尊敬語で言う。	活用シート完成・練習
12	1月16日	講義・演習	テスト:筆記試験、会話試験。	レポート提出
13	1月23日	講義・演習	イベント実践を通してやさしい韓国語を活用する。	レポート提出
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してやさしい韓国語を活用する。	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してやさしい韓国語を活用する。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
KO韓国語初歩の初歩、KO韓国語「文法」トレーニング、できる韓国語初級1、ワークブック				

科目名	Art of K-pop Vocal(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 潤豊 キム・ゴン ヒョン
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Rec人間参加。多方面で活躍中。					
授業の学習 内容	海外でも高い評価を得ているK-POPの曲や今のトレンドに合う曲をピックアップし、歌とダンスは勿論、歌の中での韓国語の発音、ピッチ、リズムなどを細かく指導。週毎に曲を変える。クオリティを上げるための生徒個々のプロセスを管理する。約2ヶ月に1回、クオリティチェックを行い、業界第一線の目線から、より成長するため客観的アドバイスを受ける。□					
到達目標	K-POPを学ぶことでアーティストとして、歌、ダンスのスキルを上げる。卒業後、K-Popに限らず、色んなお仕事にも対応できる水準まで御術を上げて行く。共創、コラボレーションの大切さを重視し、実践する。良い言葉使ったコミュニケーション力を上げる。相手を活かし、自分を活きる。チームを活かし、更に自分を活きる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	ピッチ、リズム、言葉、アクセント、音色、声を鳴らして歌えるようラララなどで歌うことを課題としてレクチャー□	曲の中の発音、課題曲の練習□
2	5月7日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー□	歌うセクションの細かい発音、課題曲の練習
3	5月14日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
4	5月21日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
5	5月28日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う(WE ARE曲の提示)	曲の中の発音、課題曲の練習□
6	6月4日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー(WE ARE曲のチェック)	歌うセクションの細かい発音、課題曲の練習
7	6月11日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー(WE ARE曲のチェック)	ダンスと合わせて課題曲の練習
8	6月18日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー(WE ARE曲のチェック)	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
9	6月25日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う	曲の中の発音、課題曲の練習□
10	7月2日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー□	歌うセクションの細かい発音、課題曲の練習
11	7月9日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー(WE ARE曲のチェック)	ダンスと合わせて課題曲の練習
12	7月16日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
13	8月27日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中の発音、課題曲の練習□
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Art of K-pop Vocal(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 潤豊 キム・ゴン ヒョン
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICが主催するJASLA認定メンバーとして様々なコンサート、イベント、Rec人間参加。多方面で活躍中。					
授業の学習 内容	海外でも高い評価を得ているK-POPの曲や今のトレンドに合う曲をピックアップし、歌とダンスは勿論、歌の中での韓国語の発音、ピッチ、リズムなどを細かく指導。週毎に曲を変える。クオリティを上げるための生徒個々のプロセスを管理する。約2ヶ月に1回、クオリティチェックを行い、業界第一線の目線から、より成長するため客観的アドバイスを受ける。□					
到達目標	K-POPを学ぶことでアーティストとして、歌、ダンスのスキルを上げる。卒業後、K-Popに限らず、色んなお仕事にも対応できる水準まで御術を上げて行く。共創、コラボレーションの大切さを重視し、実践する。良い言葉使ったコミュニケーション力を上げる。相手を活かし、自分を活きる。チームを活かし、更に自分を活きる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	ピッチ、リズム、言葉、アクセント、音色、声を鳴らして歌えるようラララなどで歌うことを課題としてレクチャー□	曲の中の発音、課題曲の練習□
2	10月15日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセッションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー□	歌うセッションの細かい発音、課題曲の練習
3	10月22日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
4	10月29日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
5	11月5日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う(WE ARE曲の提示)	曲の中の発音、課題曲の練習□
6	11月12日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセッションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー(WE ARE曲のチェック)	歌うセッションの細かい発音、課題曲の練習
7	11月19日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー(WE ARE曲のチェック)	ダンスと合わせて課題曲の練習
8	11月26日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー(WE ARE曲のチェック)	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
9	12月3日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う	曲の中の発音、課題曲の練習□
10	12月10日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセッションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー□	歌うセッションの細かい発音、課題曲の練習
11	12月17日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー(WE ARE曲のチェック)	ダンスと合わせて課題曲の練習
12	1月21日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
13	2月4日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中の発音、課題曲の練習□
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Art of K-pop Dance(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	新井杏子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンスインストラクター歴27年□						
授業の学習 内容	海外でも高い評価を得ているK-POPの曲や今のトレンドに合う曲をピックアップし、歌とダンスは勿論、歌の中での韓国語の発音、ピッチ、リズムなどを細かく指導。週毎に曲を変える。クオリティを上げるための生徒個々のプロセスを管理する。約2ヶ月に1回、クオリティチェックを行い、業界第一線の目線から、より成長するため客観的アドバイスを受ける。□						
到達目標	K-POPを学ぶことでアーティストとして、歌、ダンスのスキルを上げる。卒業後、K-POPに限らず、色んなお仕事にも対応できる水準まで御術を上げて行く。共創、コラボレーションの大切さを重視し、実践する。良い言葉使ったコミュニケーション力を上げる。相手を活かし、自分を活きる。チームを活かし、更に自分を活きる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	ピッチ、リズム、言葉、アクセント、音色、声を鳴らして歌えるようラララなどで歌うことを課題としてレクチャー□	曲の中の発音、課題曲の練習□
2	5月7日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセッションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー□	歌うセッションの細かい発音、課題曲の練習
3	5月14日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
4	5月21日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
5	5月28日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中の発音、課題曲の練習□
6	6月4日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセッションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー□	歌うセッションの細かい発音、課題曲の練習
7	6月11日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
8	6月18日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
9	6月25日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中の発音、課題曲の練習□
10	7月2日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセッションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー□	歌うセッションの細かい発音、課題曲の練習
11	7月9日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
12	7月16日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
13	8月27日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中の発音、課題曲の練習□
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Art of K-pop Dance(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	文元杏子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンスインストラクター歴27年□						
授業の学習 内容	海外でも高い評価を得ているK-POPの曲や今のトレンドに合う曲をピックアップし、歌とダンスは勿論、歌の中での韓国語の発音、ピッチ、リズムなどを細かく指導。週毎に曲を変える。クオリティを上げるための生徒個々のプロセスを管理する。約2ヶ月に1回、クオリティチェックを行い、業界第一線の目線から、より成長するため客観的アドバイスを受ける。□						
到達目標	K-POPを学ぶことでアーティストとして、歌、ダンスのスキルを上げる。卒業後、K-POPに限らず、色んなお仕事にも対応できる水準まで御術を上げて行く。共創、コラボレーションの大切さを重視し、実践する。良い言葉使ったコミュニケーション力を上げる。相手を活かし、自分を活きる。チームを活かし、更に自分を活きる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	ピッチ、リズム、言葉、アクセント、音色、声を鳴らして歌えるようラララなどで歌うことを課題としてレクチャー□	曲の中での発音、課題曲の練習□
2	10月15日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー□	歌うセクションの細かい発音、課題曲の練習
3	10月22日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
4	10月29日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
5	11月5日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う(WE ARE曲の提示)	曲の中での発音、課題曲の練習□
6	11月12日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー(WE ARE曲のチェック)	歌うセクションの細かい発音、課題曲の練習
7	11月19日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー(WE ARE曲のチェック)	ダンスと合わせて課題曲の練習
8	11月26日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー(WE ARE曲のチェック)	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
9	12月3日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う	曲の中での発音、課題曲の練習□
10	12月10日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー□	歌うセクションの細かい発音、課題曲の練習
11	12月17日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー(WE ARE曲のチェック)	ダンスと合わせて課題曲の練習
12	1月21日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
13	2月4日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中での発音、課題曲の練習□
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	舞台舞踏史(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石岡乃枝美
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	NHK紅白歌合戦、docomo、日清食品CM出演 他出演多数。JIBJABやFORPANCAKEにて活動中。そして全国制覇する程の特技である書道を通じ、文化や礼儀を重んじつつ2足のわらじを履きながらも今日ヒップホップ・ライブに動しむフィメールダンサー。						
授業の学習 内容	ストリートダンスに関係のある歴史を学ぶ。カルチャーにまつわるヒストリー、ダンスを覚え、技術だけでなく、文化的基礎知識、諸技法の取得、研究をする。						
到達目標	・時代や土地の文化にまつわるマインド、ダンスを理解し出来るようにする。(Jazz,Soul,Funk,Disco,R&B,Hiphop,etc...) ・ステップの名前や技法、由来、先人の考え方などを学ぶ。 ・自身の踊りの材料にし、各々のレベル、フィールドで活かせるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	舞台舞踏史授業を受ける意味への理解と前期目標の設定、歴史の流れ説明	学ぶ意味、前期目標の設定。
2	5月7日	講義・演習	1950-1960 what's Black culture & music?	当時、流行したことの予習。
3	5月14日	講義・演習	1960-1970 Jazz soul funk	当時、流行したことの予習。
4	5月21日	講義・演習	1970 soul funk ~soul trainの始まりとstreet dance, party groove	音楽とダンススタイルを知る。
5	5月28日	講義・演習	1980 電子楽器が誘う新しいアプローチ(MTV放映開始による目覚ましい時代の進化)	音楽とダンススタイルを知る。
6	6月4日	講義・演習	1980-1990 Hiphopの世界へ	1950-学んだところまで振り返り、まとめる。
7	6月11日	講義・演習	1990 new jack swing というもの	当時、流行したことの予習。
8	6月18日	講義・演習	1990 Hiphop黄金期とstreet dance	音楽とダンススタイルを知る。
9	6月25日	講義・演習	1990 Hiphop黄金期 東海岸と西海岸	音楽とダンススタイル、違いを知る。
10	7月2日	講義・演習	1990-2000 エンターテイメント色がより強くなる世界観へ	当時、流行したことの予習。
11	7月9日	講義・演習	2000 南部系の躍進	当時、流行したことの予習。
12	7月16日	講義・演習	2000-2025 世界中に広まる音楽とダンス	音楽とダンススタイルを知る。
13	8月27日	講義・演習	様々な年代、カルチャー感をくみ取り、表現出来るように	1950-学んだところまで振り返り、まとめる。カルチャーを理解し、自らの身体で表現、比較する。
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して舞台舞踏史を学ぶ	ワークシート提出。
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して舞台舞踏史を学ぶ	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習			メンタルを舞台舞踏史の授業へ向け、集中させること。音楽を沢山聴く。動画を観る。	
【使用教科書・教材・参考書】				
・筆記用具 ・ノート				

科目名	舞台舞踏史(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	櫻井郁也
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	舞踊家。日大芸術学部卒業後、コンテンポラリーダンスを中心にダンサー、振付、演出などの立場で舞台活動を重ねる。ポルトガル、ルクセンブルグほか海外公演、国内主要芸術祭への参加、NHK振付およびテキスト執筆など作品多数。						
授業の学習 内容	①舞踊および舞台芸術の歴史を学びながら、専門家として必要な最低限の知識と理論を修得する。また、時代の変化や考え方の変化が、実際のステージやダンス作品にどのように反映されてきたのかを知る。ダンスにおける身体の位置づけ、いまはダンスに何が求められている時代か、など、舞踊の基本的理論も合わせて学習する。						
到達目標	ダンサー／振付家など、職業舞踊家にとって最低限必要な歴史的知識を学び、専門家としての思考回路や将来ビジョンを構築するヒントを与え、作品制作や実技構築におけるコンセプトメイキングの根拠がもてるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	ダンスの歴史と身体への視点。現代の最も新しいダンスと古典や原始への眼差し、そして身体論。いま「現在」はダンスに何が求められている時代か。	特になし
2	4月24日	講義・演習	ダンスの起源をさぐる。古代から現代に受け継がれているものは何か。	前回の復習とノート整理(以後、毎週同じ)
3	5月8日	講義・演習	各地にのこる伝統舞踊、祈りと身振り、リズムと遊び。舞台の原型、生命と肉体。歴史的視点という思考回路の形成。	
4	5月15日	講義・演習	バレエ成立史の概観。洋舞における基本的な身体観。	
5	5月22日	講義・演習	中世～19世紀。ヨーロッパ古典舞踊からバレエ成立まで(ルイ王朝、ロマンチックバレエ、クラシックバレエ、バトポジションの確立)。	
6	5月29日	講義・演習	バレエ革命とモダンダンス～近代舞踊の草創期。	
7	6月5日	講義・演習	19世紀末～20世紀初頭、ノイエタンツとバレエリユス)、なぜこの時代に急速にダンスが進化したか。ダンス独特の表現とは何か。□	
8	6月12日	講義・演習	メソッドについて。20世紀初頭～1960年代;その1。モダンダンス、モダンバレエ。	
9	6月19日	講義・演習	バレエクラシックと現代舞踊の大きな違いを理解する。「メソッド」「コンポジション」「インプロヴィゼーション」という概念の出現。	
10	7月3日	講義・演習	娯楽産業とダンス。□デモクラシー、大衆文化の誕生、娯楽産業とダンス。	
11	7月10日	講義・演習	1930～1970年代のアメリカ文化。ジャズ、レヴュー、ミュージカル、映画など。(ボブ・フォッシー、ジェローム・ロビンズ、ルイジテックニック、など)□	
12	7月17日	講義・演習	ダンスの変革。戦後の革新を概観。ポストモダンからコンテンポラリーへ。サブカルチャーとは。ヒップホップは何をもたらしたか。グローバリズムとダンスの結びつき。	
13	8月21日	講義・演習	21世紀のダンス状況。現在進行形のダンスおよび世界の状況を通じて、将来ビジョンの構築を促す。また、ITと人工脳はダンスをどのように変えてゆくか。	
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して舞台舞踏史を学ぶ。	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して舞台舞踏史を学ぶ。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Creation Plus(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 櫻井郁也
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	舞踊家。日大芸術学部卒業後、コンテンポラリーダンスを中心にダンサー、振付、演出などの立場で舞台活動を重ねる。ポルトガル、ルクセンブルグほか海外公演、国内主要芸術祭への参加、NHK振付など作品多数。					
授業の学習 内容	①ダンス創作の実践を通じて、舞踊家としての、また、舞台制作者としての、具体的な作業を実習し、かつ、出演者・振付家を軸とした舞台人としての的確な行動を身に着ける。②学内パフォーマンス(オンラインイベント・映像制作など含む)を計画実践し、作品創造・発表・出演への適応性を高める。③全実技科目を実際の作品制作および舞台上演において活用し、個々の能力開発に結びつける。					
到達目標	ダンス作品の創作振付作業やイベントの企画と実行ができ、舞台出演者として現場での的確な行動ができるようになる。また、プレゼンテーション能力とステージ運営能力の基礎を身につける。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	①授業の解説と計画 ②作品づくりと舞台制作についてのガイダンス～自己紹介 ③ イベントイメージ(いつ、どんな作品に取り組むか)	準備不要
2	4月21日	講義・演習	①基礎知識の講義1(舞台芸術の仕組みと組織) ②練習作の制作開始(振付は2年生で3～4組)③フィードバックと次回目標の設定	入りたいグループをある程度考えておく。できれば作品のイメージングも。
3	5月12日	講義・演習	①基礎知識の講義2(ダンスが関わるもの、コンセプトメーカーとは) ②練習作の制作つづき ③フィードバックと次回目標や課題の設定	事前練習を必ず
4	5月19日	講義・演習	①基礎知識の講義3(身体とダンス) ②練習作の制作つづき ③MTG=相互ショーイングの段取り組み	事前練習を必ず
5	5月26日	講義・演習	経過ショーイング～前期イベント企画のイメージをまとめる	事前練習を必ず
6	6月2日	講義・演習	オリジナル作品のプレゼン(事前に企画書を教務に提出) ★作品はこの時点でのプレゼンテーション通過で創作スタート。	プレゼン準備=企画書の提出
7	6月9日	講義・演習	作品づくり(1年生自身による振付)スタート	グループ組みをしておくこと
8	6月16日	講義・演習	各作品の細部指導/イベントの企画進行	以後、毎回講師から出される課題/事前準備をこなしたうえで出席
9	6月23日	講義・演習	仮通し=イベント構成と指導	同上
10	6月30日	講義・演習	止め通し～ダメ出し	作品の修正
11	7月7日	講義・演習	ドレスリハーサル(止め通し)～ダメ出し	作品の修正
12	7月14日	講義・演習	前期イベントの最終リハーサル(ランスルー) ※2年も一緒 ▶稽古内容は直前に決定	ダメの直しと本番前調整
13	8月25日	講義・演習	前期イベント 本番およびフィードバック(本番は別日で授業日は反省会+フィードバックの可能性あり)	終了レポートの提出
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			イベントに合わせて授業スケジュールを調整します。講師の指示による準備や事前練習が必要です。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Creation Plus(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 櫻井郁也
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	舞踊家。日大芸術学部卒業後、コンテンポラリーダンスを中心にダンサー、振付、演出などの立場で舞台活動を重ねる。ポルトガル、ルクセンブルグほか海外公演、国内主要芸術祭への参加、NHK振付など作品多数。					
授業の学習 内容	①自作振付や相互の出演の実践を通じて、グループワークの実践および、実際の上演(舞台公演、オンラインイベント・映像制作など含む)を計画実践する。②進級制作や卒業制作における質の高い作品創造・発表・出演に挑戦し、これを通じて集団制作や舞台作業への具体的な専門技術を身に着ける。③パフォーマンスとリハーサルの積み重ねを通じて、コミュニケーション能力を高め、協力しあって作業をする能力を身に着ける。					
到達目標	ダンス作品やイベントの企画と実行ができ、舞台出演者としての確かな行動ができるようになる。また、プレゼン能力とステージ運営能力の基礎を身につける。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	後期の進行ガイダンス ~ 後期作品についての指示・イベント企画・出演や振付における課題の提示	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
2	10月13日	講義・演習	作品づくりスタート	グループ組み
3	10月20日	講義・演習	作品づくり+創作指導	随時指示を出します。(以後毎週)
4	10月27日	講義・演習	進級公演 企画のイメージまとめ、作品づくり	
5	11月3日	講義・演習	進級公演 企画の仮構築、作品を仮仕上げ	
6	11月10日	講義・演習	全作品の仮通し~ 進級公演の全体像まとめ	
7	11月17日	講義・演習	作品の修正、シーン繋ぎ、メンバー整理など	
8	11月24日	講義・演習	舞台構成&演出作業(舞台の流れをつくる)	
9	12月1日	講義・演習	進級公演 ドレスリハーサル(繰り上がる可能性あり=随時告知)	OK順に衣裳発注(繰り上がる可能性あり)
10	12月8日	講義・演習	進級公演 作品修正(日時変更の可能性あり=随時告知)	★WATホールリハ(1/19-21、26-29本番あり)
11	12月15日	講義・演習	進級公演 作品ツメ(明かり合わせの準備)	
12	1月19日	講義・演習	進級公演 段取り決め(総稽古や本番へのツメ)	
13	2月2日	講義・演習	進級公演 総稽古を開始(本番は3/23予定で授業日は反省会+フィードバックの可能性あり)	以後スタッフ学生も合流でリハを続ける
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			イベントに合わせて授業スケジュールを調整します。講師の指示による準備や事前練習が必要です。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Digital Foundation(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 佐藤瑠美 尾中彩美 石井慎一郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	デザイナーとしての実務経験、グラフィックデザイン科の講師経験					
授業の学習 内容	社会においてIT知識、広告・宣伝は欠かせないものであり、消費者として普段からよく目にするものでもある。この科目の受講者自身にはビジネスにおけるIT知識、広告宣伝に使えるデザインの基礎知識を習得し、講義では、デザイン技術を、演習を中心に、使用頻度の高いアプリケーションを用いてスキル習得していく。					
到達目標	Macを自由に扱えるようになる。 Adobe Photoshopの基本操作ができるようになる。(レタッチ中心) Adobe Illustratorの基本操作ができるようになる。(ベジェ曲線操作、デザイン中心) デザイン性のある入稿用データ作成ができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	macの基本操作、Teamsの利用方法、Keynote基本操作理解。文字入力、サイズ、アニメーション。Keynote(自己紹介PPT)を使用して資料を作成しプレゼンする。	【事前動画説明】macの基本操作方法、Teamsの利用方法、Keynoteの機能説明と基本操作方法
2	4月25日	講義・演習	ワードとエクセルの基本操作理解。ワード(ビジネス文章)/エクセル(タイムテーブル)提出。	【事前動画説明】画面収録の方法、Word(文書作成)、Excel(表の作成、表計算)の操作方法
3	5月9日	講義・演習	PhotoshopとIllustratorの違いを理解する。 【Ai】【Ps】基本操作(ワークスペース、ツールバー、パレット、画面拡張、新規作成、保存)。	【事前動画説明】AdobeCCログイン方法、PhotoshopとIllustratorのワークスペース、ツールバー、パレットなど基本操作方法
4	5月16日	講義・演習	【Ai】基本操作: 選択、バウンディングボックス、カラー、変形、重ね順、図形応用、ダイレクト選択ツール、パスファインダ、整列、テキスト入力、グループ化。	【事前動画説明】Aiを使用して作れるものの紹介、操作方法
5	5月23日	講義・演習	【Ps】基本操作: 画像切り抜き、レタッチ、写真補正。	【事前動画説明】Psを使用して作れるものの紹介、操作方法
6	5月30日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたミニポスター課題作成、作成例を観察、トレンドやデザイン性について考える。	【事前動画説明】ミニポスター作成の手順を解説、Psを使用した写真加工、Aiでのレイアウト、ロゴ作成、入稿用データ作成、デザインのトレンドについて
7	6月6日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたミニポスター課題作成、仕上げ、提出。	同上
8	6月13日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたグッズデータ課題作成、作成例を観察、魅力的なグッズとは何か考える。	【事前動画説明】グッズデータ作成の手順を解説、Psを使用した写真加工、Aiでのレイアウト、入稿用データ作成、魅力的なグッズとはなにか
9	6月20日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたグッズデータ課題作成、仕上げ、提出。	同上
10	7月4日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたパンフレット課題作成、作成例を観察、多くの情報を整理整頓することに慣れ、美しいデザインを作成する。	【事前動画説明】パンフレットデータ作成の手順を解説、Psを使用した写真加工、Aiでのレイアウト、入稿用データ作成、情報を整理整頓する
11	7月11日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたパンフレットデータ課題作成。	同上
12	7月18日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたパンフレットデータ課題作成、仕上げ、提出。	同上
13	8月22日	講義・演習	到達度テスト。	【事前動画説明】前期で習得してきたスキルを一通り復習する。
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してデザイン基礎を学ぶ。	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してデザイン基礎を学ぶ。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			定期的にメディアを通じて雑誌のデザイン、グッズデザインなどを見て自分の好みをよく考える。	
【使用教科書・教材・参考書】				
Mac,Microsoft office,Teams,Adobeアプリケーション				

科目名	Digital Foundation(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 佐藤瑠美 尾中彩美
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	広告代理店、映像制作会社での実務経験					
授業の学習 内容	昨今の社会において、デジタルコンテンツを制作・発信する能力は欠かせないものである。 この科目の受講者自身にはデジタルポートフォリオを所持してもらい、自身の活動をPRする映像を制作・発信する。 写真やビデオ等の映像機器及び映像編集ソフトを用いた表現に関する学習を通して、表現力・映像処理能力を高める。					
到達目標	履修者全員が動画制作をできるようになる。 STUDIOを利用した自身のデジタルポートフォリオ(web)の運営ができるようになる。 Adobe AfterEffectsの基本操作ができるようになる。(アニメーション作成・エフェクト適用中心) Adobe Premiereの基本操作ができるようになる。(カット編集中心) YouTubeに投稿した動画をポートフォリオに掲載して他者に共有できるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	【STUDIO】自身のポートフォリオサイトを作成、STUDIO基本操作習得。	【事前動画説明】STUDIOのアカウント作成～基本操作方法
2	10月17日	講義・演習	【STUDIO】ポートフォリオサイトを仕上げる、提出。	同上
3	10月24日	講義・演習	【Pr】Premiereで出来ることを知る。 Prの基本操作理解：新規プロジェクト作成、シーケンス作成、素材の読み込み、カット編集、書き出し。	【事前動画説明】Prを使用して作れるものの紹介、基本操作方法(プロジェクト作成～編集～動画書き出しまで)
4	10月31日	講義・演習	【Pr】Premiere発展課題① ショート動画の作成：カット編集、字幕入力、音楽、書き出し、提出。	同上
5	11月7日	講義・演習	【Pr】Premiere発展課題② Vlogの作成：カット編集、字幕入力、音楽、色調補正、書き出し、提出。	同上
6	11月14日	講義・演習	【Ae】AfterEffectsで出来ることを知る。Aeの基本操作理解：新規プロジェクト作成、コンポジション作成、平面作成、テキスト入力、素材の読み込み、書き出し。	【事前動画説明】Aeを使用して作れるものの紹介、基本操作方法(プロジェクト作成～アニメ作成～動画書き出しまで)
7	11月21日	講義・演習	【Ae】AfterEffects発展課題① キーフレームアニメの作成：素材読み込み、キーフレームアニメ作成、提出。	【事前動画説明】Aeでのキーフレームアニメの作り方、テキストアニメの作り方
8	11月28日	講義・演習	【Ae】AfterEffects発展課題② テキストアニメの作成：プリセットを使ったテキストアニメ作成、提出。	同上
9	12月5日	講義・演習	【YouTube】YouTubeに動画を投稿する。 【STUDIO】ポートフォリオに動画を掲載する。	【事前動画説明】YouTubeへの投稿方法、STUDIOでポートフォリオに動画を掲載する方法
10	12月12日	講義・演習	最終課題選定。自分の選考学科からテーマを決めて映像構成をする。アイデア出しから制作までの手順を理解し、完成させる。	【事前動画説明】最終課題の参考映像を紹介。アイデア出しから制作までの手順を解説。
11	12月19日	講義・演習	個人制作。	同上
12	1月16日	講義・演習	個人制作。	同上
13	1月23日	講義・演習	個人制作と最終課題の提出(ポートフォリオに制作した動画を掲載する) 到達度テスト。	【事前動画説明】後期で習得してきたスキルを一通り復習する。
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してデザイン基礎を学ぶ。	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してデザイン基礎を学ぶ。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			動画コンテンツに触れて、面白い映像表現、どんな編集をしているか観察しておく。	
【使用教科書・教材・参考書】 Mac,STUDIO,Adobeアプリケーション				

科目名	Ballet I (3) Ballet A(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	浅越葉菜
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2011年～2015年:関東大手テーマパークにて、レギュラーショー等に出演。2016年:劇団四季『ウェストサイド物語』テレンタ役で東京公演、全国ツアー出演。現在は舞台に出演するかたわら、振付師として様々なイベントで作品を発表している。						
授業の学習 内容	①最大限に身体を使い、身体表現を行う為にバレエを学ぶ。 ②他のダンスにも繋がる身体を作る。 ③自分の身体を知り、自分との向き合い方を学んでほしい。 ④ストレッチ、バーレッスン、センターレッスンを通して、身体作り、精神力、集中力の向上、テクニックの向上を目指す。 ⑤プロフェッショナルになる為の意識の高さ、所作、姿勢を学ぶ。 ⑥オーディションに向けて、振付へのより深い解釈、アプローチを学ぶ。						
到達目標	自分に向き合い、身体の気付きを持つ。 バレエ、基礎の動きを習慣化する。 他ジャンルに繋がる身体、技術を身につける。 テクニックの向上、プロフェッショナルな意識、所作を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	前期の目標設定。なぜバレエを学ぶのか。	各自の前期目標設定
2	5月7日	講義・演習	立ち方、姿勢について。(自分の骨格、筋肉を知る)	自分の身体の長所短所を知る。
3	5月14日	講義・演習	バーレッスン強化。(テクニックに繋がる基礎を意識)	自分に合ったトレーニング、ストレッチを実践する。
4	5月21日	講義・演習	基礎から応用へ。ブリエからジャンプに繋げる。	自分に合ったトレーニング、ストレッチを実践する。
5	5月28日	講義・演習	基礎から応用へ。タンジュ、ジュテからテクニックに繋げる。	足りない点、出来ないことを改善するためのメニューを作る。
6	6月4日	講義・演習	ダンスに必要な身体づくりを見直す。(体幹、丹田)	丹田、体幹トレーニングの強化
7	6月11日	講義・演習	ダンスに必要な身体づくりを見直す。(足さばき、アームスの使い方)	丹田、体幹トレーニングの強化
8	6月18日	講義・演習	テクニック、ターン強化。音楽性の向上。	基礎の見直し、復習
9	6月25日	講義・演習	テクニック、ジャンプ強化。音楽性の向上。	基礎の見直し、復習
10	7月2日	講義・演習	振付への解釈、分析、アプローチ。(テスト振付)	テクニック向上のための復習、反復練習
11	7月9日	講義・演習	前期テスト。	テストに向けての練習、反復練習
12	7月16日	講義・演習	テスト振り返り。	テストの反省、改善点の見直し
13	8月27日	講義・演習	前期まとめ。	前期の振り返り、後期の目標設定
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ。	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			トレーニング、ストレッチを日常化。様々なジャンルの音楽を聴き、作品を観て、感受性を育てる。	
【使用教科書・教材・参考書】				
レオタード、バレエシューズ				

科目名	Ballet I (3) Ballet B(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	近藤南名歩
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	関東大手テーマパークパフォーマー、クラシックバレエ・ジャズダンスインストラクター						
授業の学習 内容	① 踊り全般に必要な基礎や表現力を身につけ、応用する ② 全ジャンルの基礎 ③ 他ジャンルとの繋がりを見つけ、バレエの必要性を知って欲しい						
到達目標	バレエのテクニックをこなし、他のジャンルに活かす						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	前年度の復習／目標設定	自分の強化したいところを明確にしておく
2	5月7日	講義・演習	バー(前年度の復習・前半)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
3	5月14日	講義・演習	バー(前年度の復習・後半)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
4	5月21日	講義・演習	バー(応用)／センター(アダージオ)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
5	5月28日	講義・演習	バー(応用)／センター(タンデュ、ジュテ、ピルエット)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
6	6月4日	講義・演習	バー(応用)／センター(グランバットマン)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
7	6月11日	講義・演習	バー(応用)／センター(アレグロ)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
8	6月18日	講義・演習	バー(応用)／センター(グランワルツ)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
9	6月25日	講義・演習	バー(応用)／センター(ターン)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
10	7月2日	講義・演習	バー(応用)／センター(コンビネーション)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
11	7月9日	講義・演習	テスト	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
12	7月16日	講義・演習	バー(応用)／センター(アダージオ～コンビネーション)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
13	8月27日	講義・演習	前期の振り返り／今後の課題	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
なし				

科目名	Ballet I (4) Ballet A(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	浅越葉菜
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2011年～2015年:関東大手テーマパークにて、レギュラーショー等に出演。2016年:劇団四季『ウェストサイド物語』テレンタ役で東京公演、全国ツアー出演。現在は舞台に出演するかたわら、振付師として様々なイベントで作品を発表している。						
授業の学習 内容	①最大限に身体を使い、身体表現を行う為にバレエを学ぶ。 ②他のダンスにも繋がる身体を作る。 ③自分の身体を知り、自分との向き合い方を学んでほしい。 ④ストレッチ、バーレッスン、センターレッスンを通して、身体作り、精神力、集中力の向上、テクニックの向上を目指す。 ⑤プロフェッショナルになる為の意識の高さ、所作、姿勢を学ぶ。 ⑥オーディションに向けて、振付へのより深い解釈、アプローチを学ぶ。						
到達目標	自分に向き合い、身体の気付きを持つ。 バレエ、基礎の動きを習慣化する。 他ジャンルに繋がる身体、技術を身につける。 テクニックの向上、プロフェッショナルな意識、所作を身に付ける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	前期振り返り、後期の目標設定	後期の目標設定
2	10月15日	講義・演習	基礎の見直し、復習	基礎の見直し、反復練習
3	10月22日	講義・演習	基礎から応用へ(難易度アップ)	自分に必要なトレーニング、ストレッチを再設定する。
4	10月29日	講義・演習	基礎から応用へ(難易度アップ)	自分に必要なトレーニング、ストレッチを再設定する。
5	11月5日	講義・演習	より実践的な振付の分析、解釈、アプローチについて	様々なジャンルの音楽、作品を観る。
6	11月12日	講義・演習	より実践的な振付の分析、解釈、アプローチについて	様々なジャンルの音楽、作品を観る。
7	11月19日	講義・演習	テクニック強化。繋がりのある身体づくり	出来ること、出来ないことをリストアップする。
8	11月26日	講義・演習	テクニック強化。繋がりのある身体づくり	テクニックの見直し、反復練習
9	12月3日	講義・演習	より実践的な振付の分析、解釈、アプローチについて	テクニックの見直し、反復練習
10	12月10日	講義・演習	テスト振付	テストに向けて練習
11	12月17日	講義・演習	後期テスト	テストに向けて練習
12	1月21日	講義・演習	テスト振り返り、復習	テストの反省点、改善点からさらに深める
13	2月4日	講義・演習	後期まとめ、一年間のまとめ	後期の反省、まとめ。一年間の成果
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			トレーニング、ストレッチを日常化。様々なジャンルの音楽を聴き、作品を観て、感受性を育てる。	
【使用教科書・教材・参考書】				
レオタード、バレエシューズ				

科目名	Ballet I (4) Ballet B(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	近藤南名歩
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	関東大手テーマパークパフォーマー、クラシックバレエ・ジャズダンスインストラクター						
授業の学習 内容	① 踊り全般に必要な基礎や表現力を身につけ、応用する ② 全ジャンルの基礎 ③ 他ジャンルとの繋がりを見つけ、バレエの必要性を知って欲しい						
到達目標	魅せ方や見え方を意識した動き(踊り)ができるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	前期の復習／目標設定	卒業後(次年度)のなりたい自分像を明確にしておく
2	10月15日	講義・演習	バー(応用)／センター(アダージョ～アレグロ)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
3	10月22日	講義・演習	バー(応用)／センター(グランワルツ～コンビネーション)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
4	10月29日	講義・演習	バー(応用)／センター(アダージョ～コンビネーション)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
5	11月5日	講義・演習	バー(応用)／センター(応用)アダージョ～ピルエット	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
6	11月12日	講義・演習	バー(応用)／センター(応用)アダージョ～ピルエット	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
7	11月19日	講義・演習	バー(応用)／センター(応用)グランバットマン～アレグロ	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
8	11月26日	講義・演習	バー(応用)／センター(応用)アレグロ～グランワルツ	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
9	12月3日	講義・演習	バー(応用)／センター(応用)グランワルツ～ターン	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
10	12月10日	講義・演習	バー(応用)／センター(応用)ターン～コンビネーション	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
11	12月17日	講義・演習	テスト	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
12	1月21日	講義・演習	バー(応用)／センター(応用)アダージョ～コンビネーション	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
13	2月4日	講義・演習	振り返り／今後の課題	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
なし				

科目名	Ballet II (3) Ballet C(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	白石純子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季、オリエンタルランド、バレエ講師、振付家						
授業の学習 内容	基礎トレーニングの中で身体の隅々までコントロールできる身体を作り身体の仕組みを理解し、全てのジャンルのダンスに繋がるバレエを学ぶ						
到達目標	身体のコアの未開拓の部分を整備して、意識を届かせ、コントロールできる身体を作り、表現の幅を最大限に広げる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバーとセンターのレッスン	基礎トレーニング復習
2	4月24日	講義・演習	床を使ったトレーニングとバーとセンターのレッスン	基礎トレーニング復習
3	5月8日	講義・演習	バーとセンターレッスンの復習	基礎トレーニング復習
4	5月15日	講義・演習	バーとセンターレッスン、ターンの基礎	基礎トレーニング復習
5	5月22日	講義・演習	バー、センターレッスン、ターンの応用、スモールジャンプの基	基礎トレーニングと応用
6	5月29日	講義・演習	バー、センターレッスン、ターンの応用、スモールジャンプの基	基礎トレーニングと応用
7	6月5日	講義・演習	バーセンターレッスン、スモールジャンプの応用	基礎トレーニングと応用
8	6月12日	講義・演習	バーセンターレッスン、早いジャンプ	基礎トレーニングと応用
9	6月19日	講義・演習	バーセンターレッスン、ピクジャンプ基礎	基礎トレーニングと応用
10	7月3日	講義・演習	バーセンターレッスン、ピクジャンプ、技の応用	基礎トレーニングと応用
11	7月10日	講義・演習	バーセンターレッスン、ターン、ジャンプの応用	基礎トレーニングと応用
12	7月17日	講義・演習	バーセンターレッスン、習得した技のレベルアップ	基礎トレーニングと応用
13	8月21日	講義・演習	バーセンターレッスン、技のレベルアップと音楽性	基礎トレーニングと応用
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Ballet II (3) Ballet D(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	瀬尾和香
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	6歳よりバレエを始める。テーマパークにて多数のレギュラーショー、イベントに参加。ダンススタジオバレエ教室の講師として子供から大人まで指導。						
授業の学習 内容	バーレッスンとセンターレッスンで構成。基礎から応用まで。 全てのダンスに必要な身体の軸作りと怪我をしにくく効率よく踊るための筋肉の強化。 表現力を高める。						
到達目標	バレエを通してダンサーに必要な体の基礎を作る。 他のジャンルのダンスに応用できるバレエテクニックの習得を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	正しい姿勢・位置での立ち方	ストレッチ
2	5月7日	講義・演習	引き上げの意識	ストレッチ・他の授業で使ってみる
3	5月14日	講義・演習	正しい骨盤の位置・アンディオール	ストレッチ・他の授業で使ってみる
4	5月21日	講義・演習	アンディオール、ドゥミポワントの意識	ストレッチ・くるぶしと甲について
5	5月28日	講義・演習	ドゥミポワントからつま先を伸ばす	ストレッチ
6	6月4日	講義・演習	5週目までの復習	ストレッチ
7	6月11日	講義・演習	床を押して立つ。軸に立つ	ストレッチ・中心軸を理解する
8	6月18日	講義・演習	腕の使い方・ポールドブラ	ストレッチ
9	6月25日	講義・演習	足と腕を一緒に使う	ストレッチ
10	7月2日	講義・演習	9週目までの復習	ストレッチ
11	7月9日	講義・演習	ゆっくりな動き、アダージュに繋げる	ストレッチ・軸とのつながり
12	7月16日	講義・演習	早い動きフラッペ。グランバットマンに繋げる	ストレッチ
13	8月27日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	今学期の振り返り
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Ballet II (4) Ballet C(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	白石純子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季、オリエンタルランド、ダンス講師、振付家						
授業の学習 内容	基礎トレーニングの中で身体の隅々までコントロールできる身体作り、身体の仕組みを理解し、そのための解剖学、分解学を学ぶ。 身体の癖や思い込みをなくし、全てのジャンルのダンスに繋がるバレエを学ぶ。						
到達目標	自分の意志で、骨のアライメントを整え、動かし、正しい場所を知ること、その違いを体感すること。 それらをコントロールして踊り、表現できるとこまで繋げること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	バー、センター復習	基礎トレーニングの復習
2	10月16日	講義・演習	バー、センター復習	基礎トレーニングの復習
3	10月23日	講義・演習	バー、センター、スモールジャンプ、ターンの復習	基礎トレーニングの復習
4	10月30日	講義・演習	バー、センター、スモールジャンプ、ターンの復習	基礎トレーニングの復習
5	11月6日	講義・演習	バー、センター、スモールジャンプ、ターンの応用	基礎トレーニングの復習
6	11月13日	講義・演習	バー、センター、スモールジャンプ、ターンの応用	基礎トレーニングの復習
7	11月20日	講義・演習	身体づくりの基礎を振り返る	基礎トレーニングの復習
8	11月27日	講義・演習	身体づくりの基礎から難しい技へ繋げる考え方	基礎トレーニングの復習
9	12月4日	講義・演習	身体づくりの基礎から難しい技へ繋げる考え方	応用の予習復習
10	12月11日	講義・演習	バー、センター、グランワルツまで、体の仕組み分解学の理解	応用の予習復習
11	12月18日	講義・演習	身体の隅々までコントロールし表現できるところまで繋げる	応用の予習復習
12	1月15日	講義・演習	バー、センター、グランワルツまでのテスト	まとめ
13	1月22日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	今学期の振り返り
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどの動画をみること	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Ballet II (4) Ballet D(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	瀬尾和香
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	6歳よりバレエを始める。テーマパークにて多数のレギュラーショー、イベントに参加。ダンススタジオバレエ教室の講師として子供から大人まで指導。						
授業の学習 内容	バーレッスンとセンターレッスンで構成。基礎から応用まで。 全てのダンスに必要な身体の軸作りと怪我をしにくく効率よく踊るための筋肉の強化。 表現力を高める。						
到達目標	バレエを通してダンサーに必要な体の基礎を作る。 他のジャンルのダンスに応用できるバレエテクニックの習得を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	正しい姿勢・位置での立ち方	ストレッチ
2	10月15日	講義・演習	引き上げの意識	ストレッチ・他の授業で使ってみる
3	10月22日	講義・演習	正しい骨盤の位置・アンディオール	ストレッチ・他の授業で使ってみる
4	10月29日	講義・演習	アンディオール、ドゥミポワントの意識	ストレッチ・くるぶしと甲について
5	11月5日	講義・演習	ドゥミポワントからつま先を伸ばす	ストレッチ
6	11月12日	講義・演習	5週目までの復習	ストレッチ
7	11月19日	講義・演習	床を押して立つ。軸に立つ	ストレッチ・中心軸を理解する
8	11月26日	講義・演習	腕の使い方・ポールドブラ	ストレッチ
9	12月3日	講義・演習	足と腕を一緒に使う	ストレッチ
10	12月10日	講義・演習	9週目までの復習	ストレッチ
11	12月17日	講義・演習	ゆっくりな動き、アダージュに繋げる	ストレッチ・軸とのつながり
12	1月21日	講義・演習	早い動きフラッペ。グランバットマンに繋げる	ストレッチ
13	2月4日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	今学期の振り返り
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	BalletⅢ(3) Ballet Adv(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	浅越葉菜
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2011年～2015年:関東大手テーマパークにて、レギュラーショー等に出演。2016年:劇団四季『ウェストサイド物語』テレシタ役で東京公演、全国ツアー出演。現在は舞台に出演するかたわら、振付師として様々なイベントで作品を発表している。						
授業の学習 内容	①最大限に身体を使い、身体表現を行う為にバレエを学ぶ。 ②他のダンスにも繋がる身体を作る。 ③自分の身体を知り、自分との向き合い方を学んでほしい。 ④ストレッチ、パーレッスン、センターレッスンを通して、身体作り、精神の向上、テクニックの向上を目指す。						
到達目標	自分に向き合い、身体の気付きを持つ。 バレエ、基礎の動きを習慣化する。 他ジャンルに繋がる身体、技術を身につける。 より実践に向けダンスレベルの向上を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	前期の目標設定	前期の目標を明確に設定する
2	5月7日	講義・演習	基礎の見直し(パーレッスン)	自分に合ったトレーニング、ストレッチを見直し、習慣化する
3	5月14日	講義・演習	足さばき、上体の使い方	自分の身体のラインを客観的に見つめる
4	5月21日	講義・演習	テクニック強化(ターン)	パの確認、反復練習
5	5月28日	講義・演習	テクニック強化(ジャンプ)	パの確認、反復練習
6	6月4日	講義・演習	より実践に向けたテクニック強化	テクニックの見直し(出来ること出来ないことを明確に)
7	6月11日	講義・演習	エネルギーが流れる身体づくり(丹田から繋がる身体)	丹田、体幹トレーニング強化
8	6月18日	講義・演習	振付への解釈、音楽性の高さについて	日常的に音楽に対してイメージを持ち、身体に落とし込む
9	6月25日	講義・演習	振付へのアプローチ、解釈、音楽性の高さについて	映像や文献からダンス、身体表現を学ぶ
10	7月2日	講義・演習	前期まとめ(テクニックスキルチェック)	テクニックの見直し(出来ること出来ないことを明確に)
11	7月9日	講義・演習	前期まとめ2(振付に対してのアプローチ)	客観的に自分がどう見えているか
12	7月16日	講義・演習	前期まとめ3(自分を表現する)	前期の反省、復習
13	8月27日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	今学期の振り返り
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			授業前後のストレッチと筋力トレーニング。授業内容や授業中に気付いた事をノート等へ書き残しておく	
【使用教科書・教材・参考書】				
バレエシューズ、レオタード				

科目名	BalletⅢ(3) Ballet Intro(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	近藤南名歩
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	関東大手テーマパークパフォーマー、クラシックバレエ・ジャズダンスインストラクター						
授業の学習 内容	① 踊り全般に必要な基礎や表現力を身につけ、応用する ② 全ジャンルの基礎 ③ 他ジャンルとの繋がりを見つけ、バレエの必要性を知って欲しい						
到達目標	バーを頼らずに身体をコントロールする力を身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	前年度の復習／目標設定	自分の強化したいところを明確にしておく
2	5月7日	講義・演習	バー(前年度の復習・前半)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
3	5月14日	講義・演習	バー(前年度の復習・後半)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
4	5月21日	講義・演習	バー(応用)／センター(アダージオ)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
5	5月28日	講義・演習	バー(応用)／センター(タンデュ、ジュテ、ピルエット)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
6	6月4日	講義・演習	バー(応用)／センター(グランバットマン)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
7	6月11日	講義・演習	バー(応用)／センター(アレグロ)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
8	6月18日	講義・演習	バー(応用)／センター(グランワルツ)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
9	6月25日	講義・演習	バー(応用)／センター(ターン)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
10	7月2日	講義・演習	バー(応用)／センター(コンビネーション)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
11	7月9日	講義・演習	テスト	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
12	7月16日	講義・演習	バー(応用)／センター(アダージオ～コンビネーション)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
13	8月27日	講義・演習	前期の振り返り／今後の課題	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
なし				

科目名	BalletⅢ(4) Ballet Adv(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	浅越葉菜
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2011年～2015年:関東大手テーマパークにて、レギュラーショー等に出演。2016年:劇団四季『ウェストサイド物語』テレンタ役で東京公演、全国ツアー出演。現在は舞台に出演するかたわら、振付師として様々なイベントで作品を発表している。						
授業の学習 内容	①最大限に身体を使い、身体表現を行う為にバレエを学ぶ。 ②他のダンスにも繋がる身体を作る。 ③自分の身体を知り、自分との向き合い方を学んでほしい。 ④ストレッチ、パーレッスン、センターレッスンを通して、身体作り、精神の向上、テクニックの向上を目指す。						
到達目標	自分に向き合い、身体の気付きを持つ。 バレエ、基礎の動きを習慣化する。 他ジャンルに繋がる身体、技術を身につける。 より実践に向けダンスレベルの向上を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	後期の目標設定	前期の反省、後期の目標を明確に設定する。
2	10月15日	講義・演習	パーレッスン応用	基礎の見直し、トレーニング、ストレッチの見直し。
3	10月22日	講義・演習	パーレッスン応用2	足りない点を見つめ、新たにトレーニング、ストレッチに取り組む。
4	10月29日	講義・演習	テクニック強化(可動域、足さばき、上体)	身体の使い方、姿勢、所作の見直し。
5	11月5日	講義・演習	テクニック強化(ターン、ジャンプ)	テクニック強化の為に必要なトレーニング、ストレッチは何か。
6	11月12日	講義・演習	アレグロ、ワルツ強化	身体の細部に内側から気を配り、気付きを持つ。
7	11月19日	講義・演習	振付へのアプローチ、音楽性の向上	振付(動き)、音楽に対してのイメージの幅を広げる為、様々な芸術に触れる。
8	11月26日	講義・演習	身体表現についてより掘り下げる	イメージ通りに身体が動いているか、どうなりたいかイメージを明確に持つ。
9	12月3日	講義・演習	テクニック、音楽、振付への解釈	今の自分に出来ること、出来ないこと、長所短所は何か。
10	12月10日	講義・演習	テクニック、音楽、振付への解釈2	トレーニング、ストレッチ強化(丹田から繋がる身体を目標に)。
11	12月17日	講義・演習	後期まとめ(基礎から応用)	パーレッスンからセンターレッスン～他ジャンルへどう繋がるか考える。
12	1月21日	講義・演習	一年間まとめ	一年間で変化したこと、足りない点を明確にする。
13	2月4日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	今学期の振り返り。
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出。
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習			ストレッチと筋力トレーニング。授業内容や授業中に気付いたことをノート等へ書き残しておく	
【使用教科書・教材・参考書】				
バレエシューズ、レオタード				

科目名	BalletⅢ(4) Ballet Intro(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	近藤南名歩
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	関東大手テーマパークパフォーマー、クラシックバレエ・ジャズダンスインストラクター						
授業の学習 内容	① 踊り全般に必要な基礎や表現力を身につけ、応用する ② 全ジャンルの基礎 ③ 他ジャンルとの繋がりを見つけ、バレエの必要性を知って欲しい						
到達目標	身体を自由にコントロールし、表現の幅を広げる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	前期の復習／目標設定	卒業後(今後)のなりたい自分像を明確にしておく
2	10月15日	講義・演習	バー(応用)／センター(アダージョ～アレグロ)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
3	10月22日	講義・演習	バー(応用)／センター(グランワルツ～コンビネーション)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
4	10月29日	講義・演習	バー(応用)／センター(アダージョ～コンビネーション)	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
5	11月5日	講義・演習	バー(応用)／センター(応用)アダージョ～ビルエット	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
6	11月12日	講義・演習	バー(応用)／センター(応用)グランバットマン～アレグロ	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
7	11月19日	講義・演習	バー(応用)／センター(応用)アレグロ～グランワルツ	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
8	11月26日	講義・演習	バー(応用)／センター(応用)グランワルツ～ターン	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
9	12月3日	講義・演習	バー(応用)／センター(応用)ターン	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
10	12月10日	講義・演習	バー(応用)／センター(応用)ターン～コンビネーション	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
11	12月17日	講義・演習	テスト	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
12	1月21日	講義・演習	バー(応用)／センター(応用)アダージョ～コンビネーション	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
13	2月4日	講義・演習	2年間の振り返り／今後の課題	ストレッチ／体幹トレーニング／授業の復習
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通してバレエを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 なし				

科目名	Jazz I (3) Jazz Basic A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	渡辺裕子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	テーマパークダンサー、舞台・TV・海外公演等ダンサー出演						
授業の学習 内容	テーマパーク、舞台、イベント等のショーダンサー・パフォーマーを目指すために必要な基礎力、表現力を学ぶクラス。 エクササイズ、クロスフロアを丁寧に行ってしっかり体をつくり、基礎力を身につける。 コンビネーションでは表現する楽しさや幅広い表現力を学ぶ。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強くしなやかな身体をつくり基礎を固める</li> <li>・テクニックのスキルアップ</li> <li>・表現力を豊かにする</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	エクササイズ、アイソレーションを覚え体の使い方を学ぶ	ストレッチ等
2	4月24日	講義・演習	基礎的なステップ、テクニックを習得する	前回の注意点、振りの復習
3	5月8日	講義・演習	連続したテクニックを振りの中で活かせるようにする	前回の注意点、振りの復習
4	5月15日	講義・演習	美しいアームス、上体の使い方を学ぶ	前回の注意点、振りの復習
5	5月22日	講義・演習	美しいラインを意識した体の使い方を学ぶ	前回の注意点、振りの復習
6	5月29日	講義・演習	テクニックの強化、滑らかな動きができるようにする	前回の注意点、振りの復習
7	6月5日	講義・演習	リズムを大切にし音への意識を高める	前回の注意点、振りの復習
8	6月12日	講義・演習	アクセント、緩急をつけた表現を学ぶ	前回の注意点、振りの復習
9	6月19日	講義・演習	表情や視線を意識した表現を学ぶ	前回の注意点、振りの復習
10	7月3日	講義・演習	体全体を使ったダイナミックな表現を学ぶ	前回の注意点、振りの復習
11	7月10日	講義・演習	テスト(コンビネーション)	前回の注意点、振りの復習
12	7月17日	講義・演習	前期まとめ、各々の課題を研究しクリアにする	テストでの注意点、課題の復習
13	8月21日	講義・演習	パフォーマンス披露、表現力を高める	前回の注意点、振りの復習
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでJAZZDANCEを観る。知る。触れる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz I (3) Jazz Basic B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	寺本藍
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	バックダンサーとして様々なアーティストのLIVEなどに出演。ダンスインストラクター。						
授業の学習 内容	ただ踊るのではなく、身体の使い方を1から学び、しっかり理解を深め表現出来る様にする。 自分の身体を理解し、しっかり身体を使え表現出来る質の高いダンサーを目指して欲しい。						
到達目標	1年生で学習し覚えた事を必ず実践し、自分の踊り身体について良いところ、足りないところを毎回考える事。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	授業の進め方の説明。卒業までの目標の確認。身体の作り(骨、筋肉)の説明。	自分の目標の為に何をすべきか考える。
2	4月25日	講義・演習	身体の作りの説明の続きとどの様な動きかを説明。	授業で学んだ事を再度確認し、覚える。
3	5月9日	講義・演習	2週目に説明した動きがダンスの何に必要か実際に動かして確認。	実際に体を動かし学んだことを身体に覚えさせる。
4	5月16日	講義・演習	ターン、ピルエットの応用(回転の回数を増やす)。	首のきり方のタイミング。パッセの高さが落ちない様に意識。
5	5月23日	講義・演習	ピケターンダブルの練習開始。	軸足の伸び、プリエからロンデの足の運びを確認。
6	5月30日	講義・演習	5週目で学んだターンを取り入れたコンビネーション開始。	動きの順番、繋がりを覚える。
7	6月6日	講義・演習	ターンコンビネーションの習得と発表。	繰り返し練習。
8	6月13日	講義・演習	1週目からのまとめの振り付け開始。	注意された所の直しと強化。
9	6月20日	講義・演習	振り付けの追加、振りの意味の説明。	振り付けの意味を今一度考え落とし込む。
10	7月4日	講義・演習	構成を付け作品について考える。	どの様に表現すれば見ている人に伝わるか考える。
11	7月11日	講義・演習	実技テストの課題練習①。	自分の中で満足いくまで練習を重ねる。
12	7月18日	講義・演習	実技テストの課題練習②。	自分の中で満足いくまで練習を重ねる。
13	8月22日	講義・演習	実技テスト。	足りなかったことを見つめ直し、次に活かせる様まとめる。
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ。	ワークシート提出。
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ。	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでJAZZDANCEを観る。知る。触れる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz I (4) Jazz Basic A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	渡辺裕子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	テーマパークダンサー、舞台・TV・海外公演等ダンサー出演						
授業の学習 内容	エクササイズ、クロスフロアを丁寧に行い、基礎的な要素をしっかり固める。 コンビネーションではパフォーマンスする意識、細やかな表現など、幅広い表現力を身につける。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎力、テクニックのスキルアップ</li> <li>・表現の幅を広げ、自分の表現ができるようにする</li> <li>・プロとしての心構えを身につける</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	基礎的な要素のスキルアップ	エクササイズ、アイソレーション等の復習
2	10月16日	講義・演習	テクニックのスキルアップ	前回の注意点、振りの復習
3	10月23日	講義・演習	筋肉、体幹、体の使い方を学ぶ	前回の注意点、振りの復習
4	10月30日	講義・演習	引き上げ、美しいラインとアームスを習得する	前回の注意点、振りの復習
5	11月6日	講義・演習	柔軟性、筋力、しなやかな体の使い方を学ぶ	前回の注意点、振りの復習
6	11月13日	講義・演習	音にのる、音をとる、リズムの大切さを学ぶ	前回の注意点、振りの復習
7	11月20日	講義・演習	細やかに、丁寧に、繊細な表現を学ぶ	前回の注意点、振りの復習
8	11月27日	講義・演習	ロングコンビネーション①空気感、流れを大切に表現する	前回の注意点、振りの復習
9	12月4日	講義・演習	ロングコンビネーション②音を感じて表現できるようにする	前回の注意点、振りの復習
10	12月11日	講義・演習	ロングコンビネーション③自分の表現ができるようにする	前回の注意点、振りの復習
11	12月18日	講義・演習	テスト(コンビネーション)	前回の注意点、振りの復習
12	1月15日	講義・演習	総まとめ、新たな課題に取り組む	テストでの注意点、課題の復習
13	1月22日	講義・演習	パフォーマンス披露、見せ方を学ぶ	前回の注意点、振りの復習
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでJAZZDANCEを観る。知る。触れる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz I (4) Jazz Basic B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	寺本藍
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	バックダンサーとして様々なアーティストのLIVEなどに出演。ダンスインストラクター。						
授業の学習 内容	ただ踊るのではなく、身体の使い方を1から学び、しっかり理解を深め表現出来る様にする。 身体の使い方をしっかり理解し表現出来き、怪我をしない上質な身体を作って下さい。						
到達目標	プロになる為、人前に立つ事を意識した身体作り。ダンスの見せ方考え習得する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	1年生で学んだことにプラス、アプローチを意識した柔軟・筋トレによる身体作りの強化。(腹筋)	ストレッチ・腹筋を意識した筋トレ。
2	10月17日	講義・演習	1年生で学んだことにプラス、アプローチを意識した柔軟・筋トレによる身体作りの強化。(背筋)	ストレッチ・背筋を意識した筋トレ。
3	10月24日	講義・演習	1年生で学んだことにプラス、アプローチを意識した柔軟・筋トレによる身体作りの強化。(腕、肩甲骨周り)	ストレッチ・腕、肩甲骨周りを意識した筋トレ。
4	10月31日	講義・演習	3週で学んだ筋力を取り入れた振り付け開始。	必要な筋力を使い踊れているか確認と練習。
5	11月7日	講義・演習	振り付けの追加。	ジャズに必要な手足の先の美しさ柔らかさも出来ているか確認。
6	11月14日	講義・演習	振りの踊り込み。	4.5週目の課題を取り入れ踊り込み。
7	11月21日	講義・演習	4週目からの振り付けの発表。フィードバック。	フィードバックをまとめ次に活かせることを考える。
8	11月28日	講義・演習	卒業に向け、テスト課題開始。前期から学んだことを取り入れた振り付け。	振りを覚える+学んできた事を活かしているか確認し練習。
9	12月5日	講義・演習	8週目の振りの確認と振り付けの追加。	追加分の振付を固める。
10	12月12日	講義・演習	振りの意味を説明する。チームに分け自分達で構成を付け作品について考える。	曲をよく聞き、どの様に表現するかを考える。
11	12月19日	講義・演習	構成の確認、作品に仕上げる①。	踊りのスキル、表現を全て出せる様に調整。
12	1月16日	講義・演習	構成の確認、作品に仕上げる②。	踊りのスキル、表現を全て出せる様に調整。
13	1月23日	講義・演習	実技テスト。	テストをして今の自分を考える。これからさらに何ができるかなど。
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ。	ワークシート提出。
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ。	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習			YouTubeなどでJAZZDANCEを観る。知る。触れる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz II (3) Jazz Basic C(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	大手テーマパークにてダンサーとしてショー・パレードなどに多数出演。劇団四季にて活躍しその後もダンサー・振付師として活動の幅をさらに広げる。DANCE SQUARE代表						
授業の学習 内容	①オーディション合格するためのノウハウを学ぶ。 ②ダンスの基礎となるバレエの先の表現の仕方やバレエとは違う身体の使い方などを学ぶ。 ③自分自身の夢である仕事につけるために、今からしっかりと準備をしていく。 ④まずは基礎的な練習、プリエ、タンジュをはじめに、ストレッチなどを入念に行い、オーディションに必要なテクニック、振り覚えのスピード、魅せ方などをしっかりと練習していく。						
到達目標	オーディションで自分の力を最大限に発揮できるように、自分には何が足りないかを自分自身で考える力を持ち、補っていけるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	ダンスの基礎であるプリエを学ぶ	なぜプリエが大切なのかを考える
2	4月25日	講義・演習	バットマンやジャンプの通り道であるタンジュを学ぶ	タンジュを意識することによって足の出し方をきれいにする
3	5月9日	講義・演習	軸を作るための練習	踊るうえで重要なバランスをつくる為の第一歩
4	5月16日	講義・演習	丁寧なバランス移動の訓練	バランスがしっかりと取り安定度を上げる
5	5月23日	講義・演習	正しいアームスの位置を覚える	アームスのポジション強化
6	5月30日	講義・演習	アームスの基礎的な通り道を身体に覚えさせる	アームスの動かし方をスムーズに行なえるようにする
7	6月6日	講義・演習	ストレッチの順番を覚える	正しいストレッチ方法を覚える
8	6月13日	講義・演習	ストレッチのやり方を覚えて身体を柔らかくする	ストレッチは日課にする
9	6月20日	講義・演習	呼吸を意識して力を抜く意識を身につける	ストレッチのやり方を間違えると余計に硬くなる
10	7月4日	講義・演習	バットマンでの足の上げ方の練習	高く上がるようにする
11	7月11日	講義・演習	ビルエットでのバランスのとりの練習	バランスをまずはとるように練習する
12	7月18日	講義・演習	ビルエットでの回る練習	まずは1回から綺麗にまわるようにする
13	8月22日	講義・演習	これまでやってきたことの復習	今までのことを忘れていないか一つ一つ考える
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			今まで授業で行ったことをしっかりと一人でも練習できるようにする	
【使用教科書・教材・参考書】				
レッスン着、ジャズシューズ、タオル				

科目名	Jazz II (3) Jazz Basic D(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	角田美和
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	振付・演出・舞踏家・インストラクター。プロジェクトチームcompamy MIW代表。2004年~JAZZ HIPHOPチーム『CHUPPA』のメンバーとして全国各地で活躍。公演企画・構成・演出・振付も手がける。						
授業の学習 内容	①柔軟性、基礎体力、リズム感、体幹を鍛え自由に身体表現出来る様になるためにジャズダンスを学ぶ。 ②バレエ…基礎筋肉、基本姿勢、ターンが役立つ。 ③自由に身体表現・感情表現する事の楽しさを感じ向上心を養って欲しい。						
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、全身を使い様々な曲に合わせて踊れるダンス能力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	身体の使い方を学ぶ	自分の身体の癖や特徴を知る。
2	5月7日	講義・演習	アイソレーションを覚える	自分の体の可動域を知る。
3	5月14日	講義・演習	アームス・バレエの正しいポジションを学ぶ	1つのポジションをすぐ反応出来るようにする。
4	5月21日	講義・演習	ストレッチのやり方を学ぶ	ビフォー・アフターストレッチを日々継続する。
5	5月28日	講義・演習	ウォーキングを学ぶ	魅せ方を研究する。
6	6月4日	講義・演習	身体の軸の作り方を学ぶ	軸を意識した時間を作る。
7	6月11日	講義・演習	筋カトレーニング	自分の身体の筋力バランスを考えて日々継続する。
8	6月18日	講義・演習	呼吸法を学ぶ	呼吸を使い分けれる様に練習する。
9	6月25日	講義・演習	様々なターンの説明・ターンのやり方を学ぶ	ターンの名称を覚え、日々ターン練習を継続する。
10	7月2日	講義・演習	様々なジャンプの説明・ジャンプのやり方を学ぶ	ジャンプの名称を覚え、日々練習を継続する。
11	7月9日	講義・演習	クロスフロアを行う	自分に必要なトレーニングを強化する。
12	7月16日	講義・演習	イベント実践を通して作品の作り方を学ぶ	動画を見て研究する。
13	8月27日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	レポートの提出。
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出。
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz II (4) Jazz Basic C(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	大手テーマパークにてダンサーとしてショー・パレードなどに多数出演。劇団四季にて活躍しその後もダンサー・振付師として活動の幅をさらに広げる。DANCE SQUARE代表						
授業の学習 内容	①オーディション合格するためのノウハウを学ぶ。 ②ダンスの基礎となるバレエの先の表現の仕方やバレエとは違う身体の使い方などを学ぶ。 ③自分自身の夢である仕事につけるために、今からしっかりと準備をしていく。 ④まずは基礎的な練習、プリエ、タンジュをはじめに、ストレッチなどを入念に行い、オーディションに必要なテクニック、振り覚えのスピード、魅せ方などをしっかりと練習していく。						
到達目標	オーディションで自分の力を最大限に発揮できるように、自分には何が足りないかを自分自身で考える力を持ち、補っていけるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	前期で行ったことを最初から通して練習	思い出しながら一人でも練習できるようにする
2	10月17日	講義・演習	個々の苦手なところを洗い出して練習	自分が苦手だと思うところを理解して練習する
3	10月24日	講義・演習	ピケターンとシエネを学ぶ	様々なターンの練習を授業外で自分でも行う
4	10月31日	講義・演習	グランジュテ、グランパディシャを学ぶ	様々なジャンプを覚える
5	11月7日	講義・演習	ターンとジャンプの組み合わせの練習	ダンスにおいて大切なテクニックの練習
6	11月14日	講義・演習	振付を覚える	オーディションにおける振りを覚える練習
7	11月21日	講義・演習	振り付けの中の一つ一つの形を整える	自分が一番きれいにみえる形を考える
8	11月28日	講義・演習	新しい振り付けをできる限り短時間で覚える	実践的に早く覚えることを意識する
9	12月5日	講義・演習	振り付けの中の苦手な部分を練習する	苦手なところを自分で見つけるようにこころがける。
10	12月12日	講義・演習	鏡を見ないで後ろ向きでの練習	鏡がなくても自分がどう踊っているかを想像する
11	12月19日	講義・演習	お客様が実際にいることを想定して踊る	自分だけでなく客観的に考える
12	1月16日	講義・演習	1分の新しい振り付けを30分で覚える	長い振りでも冷静に短時間で覚えることの強化
13	1月23日	講義・演習	オーディションを想定して魅せる訓練を行う	毎回の振り付けを本当のオーディションだと思いながら授業を受ける
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			今まで授業で行ったことをしっかりと一人でも練習できるようにする	
【使用教科書・教材・参考書】				
レッスン着、ジャズシューズ、タオル				

科目名	Jazz II (4) Jazz Basic D(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	角田美和
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	振付・演出・舞踏家・インストラクター。衣装・空間演出にこだわったディナーショーや自主公演を開催し、公演企画・構成・演出・振付・出演を手がける。						
授業の学習 内容	①柔軟性、基礎体力、リズム感、体幹を鍛え自由に身体表現出来るようになるためにジャズダンスを学ぶ。 ②バレエ…基礎筋肉、基本姿勢、ターンが役立つ。 ③自由に身体表現・感情表現する事の楽しさを感じ向上心を養って欲しい。						
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、全身を使い様々な曲に合わせて踊れるダンス能力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	身体の使い方を学ぶ	自分の身体の癖や特徴を知る。
2	10月15日	講義・演習	アイソレーションを覚える	自分の体の可動域を知る。
3	10月22日	講義・演習	アームス・バレエの正しいポジションを学ぶ	1つのポジションをすぐ反応出来るようにする。
4	10月29日	講義・演習	ストレッチのやり方を学ぶ	ビフォー・アフターストレッチを日々継続する。
5	11月5日	講義・演習	ウォーキングを学ぶ	魅せ方を研究する。
6	11月12日	講義・演習	身体の軸の作り方を学ぶ	軸を意識した時間を作る。
7	11月19日	講義・演習	筋カトレーニング	自分の身体の筋力バランスを考えて日々継続する。
8	11月26日	講義・演習	呼吸法を学ぶ	呼吸を使い分けれる様に練習する。
9	12月3日	講義・演習	様々なターンの説明・ターンのやり方を学ぶ	ターンの名称を覚え、日々ターン練習を継続する。
10	12月10日	講義・演習	様々なジャンプの説明・ジャンプのやり方を学ぶ	ジャンプの名称を覚え、日々練習を継続する。
11	12月17日	講義・演習	クロスフロアを行う	自分に必要なトレーニングを強化する。
12	1月21日	講義・演習	イベント実践を通して作品の作り方を学ぶ	動画を見て研究する。
13	2月4日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出。
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出。
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz III(3) Jazz Technique A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	村瀬美音
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季7年、M&Sカンパニー4年、現在はフリーで俳優・ダンサー・コレオグラファー・脚本家・演出家をしている						
授業の学習 内容	①「なぜこの授業を受けなければならないのか？」→エンタメで必要なJazz danceのスキル習得の為。 ②「どの科目と関係するのか、その位置づけ」→イベントや行事などの実践現場に生かす。 ③「学生にどうなって欲しいか(講師の思い)」→ステージで輝くプレーヤーになってほしい。 ④①～③をふまえたような授業を展開するか、具体的に記載する」→まずは挨拶や礼儀などを、しっかり覚えてもらいます。実際の現場に出た時に恥ずかしくないような、現場感覚を身につけた上でJazzの基礎を丁寧に指導していきます。						
到達目標	Jazz danceの基礎をしっかりと身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	アイソレーションなどの基礎、前期の目標を立てる	立てた目標の確認
2	4月25日	講義・演習	プリエ、タンジュ、デガジェ、フォンデュなどの基礎	バレエを元にする基礎の重要性を確認する
3	5月9日	講義・演習	指先、つま先等への意識をつくる	覚えたことを腕に落とし、次回に備える
4	5月16日	講義・演習	体幹鍛錬、クロスやコンビネーション	振付の確認、反復練習
5	5月23日	講義・演習	基礎練を流れてできるようにする。振付を進める。	振付の確認、反復練習
6	5月30日	講義・演習	基礎の大切さの確認、踊り込み	基礎の不足部分の鍛錬
7	6月6日	講義・演習	ダンスで使える呼吸を身につけ筋肉を鍛える。踊り込み	柔軟性の足りないものは、自宅でストレッチなどの自主練
8	6月13日	講義・演習	Jazzでの表現を考え、動きや表情に活かす	自己の反省点を考え、次回に活かす
9	6月20日	講義・演習	生徒同士、互いの踊りを見せ合い、自身の踊りに活かす	受けた刺激をモチベーションに繋げる
10	7月4日	講義・演習	ステージングやフォーメーションを理解し深める	ミザンスを理解し動いていたか考える
11	7月11日	講義・演習	授業内でダンスを発表する ディスカッション	講師から受けたアドバイスを腕に落とし次回に備える
12	7月18日	講義・演習	前期の総括	前期の自分を振り返り、身についたものを実感する。後期への目標を考える
13	8月22日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	レポートの提出
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz III(3) Jazz Technique B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	村瀬美音
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季7年、M&Sカンパニー4年、現在はフリーで俳優・ダンサー・コレオグラファー・脚本家・演出家をしている						
授業の学習 内容	①「なぜこの授業を受けなければならないのか？」→エンタメで必要なJazz danceのスキル習得の為。 ②「どの科目と関係するのか、その位置づけ」→イベントや行事などの実践現場に生かす。 ③「学生にどうなって欲しいか(講師の思い)」→ステージで輝くプレーヤーになってほしい。 ④①～③をふまえたような授業を展開するか、具体的に記載する」→まずは挨拶や礼儀などを、しっかり覚えてもらいます。実際の現場に出た時に恥ずかしくないような、現場感覚を身につけた上でJazzの基礎を丁寧に指導していきます。						
到達目標	Jazz danceの基礎をしっかりと身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	アイソレーションなどの基礎、前期の目標を立てる	立てた目標の確認
2	4月25日	講義・演習	プリエ、タンジュ、デガジェ、フォンデュなどの基礎	バレエを元にする基礎の重要性を確認する
3	5月9日	講義・演習	指先、つま先等への意識をつくる	覚えたことを腕に落とし、次回に備える
4	5月16日	講義・演習	体幹鍛錬、クロスやコンビネーション	振付の確認、反復練習
5	5月23日	講義・演習	基礎練を流れてできるようにする。振付を進める。	振付の確認、反復練習
6	5月30日	講義・演習	基礎の大切さの確認、踊り込み	基礎の不足部分の鍛錬
7	6月6日	講義・演習	ダンスで使える呼吸を身につけ筋肉を鍛える。踊り込み	柔軟性の足りないものは、自宅でストレッチなどの自主練
8	6月13日	講義・演習	Jazzでの表現を考え、動きや表情に活かす	自己の反省点を考え、次回に活かす
9	6月20日	講義・演習	生徒同士、互いの踊りを見せ合い、自身の踊りに活かす	受けた刺激をモチベーションに繋げる
10	7月4日	講義・演習	ステージングやフォーメーションを理解し深める	ミザンスを理解し動いていたか考える
11	7月11日	講義・演習	授業内でダンスを発表する ディスカッション	講師から受けたアドバイスを腕に落とし次回に備える
12	7月18日	講義・演習	前期の総括	前期の自分を振り返り、身についたものを実感する。後期への目標を考える
13	8月22日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	レポートの提出
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz III(4) Jazz Technique A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	村瀬美音
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季7年、M&Sカンパニー4年、現在はフリーで俳優・ダンサー・コレオグラファー・脚本家・演出家をしている						
授業の学習 内容	①「なぜこの授業を受けなければならないのか？」→エンタメで必要なJazz danceのスキル習得の為。 ②「どの科目と関係するのか、その位置づけ」→イベントや行事などの実践現場に生かす。 ③「学生にどうなって欲しいか(講師の思い)」→ステージで輝くプレーヤーになってほしい。 ④①～③をふまえたような授業を展開するか、具体的に記載する」→まずは挨拶や礼儀などを、しっかり覚えてもらいます。実際の現場に出た時に恥ずかしくないような、現場感覚を身につけた上でJazzの基礎を丁寧に指導していきます。						
到達目標	Jazz danceの基礎をしっかりと身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	後期の目標設定	目標を達成するための意識確認をする
2	10月17日	講義・演習	基礎、プリエ、ストレッチ、筋トレ、コンビネーションの複合的レッスン	複合的レッスンに慣れるよう復習してくる
3	10月24日	講義・演習	基礎で身につけたものを、踊りにどう活かすかを考え踊る	自身の足りないところの補填、自主練
4	10月31日	講義・演習	フィジカルの鍛錬とメンタルの鍛錬を共存させる	特にメンタルについて、深く考えてくる
5	11月7日	講義・演習	ソロパートへ挑戦する	自身の踊るパートへの責任を感じ、取り組めるようにする
6	11月14日	講義・演習	自立した考え方を身につけ、自分の踊りに磨きをかける	切磋琢磨の本当の意味を考える
7	11月21日	講義・演習	振り入れのスピードを上げて、限られた時間内でのリアクションを身につける	早いテンポで進む現場へ対応できるように、出来なかったところを反省し次回に備える
8	11月28日	講義・演習	作品制作に取り組む	ダンス発表への目標を設定する
9	12月5日	講義・演習	FIXすべき箇所を見つけ、ブラッシュアップを図る	ブラッシュアップ前後の比較を省みる
10	12月12日	講義・演習	お互いにダンスを発表する	受けた刺激をモチベーションに繋げる
11	12月19日	講義・演習	授業内でダンスを発表する ディスカッション	講師から受けたアドバイスを腑に落とし次回に備える
12	1月16日	講義・演習	総括	1年を振り返り、来年度への目標をたてる
13	1月23日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	レポートの提出
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz III(4) Jazz Technique B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	村瀬美音
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季7年、M&Sカンパニー4年、現在はフリーで俳優・ダンサー・コレオグラファー・脚本家・演出家をしている						
授業の学習 内容	①「なぜこの授業を受けなければならないのか？」→エンタメで必要なJazz danceのスキル習得の為。 ②「どの科目と関係するのか、その位置づけ」→イベントや行事などの実践現場に生かす。 ③「学生にどうなって欲しいか」(講師の思い)→ステージで輝くプレーヤーになってほしい。 ④①～③をふまえたような授業を展開するか、具体的に記載する」→まずは挨拶や礼儀などを、しっかり覚えてもらいます。実際の現場に出た時に恥ずかしくないような、現場感覚を身につけた上でJazzの基礎を丁寧に指導していきます。						
到達目標	Jazz danceの基礎をしっかりと身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	後期の目標設定	目標を達成するための意識確認をする
2	10月17日	講義・演習	基礎、プリエ、ストレッチ、筋トレ、コンビネーションの複合的レッスン	複合的レッスンに慣れるよう復習してくる
3	10月24日	講義・演習	基礎で身につけたものを、踊りにどう活かすかを考え踊る	自身の足りないところの補填、自主練
4	10月31日	講義・演習	フィジカルの鍛錬とメンタルの鍛錬を共存させる	特にメンタルについて、深く考えてくる
5	11月7日	講義・演習	ソロパートへ挑戦する	自身の踊るパートへの責任を感じ、取り組めるようにする
6	11月14日	講義・演習	自立した考え方を身につけ、自分の踊りに磨きをかける	切磋琢磨の本当の意味を考える
7	11月21日	講義・演習	振り入れのスピードを上げて、限られた時間内でのリアクションを身につける	早いテンポで進む現場へ対応できるように、出来なかったところを反省し次回に備える
8	11月28日	講義・演習	作品制作に取り組む	ダンス発表への目標を設定する
9	12月5日	講義・演習	FIXすべき箇所を見つけ、ブラッシュアップを図る	ブラッシュアップ前後の比較を省みる
10	12月12日	講義・演習	お互いにダンスを発表する	受けた刺激をモチベーションに繋げる
11	12月19日	講義・演習	授業内でダンスを発表する ディスカッション	講師から受けたアドバイスを腑に落とし次回に備える
12	1月16日	講義・演習	総括	1年を振り返り、来年度への目標をたてる
13	1月23日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	レポートの提出
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz IV(3) Jazz Technique C(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	村瀬美音
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季7年、M&Sカンパニー4年、現在はフリーで俳優・ダンサー・コレオグラファー・脚本家・演出家をしている						
授業の学習 内容	①「なぜこの授業を受けなければならないのか？」→エンタメで必要なJazz danceのスキル習得の為。 ②「どの科目と関係するのか、その位置づけ」→イベントや行事などの実践現場に生かす。 ③「学生にどうなって欲しいか(講師の思い)」→ステージで輝くプレーヤーになってほしい。 ④①～③をふまえたような授業を展開するか、具体的に記載する」→まずは挨拶や礼儀などを、しっかり覚えてもらいます。実際の現場に出た時に恥ずかしくないような、現場感覚を身につけた上でJazzの基礎を丁寧に指導していきます。						
到達目標	Jazz danceの基礎をしっかりと身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	後期の目標設定	目標を達成するための意識確認をする
2	4月25日	講義・演習	基礎、プリエ、ストレッチ、筋トレ、コンビネーションの複合的レッスン	複合的レッスンに慣れるよう復習してくる
3	5月9日	講義・演習	基礎で身につけたものを、踊りにどう活かすかを考え踊る	自身の足りないところの補填、自主練
4	5月16日	講義・演習	フィジカルの鍛錬とメンタルの鍛錬を共存させる	特にメンタルについて、深く考えてくる
5	5月23日	講義・演習	ソロパートへ挑戦する	自身の踊るパートへの責任を感じ、取り組めるようにする
6	5月30日	講義・演習	自立した考え方を身につけ、自分の踊りに磨きをかける	切磋琢磨の本当の意味を考える
7	6月6日	講義・演習	振り入れのスピードを上げて、限られた時間内でのリアクションを身につける	早いテンポで進む現場へ対応できるように、出来なかったところを反省し次回に備える
8	6月13日	講義・演習	作品制作に取り組む	ダンス発表への目標を設定する
9	6月20日	講義・演習	FIXすべき箇所を見つけ、ブラッシュアップを図る	ブラッシュアップ前後の比較を省みる
10	7月4日	講義・演習	お互いにダンスを発表する	受けた刺激をモチベーションに繋げる
11	7月11日	講義・演習	授業内でダンスを発表する ディスカッション	講師から受けたアドバイスを腑に落とし次回に備える
12	7月18日	講義・演習	総括	1年を振り返り、来年度への目標をたてる
13	8月22日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	レポートの提出
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz IV(3) Jazz Technique D(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	渡辺裕子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	テーマパークダンサー、舞台・TV・海外公演等ダンサー出演						
授業の学習 内容	テーマパークダンサー、パフォーマーを目指すために必要な基礎力、表現力を学ぶクラス エクササイズ、クロスフロアを丁寧に行ってしっかり体をつくり、基礎力を身につける コンビネーションでは表現する楽しさ、表現力を学ぶ						
到達目標	踊るための身体づくり、体の使い方や基礎をしっかりと身につけ、表現力を豊かにする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	毎回行うストレッチ、エクササイズを覚え、理解する	ストレッチ等
2	4月24日	講義・演習	エクササイズ、アイソレーションを覚え体の使い方を学ぶ	前回の注意点、振りの復習
3	5月8日	講義・演習	リズムトレーニング、基礎のステップを学ぶ	前回の注意点、振りの復習
4	5月15日	講義・演習	基礎のステップ、ジャンプを学ぶ	前回の注意点、振りの復習
5	5月22日	講義・演習	引き上げ、体幹、美しいラインを学ぶ	前回の注意点、振りの復習
6	5月29日	講義・演習	ターン基礎、バランス、軸、スポットを習得する	前回の注意点、振りの復習
7	6月5日	講義・演習	ターン①ピケ、シェネを習得する	前回の注意点、振りの復習
8	6月12日	講義・演習	ターン②ビルエットを習得する	前回の注意点、振りの復習
9	6月19日	講義・演習	アームス、上体の使い方を学ぶ	前回の注意点、振りの復習
10	7月3日	講義・演習	目線、表情を意識して表現できるようにする	前回の注意点、振りの復習
11	7月10日	講義・演習	テスト(コンビネーション)	前回の注意点、振りの復習
12	7月17日	講義・演習	前期まとめ、各々の課題を研究する	テストでの注意点、課題の復習
13	8月21日	講義・演習	イベントを通して表現する楽しさを学ぶ	レポート提出
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			欠席した授業回は、振りを聞くなどして覚えてくる	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz IV(4) Jazz Technique C(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	村瀬美音
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	劇団四季7年、M&Sカンパニー4年、現在はフリーで俳優・ダンサー・コレオグラファー・脚本家・演出家をしている						
授業の学習 内容	①「なぜこの授業を受けなければならないのか？」→エンタメで必要なJazz danceのスキル習得の為。 ②「どの科目と関係するのか、その位置づけ」→イベントや行事などの実践現場に生かす。 ③「学生にどうなって欲しいか(講師の思い)」→ステージで輝くプレーヤーになってほしい。 ④①～③をふまえたような授業を展開するか、具体的に記載する」→まずは挨拶や礼儀などを、しっかり覚えてもらいます。実際の現場に出た時に恥ずかしくないような、現場感覚を身につけた上でJazzの基礎を丁寧に指導していきます。						
到達目標	Jazz danceの基礎をしっかりと身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	アイソレーションなどの基礎、前期の目標を立てる	立てた目標の確認
2	10月17日	講義・演習	プリエ、タンジュ、デガジェ、フォンデュなどの基礎	バレエを元にする基礎の重要性を確認する
3	10月24日	講義・演習	指先、つま先等への意識をつくる	覚えたことを腑に落とし、次回に備える
4	10月31日	講義・演習	体幹鍛錬、クロスやコンビネーション	振付の確認、反復練習
5	11月7日	講義・演習	基礎練を流れてできるようにする。振付を進める。	振付の確認、反復練習
6	11月14日	講義・演習	基礎の大切さの確認、踊り込み	基礎の不足部分の鍛錬
7	11月21日	講義・演習	ダンスで使える呼吸を身につけ筋肉を鍛える。踊り込み	柔軟性の足りないものは、自宅でストレッチなどの自主練
8	11月28日	講義・演習	Jazzでの表現を考え、動きや表情に活かす	自己の反省点を考え、次回に活かす
9	12月5日	講義・演習	生徒同士、互いの踊りを見せ合い、自身の踊りに活かす	受けた刺激をモチベーションに繋げる
10	12月12日	講義・演習	ステー징やフォーメーションを理解し深める	ミザンスを理解し動いていたか考える
11	12月19日	講義・演習	授業内でダンスを発表する ディスカッション	講師から受けたアドバイスを腑に落とし次回に備える
12	1月16日	講義・演習	前期の総括	前期の自分を振り返り、身についたものを実感する。後期への目標を考える
13	1月23日	講義・演習	イベントを通して表現する楽しさを学ぶ	レポート提出
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Jazz IV(4) Jazz Technique D(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	渡辺裕子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	テーマパークダンサー、舞台・TV・海外公演等ダンサー出演						
授業の学習 内容	エクササイズ、クロスフロアを丁寧に行ってしっかり体をつくり、基礎力を身につける。 コンビネーションではパフォーマンスする意識を高め、表現力を豊かにする。						
到達目標	しなやかな身体づくり、基礎力、テクニックのスキルアップ、表現の幅を広げる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	基礎的な要素のスキルアップ	エクササイズ、アイソレーション等の復習
2	10月16日	講義・演習	連続したテクニックを習得する	前回の注意点、振りの復習
3	10月23日	講義・演習	テクニックの強化、振りの中で活かせるようにする	前回の注意点、振りの復習
4	10月30日	講義・演習	柔軟性、筋力、しなやかな体の使い方を学ぶ	前回の注意点、振りの復習
5	11月6日	講義・演習	体幹、軸の重要性、ラインを意識した動きを学ぶ	前回の注意点、振りの復習
6	11月13日	講義・演習	体全体を使ったダイナミックな表現を学ぶ	前回の注意点、振りの復習
7	11月20日	講義・演習	リズムを大切に滑らかな動きができるようにする	前回の注意点、振りの復習
8	11月27日	講義・演習	ロングコンビネーション①長い振りでの表現を学ぶ	前回の注意点、振りの復習
9	12月4日	講義・演習	ロングコンビネーション②リズム、流れの大切さを学ぶ	前回の注意点、振りの復習
10	12月11日	講義・演習	ロングコンビネーション③表情を大切に表現する	前回の注意点、振りの復習
11	12月18日	講義・演習	テスト(コンビネーション)	前回の注意点、振りの復習
12	1月15日	講義・演習	総まとめ、各々の課題に取り組む	テストでの注意点、課題の復習
13	1月22日	講義・演習	イベントを通してパフォーマンスする意識を高める	レポート提出
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してJazzを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習		欠席した授業回は、振りを聞くなどして覚えてくる		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Hiphop I (3) Hiphop A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石岡乃枝美
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	NHK紅白歌合戦、docomo、日清食品CM出演 他出演多数。JIBJABやFORPANCAKE.にて活動中。そして全国制覇する程の特技である書道を通じ、文化や礼儀を重んじつつ2足のわらじを履きながらも今日ヒップホップ・ライブに動しむフィメールダンサー。						
授業の学習 内容	・Hiphop Danceに必要な基礎的リズムの取り方、アイソレーションやコントロール法を覚え、技術だけでなく、文化的基礎知識、諸技法の取得、研究、反復。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代や土地の文化に応じた身体の使い方を理解し出来るようにする。(NYC90's style, WEST COAST style...)</li> <li>・質の向上を目指す。</li> <li>・ステップの名前や技法、由来、先人の考え方などを学ぶ。</li> <li>・インプロビゼーション(フリースタイル)等の材料にし、各々のレベル、フィールドで活かせるようにする。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	Hiphopの授業を受ける意味への理解と前期目標の設定、基本の体作り。	学ぶ意味、前期目標の設定、基本の体作り。
2	5月7日	講義・演習	身体のパーツコントロール入門編 ～真っ直ぐ立つところから～。	真っ直ぐ立つところから各パーツコントロールを知る。
3	5月14日	講義・演習	身体のパーツ、立ち方、ポジションを学ぶ。音楽の基本リズムを知る。	自分の身体の特徴、癖、傾向を知る。
4	5月21日	講義・演習	音楽の基本リズムと時代を学ぶ。アイソレーション～ジャンルによって違う使い方～入門。	音楽とスタイルを知る。自分の身体の特徴、癖、傾向を知る。
5	5月28日	講義・演習	音楽の基本リズムとスタイルを学ぶ。アイソレーション～時代によって違う使い方～基礎。	音楽とスタイルを知る。自分の身体の特徴、癖、傾向を知る。
6	6月4日	講義・演習	Hiphop,streetdanceアイソレーション～時代、ジャンルによって違う使い方、魅せ方～。	音楽とスタイルを知る。自分の身体の特徴、癖、傾向を知る。
7	6月11日	講義・演習	Hiphop,streetdanceにおける重心移動を学ぶ。入門	共通と違いを考える。
8	6月18日	講義・演習	Hiphop,streetdanceにおける重心移動～骨盤、股関節からなる足の出し方の基本～。	重心移動要復習。
9	6月25日	講義・演習	音楽とスタイルを通じて、重心移動、足の出し方、ステップの運動を感じる。	音楽とスタイルを通じて、重心移動、足の出し方、ステップの運動を感じ、癖や傾向を知る。
10	7月2日	講義・演習	音楽、時代、スタイルを通じて、重心移動、足の出し方、ステップの運動を感じる。	足の出し方しまい方要復習。ステップ用語と動きを一致させ質を高める。
11	7月9日	講義・演習	音楽、時代とスタイルを感じたアイソレーションとステップの組み合わせ。	身体の繋がりへの理解とミュージカリティのマッチを意識する。
12	7月16日	講義・演習	音楽、時代とスタイルを感じてアイソレーションとステップの組み合わせ踊る事を強化。	身体の繋がりへの理解とミュージカリティのマッチを意識する。癖や傾向を知る。
13	8月27日	講義・演習	組み合わせを理解し、自らの身体で表現する。	組み合わせを理解し、自らの身体で表現、比較する。
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ。	ワークシート提出。
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ。	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習			各自ストレッチ、メンタルをHiphopの授業へ向け、集中させること。音楽を沢山聴く、動画を観る。	
【使用教科書・教材・参考書】				
・筆記用具 ・ノート ・踊りやすいスニーカー(ジャズスニーカー、バレエシューズ、過度の厚底、ランニング専用シューズはNG)				

科目名	Hiphop I (3) Hiphop B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石岡乃枝美
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	NHK紅白歌合戦、docomo、日清食品CM出演 他出演多数。JIBJABやFORPANCAKE.にて活動中。そして全国制覇する程の特技である書道を通じ、文化や礼儀を重んじつつ2足のわらじを履きながらも今日ヒップホップ・ライブに動しむフィメールダンサー。						
授業の学習 内容	Hiphop Danceに必要な基礎的リズムの取り方、アイソレーションやコントロール法を覚え、技術だけでなく、文化的基礎知識、諸技法の取得、研究、反復。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代や土地の文化に応じた身体の使い方を理解し出来るようにする。(NYC90's style, WEST COAST style...)</li> <li>質の向上を目指す。</li> <li>ステップの名前や技法、由来、先人の考え方などを学ぶ。</li> <li>インプロビゼーション(フリースタイル)等の材料にし、各々のレベル、フィールドで活かせるようにする。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	Hiphopの授業を受ける意味への理解と前期目標の設定、基本の体作り。	学ぶ意味、前期目標の設定、基本の体作り。
2	4月24日	講義・演習	身体のパーツ、立ち方、ポジションを学ぶ。音楽の基本リズムを知る。	自分の身体の特徴、癖、傾向を知る。
3	5月8日	講義・演習	音楽の基本リズムと年代を学ぶ。アイソレーション～ジャンルによって違う使い方～。	音楽とスタイルを知る。自分の身体の特徴、癖、傾向を知る。
4	5月15日	講義・演習	Hiphop, streetdanceに用いるアイソレーション～年代、土地によって違う使い方、魅せ方を深める～。	基礎体力の向上、音楽、年代とスタイルを知る。
5	5月22日	講義・演習	Hiphop, streetdanceに用いるアイソレーション～ジャンルによって違う使い方、魅せ方を学ぶ～。	OLD SCHOOLアイソレーション～ジャンルによって違う使い方、魅せ方を学ぶ～。
6	5月29日	講義・演習	音楽とスタイルを通じて、重心移動、骨盤からなる足の出し方、ステップの運動の確認～応用に繋ぐ。	用語復習、基礎ステップの復習。
7	6月5日	講義・演習	音楽とスタイルを通じて、基本ステップの強化。	ステップ用語と動きの見直し、内容を一致させ質を高める。
8	6月12日	講義・演習	音楽とスタイルを感じてアイソレーションとステップの組み合わせ踊る事に慣れる。	身体の繋がりに理解とミュージカリティのマッチを意識する。
9	6月19日	講義・演習	音楽、年代、スタイルを感じてアイソレーションとステップの組み合わせ踊る事に慣れる。	身体の繋がりに理解とミュージカリティのマッチを意識する。
10	7月3日	講義・演習	時代による音楽とダンスの違いを理解し、アイソレーションとステップを意識的に繋ぐ。	時代による音楽とダンスの違いを理解し、アイソレーションとステップのリマインド。
11	7月10日	講義・演習	組み合わせを理解し、自らの身体で表現する。	組み合わせを理解し、自らの身体で表現する。
12	7月17日	講義・演習	組み合わせを理解し、自らの身体で表現、比較する。	組み合わせを理解し、自らの身体で表現、比較、癖や傾向を考察する。
13	8月21日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ。	今学期の振り返り。
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ。	ワークシート提出。
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ。	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習			授業中に気付いた事をノートに書く。ダンス関連の映像をみる(映画、バトル、コンペティションなど)	
【使用教科書・教材・参考書】				
・筆記用具 ・ノート ・踊りやすいスニーカー(ジャズスニーカー、バレエシューズ、過度の厚底、ランニング専用シューズはお勧め出来ません)				

科目名	Hiphop I (4) Hiphop A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石岡乃枝美
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	NHK紅白歌合戦、docomo、日清食品CM出演 他出演多数。JIBJABやFORPANCAKEにて活動中。そして全国制覇する程の特技である書道を通じ、文化や礼儀を重んじつつ2足のわらじを履きながらも今日ヒップホップ・ライブに動しむフィメールダンサー。						
授業の学習 内容	Hiphop Danceに必要な基礎的リズムの取り方、アイソレーションやコントロール法を覚え、技術だけでなく、文化的基礎知識、諸技法の取得、研究、反復。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代や土地の文化に応じた身体の使い方を理解し出来るようにする。(NYC90's style, WEST COAST style...)</li> <li>質の向上を目指す。</li> <li>ステップの名前や技法、由来、先人の考え方などを学ぶ。</li> <li>インプロビゼーション(フリースタイル)等の材料にし、各々のレベル、フィールドで活かせるようにする。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	Hiphopの授業を受ける意味への理解と後期目標の設定、基本の体作り確認。	学ぶ意味、後期目標の設定、基本の体作り。
2	10月15日	講義・演習	身体のパーツコントロール確認編 ~真っ直ぐ立つところから中心部意識の動き~。	真っ直ぐ立つところから各パーツコントロールを知る。
3	10月22日	講義・演習	身体のパーツ、立ち方、ポジションを学ぶ。音楽の基本リズムを確認。	自分の身体の特徴、癖、傾向を知る。
4	10月29日	講義・演習	音楽の基本リズムと時代を学ぶ。アイソレーション~ジャンルによって違う使い方~確認。	音楽とスタイルを知る。自分の身体の特徴、癖、傾向を知る。
5	11月5日	講義・演習	音楽の基本リズムとスタイルを学ぶ。アイソレーション~時代によって違う使い方~。	音楽とスタイルを知る。自分の身体の特徴、癖、傾向を知る。
6	11月12日	講義・演習	Hiphop,streetdanceアイソレーション~時代、ジャンルによって違う使い方、魅せ方~。	音楽とスタイルを知る。自分の身体の特徴、癖、傾向を知る。
7	11月19日	講義・演習	Hiphop,streetdanceにおける重心移動の確認~派生。	共通と違いを考える。
8	11月26日	講義・演習	Hiphop,streetdanceにおける重心移動~骨盤、股関節からなる足の出し方の確認。	重心移動要復習。
9	12月3日	講義・演習	音楽とスタイルを通じて、重心移動、足の出し方、ステップの運動を感じる。	音楽とスタイルを通じて、重心移動、足の出し方、ステップの運動を感じ、癖や傾向を知る。
10	12月10日	講義・演習	音楽、時代、スタイルを通じて、重心移動、足の出し方、ステップの運動を感じる。	足の出し方しまい方要復習。ステップ用語と動きを一致させ質を高める。
11	12月17日	講義・演習	音楽、時代とスタイルを感じたアイソレーションとステップの組み合わせの理解と確認。	身体の繋がりに理解とミュージカリティのマッチを意識する。
12	1月21日	講義・演習	音楽、時代とスタイルを感じたアイソレーションとステップの組み合わせを踊る事を強化。	身体の繋がりに理解とミュージカリティのマッチを意識する。癖や傾向を知る。
13	2月4日	講義・演習	組み合わせを理解し、自らの身体で表現する。	組み合わせを理解し、自らの身体で表現、比較する。
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ。	ワークシート提出。
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ。	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習			各自ストレッチ、メンタルをHiphopの授業へ向け、集中させること。音楽を沢山聴く、動画を観る。	
【使用教科書・教材・参考書】				
・筆記用具 ・ノート ・踊りやすいスニーカー(ジャズスニーカー、バレエシューズ、過度の厚底、ランニング専用シューズはNG)				

科目名	Hiphop I (4) Hiphop B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石岡乃枝美
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンス講師歴15年、現役ダンサーとしても活動中。						
授業の学習 内容	Hiphop Danceに必要な基礎的リズムの取り方、アイソレーションやコントロール法を覚え、技術だけでなく、文化的基礎知識、諸技法の取得、研究、反復。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代や土地の文化に応じた身体の使い方を理解し出来るようにする。(NYC90's style, WEST COAST style...)</li> <li>質の向上を目指す。</li> <li>ステップの名前や技法、由来、先人の考え方などを学ぶ。</li> <li>インプロビゼーション(フリースタイル)等の材料にし、各々のレベル、フィールドで活かせるようにする。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	前期の復習、後期の目標を設定。	各自課題設定、取り組む。
2	10月16日	講義・演習	アイソレーションコントロールの応用を研究、自らこれを使い踊れるようにする。	アイソレーションコントロールの応用を研究、踊れるようにする。
3	10月23日	講義・演習	ステップコントロールの応用を研究、自らこれを使い踊れるようにする。	基礎体力の向上、ステップ復習、確認。
4	10月30日	講義・演習	アイソレーション、ステップテクニックの確認。	アイソレーション、ステップテクニックの復習、確認。
5	11月6日	講義・演習	音楽とスタイルを感じたダンスの確認、質上げ。	時代や土地による音楽的要素、運動的要素の復習、確認。
6	11月13日	講義・演習	音楽とスタイルを感じたダンスの確認、深堀り、質上げ。	様々な年代の音楽を聴き、理解し、踊れるようにする。
7	11月20日	講義・演習	フィジカルの組み合わせ応用を学ぶ。	基礎体力の向上、ステップ、テクニックの見直し。
8	11月27日	講義・演習	old/newstyleの音楽的要素を含め、組み合わせ応用を学ぶ。	基礎体力の向上、ステップ、テクニックの見直し。
9	12月4日	講義・演習	音楽と時代背景、スタイルを見極め自ら踊る。	ステップ、テクニックの見直し、確認。音楽を沢山聴いてイメージする。
10	12月11日	講義・演習	セッション、サイファー、バトルの共通と違い～インプロに慣れる。～	基礎体力の向上、音楽とスタイルの見極め復習。
11	12月18日	講義・演習	インプロで魅せる。	学んだものを復習+個性、アイデアを色付けイメージさせる。
12	1月15日	講義・演習	1年間のまとめ、次年度への目標設定。	各自反省点など見出して、次年度どのようにしたらよいか考察。
13	1月22日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ。	今学期の振り返り。
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ。	ワークシート提出。
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ。	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習			授業中に気付いた事をノートに書く。ダンス関連の映像をみる(映画、バトル、コンペティションなど)	
【使用教科書・教材・参考書】				
・筆記用具 ・ノート ・踊りやすいスニーカー(ジャズスニーカー、バレエシューズ、過度の厚底、ランニング専用シューズはお勧め出来ません)				

科目名	Hiphop II (3) Hiphop C(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	渡邊優輝子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	バックダンサー・スタジオインストラクター・全国ダンスSHOWケース出演						
授業の学習 内容	振付をただ踊れるだけのダンサーではなく、基本的なリズムがしっかり体に入ったうえで、自分らしく音や気持ちを表現できるダンサーになってもらいたいの、基礎リズムの徹底、コンビネーションや振付をやりながら、自分自身と向き合い、自分らしさを理解し、表現する授業にします。						
到達目標	体からリズム(音)が出ていて自分を信じられるダンサーにします。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	自己紹介・授業の目的など説明・後期の目標設定・をする	目標設定できていない人は次回まで宿題
2	5月7日	講義・演習	ダウン・アップ・前ノリ・でリズムをとることができる	
3	5月14日	講義・演習	後ろノリ・16ビート・でリズムをとることができる	
4	5月21日	講義・演習	ダウン・アップ・前ノリ・をコンビネーションで踊ることができる	
5	5月28日	講義・演習	後ろノリ・16ビート・をコンビネーションで踊ることができる	
6	6月4日	講義・演習	FREEで踊り、自分の癖(得意なこと)を理解することができる	
7	6月11日	講義・演習	体が立体的であることを理解し、自分のポディーイメージを 実践することができる	
8	6月18日	講義・演習	立体的にしたポディーイメージを実践することができる	
9	6月25日	講義・演習	出題した課題振付を覚えることができる	課題を練習してくる(特にソロパート)
10	7月2日	講義・演習	前回出した課題曲の振付を踊ってもらい、1ヶ月前との差を 確認する	自分で映像をチェックし、自分の得意がどう変化しているか
11	7月9日	講義・演習	ここまでの疑問点や苦手な箇所を聞き、クリアにする	疑問点や不安なところをアンケートする
12	7月16日	講義・演習	基本リズムでのコンビネーションや振付ができ、立体的に 体を動かす①	
13	8月27日	講義・演習	基本リズムでのコンビネーションや振付ができ、立体的に 体を動かす②	
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			とにかく自分の素敵なポイントだけを探す！以上！	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Hiphop II (3) Hiphop D(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	須田和慎
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	元関東大手テーマパークダンサー、浦島坂田船、香取慎吾、等バックダンサー、インストラクター、振付師						
授業の学習 内容	プロダンサーとして必要最低限の基礎力、表現力を学ぶ。HIOHOPの振り付けだけではなくJAZZのようなラインの取り方や表現方法も授業の中で取り入れていき、マルチなパフォーマンスが出来るダンサーとしての技術や知識を身につけていく。またその学んだ事を自分のフィルターを通して人に伝えることの出来るダンサーになれるような授業を展開していく。						
到達目標	学生一人一人のなりたいダンサー、人間になれるようにサポートしていき個性を伸ばす。 また昨今は現場でも多様なジャンルを要求される事がありその為どの現場でも通用する様なマルチな表現者になれる様にする。 学生が卒業後自立できる様に授業を通して個人の自主性を高めていく。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	授業の説明、アイソレーション(首、胸)の使い方を理解する。	自分の体と向き合い理解する。
2	5月7日	講義・演習	アイソレーション(腰、肩)の使い方を理解する。	授業の復習。自分の長所、短所を見つける。
3	5月14日	講義・演習	アイソレーションの確認、リズムの取り方を理解する。	授業の復習。様々な音楽を聴く。
4	5月21日	講義・演習	アップ、ダウンの使い分けを理解する。	授業の復習。一人でリズムにのる。
5	5月28日	講義・演習	アイソレとリズムを理解し深める。	授業の復習。基礎トレーニングの意味を理解する。
6	6月4日	講義・演習	前ノリ、後ろノリの体の使い方を理解する。	授業の復習。体幹部の強化。
7	6月11日	講義・演習	ここまでの授業の復習①。	授業の復習。自分の目標や理想像を確認する。
8	6月18日	講義・演習	応用の振付を学び理解する。	授業の復習。YouTube等で映像を観て研究する。
9	6月25日	講義・演習	基礎的なステップを身につける。	授業の復習。ステップのアレンジを研究する。
10	7月2日	講義・演習	体の基礎的な使い方を理解し自分なりの表現を取り入れる。	授業の復習。YouTube等で資料を観て研究する。
11	7月9日	講義・演習	自分の長所と短所を理解し改善しようと試みる。	授業の復習。課題を克服する努力をする。
12	7月16日	講義・演習	シルエットを意識した振り付けで磨きをかける。	撮影した映像で自分を客観的に見て改善点を探す。
13	8月27日	講義・演習	ここまでの授業の復習②。	授業の復習。自分の目標や理想像を確認する。
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ。	ワークシート提出。
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ。	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習			YouTube等での資料研究、ストレッチ、体幹トレーニング。他ジャンルのレッスンの受講。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル				

科目名	Hiphop II (4) Hiphop C(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	渡邊優輝子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	バックダンサー・スタジオインストラクター・全国ダンスSHOWケース出演						
授業の学習 内容	振付をただ踊れるだけのダンサーではなく、基本的なリズムがしっかり体に入ったうえで、自分らしく音や気持ちを表現できるダンサーになってもらいたいのので、基礎リズムの徹底、コンビネーションや振付をやりながら、自分自身と向き合い、自分らしさを理解し、表現する授業にします。						
到達目標	体からリズム(音)が出ていて自分を信じられるダンサーにします。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	授業の目的など説明・後期の目標設定をする	目標設定できていない人は次回まで宿題
2	10月15日	講義・演習	基本リズム(5種類)のコンビネーションで踊ることができる	
3	10月22日	講義・演習	基本リズム(5種類)のコンビネーションで踊ることができ、ソロセッションを実践する	
4	10月29日	講義・演習	体が立体的であることを理解し、自分のボディイメージを表現することができる	
5	11月5日	講義・演習	何組かに分かれてソロセッションを回し、自分の強みを理解する	
6	11月12日	講義・演習	立体的にしたボディイメージを実践することができる	
7	11月19日	講義・演習	立体的にしたボディイメージを実践することができる	
8	11月26日	講義・演習	何組かに分かれてソロセッションを回し、自分の強みを理解する	
9	12月3日	講義・演習	ここまでの疑問点や苦手な箇所を聞き、クリアにする	
10	12月10日	講義・演習	条件付きでソロセッションを回し、自分の幅を広げる	
11	12月17日	講義・演習	条件付きでソロセッションを回し、自分の幅を広げる	
12	1月14日	講義・演習	立体的にしたボディイメージを基本リズム(5種類)のコンビネーションで実践することができる	
13	1月21日	講義・演習	立体的にしたボディイメージを基本リズム(5種類)のコンビネーションで実践することができる	
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ	ワークシート提出
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			とにかく自分の素敵なポイントだけを探す！以上！	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Hiphop II (4) Hiphop D(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	須田和慎
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	元関東大手テーマパークダンサー、浦島坂田船、香取慎吾、等バックダンサー、インストラクター、振付師						
授業の学習 内容	プロダンサーとして必要最低限の基礎力、表現力を学ぶ。HIOHOPの振り付けだけではなくJAZZのようなラインの取り方や表現方法も授業の中で取り入れていく為マルチなパフォーマンスが出来るダンサーとしての技術や知識を身につけていく。またその学んだ事を自分のフィルターを通して人に伝えることの出来るダンサーになれるような授業を展開していく。そしてプロとして活躍出来る様な振る舞い、マナー、メンタル等を授業の中で伝えていく。						
到達目標	学生一人一人のなりたいダンサー、人間になれるようにサポートしていき個性を伸ばす。 また昨今は現場でも多様なジャンルを要求される事がありその為どの現場でも通用する様なマルチな表現者になれる様にする。 インストラクターとしても活躍できる様に授業内で生徒達による授業や振り付けに対して構成を入れ、クリエイターとしてのセンスも磨く。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	前期の復習、基礎的な動きの振り付けにアレンジを加える。	授業の復習。後期の目標設定を行う。
2	10月15日	講義・演習	振り付けは同じにして楽曲を変えて違ったアプローチを試みる。	楽曲事のフィーリングの違いを具現化し理解する。
3	10月22日	講義・演習	グループワーク①振り付けを生徒自ら考えて自分の意思を伝えられる様にする。	良い授業を行う為のノウハウを学ぶ。
4	10月29日	講義・演習	グループワーク②振り付けを生徒自ら考えて自分の意思を伝えられる様にする。	自分の体の感覚を言語化する。
5	11月5日	講義・演習	前回の授業のディスカッションを交えながら新しい振り付けを学ぶ。	改めて普段の授業から講師の発言等を意識する。
6	11月12日	講義・演習	パワーや勢いを意識した振り付けを学び習得する。	授業の復習。自分の筋力を理解する。
7	11月19日	講義・演習	ためや体の伸縮を意識した振り付けを学び習得する。	体幹部の強化、日常での重心や姿勢を気にする。
8	11月26日	講義・演習	大人っぽい妖艶な楽曲にあった表現を身につける。	世界観の作り方や仕草について考える。
9	12月3日	講義・演習	キャッチーな楽曲で体をはっきり大きく使う為の技術を学ぶ。	表情について思考し自分と向き合う。
10	12月10日	講義・演習	ここまでの授業の復習。	授業内で消化できなかった部分の復習をする。
11	12月17日	講義・演習	グループワーク③振り付けに構成の付け方を学ぶ。	YouTube等で資料を研究する。
12	1月21日	講義・演習	グループワーク④振り付けに構成の付け方を学ぶ。	次の授業で披露するソロパフォーマンスを考える。
13	2月4日	講義・演習	総まとめの試験を行う。振り入れ。	次の授業で披露するソロパフォーマンスを考える。
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ。	ワークシート提出。
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ。	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習			YouTube等での資料研究、ストレッチ、体幹トレーニング。他ジャンルのレッスンの受講。	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ、水分				

科目名	Contemporary A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家						
授業の学習 内容	①正しい身体のアライメント、思考の使い方の向上。 ②理に適った動き(骨・関節と筋肉の正しい連動)の習得。 ③基礎の論理的思考と応用のもと、身体を動かす事でテーマパーク、ジャズダンス等に应用可能な身体を目指す。 ④コンテンポラリーダンスの動きの質を高め、アカデミックでダイナミックな動きを習得する。振付構成法の講義を行う(変更あり)。						
到達目標	上半身の関節隙間の開放を学ぶ事で、スムーズに上体が動かせる様になる。下半身の正しい使い方と歩幅を広く使える様になる事でダイナミックなダンスが習得できる。また、論理的思考を身につけていく事で動きの応用を上目指す。振付構成法の講義を受講すると振付を論理的に考えるようになり、他のダンス振付に対応力が身に付く。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	成長する心構え、身体の骨とインナーマッスルの確認と応用。	シラバス等を見て準備する。□
2	5月7日	講義・演習	②腹筋群・内転筋・つま先・MP関節等の理解。コンビネーションの理解。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
3	5月14日	講義・演習	③フロアー・センターエクササイズレベルアップと新ステップの理解。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
4	5月21日	講義・演習	④新ステップとコンビネーションの反復。②～③の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
5	5月28日	講義・演習	⑤新ステップとコンビネーションの反復。②～④の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
6	6月4日	講義・演習	⑥新ステップとコンビネーションの反復。②～⑤の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
7	6月11日	講義・演習	⑦新ステップ反復。新コンビネーションの応用。②～⑥の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
8	6月18日	講義・演習	⑧新ステップ反復。新コンビネーションの応用。②～⑦の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
9	6月25日	講義・演習	⑨新ステップ反復。新コンビネーションの応用。②～⑧の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
10	7月2日	講義・演習	⑩新ステップ反復。新コンビネーションの応用。②～⑨の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
11	7月9日	講義・演習	⑪新ステップ反復。新コンビネーションの応用。②～⑩の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
12	7月16日	講義・演習	⑫新ステップ反復。新コンビネーションの応用。②～⑩の反復。	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
13	8月27日	講義・演習	実技試験。	試験結果の反省と今後の対策。
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ。	ワークシート提出。
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ。	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習			授業内容を確認、理解し自身のスキルアップを計画的に考えて復習。ストレッチ等を反復する。	
【使用教科書・教材・参考書】				
ドレスコードは体ラインがハッキリ見える物。裸足or靴下。				

科目名	Contemporary A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家						
授業の学習 内容	WE ARE TSMの作品振付 canon (変更あり)						
到達目標	作品を通して動きのクオリティー、豊かな表現とエネルギー(質を含め)出し方を学ぶ。またリハーサル、本番に向けて個々のスキルアップ(メンタル面も含む)を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	リハーサル①	リハーサルへのモチベーションと準備。
2	10月15日	講義・演習	リハーサル②	前回授業(リハーサル)復習・確認。
3	10月22日	講義・演習	リハーサル③	前回授業(リハーサル)復習・確認。
4	10月29日	講義・演習	リハーサル④	前回授業(リハーサル)復習・確認。
5	11月5日	講義・演習	リハーサル⑤	前回授業(リハーサル)復習・確認。
6	11月12日	講義・演習	リハーサル⑥	前回授業(リハーサル)復習・確認。
7	11月19日	講義・演習	リハーサル⑦	前回授業(リハーサル)復習・確認。
8	11月26日	講義・演習	リハーサル⑧	前回授業(リハーサル)復習・確認。
9	12月3日	講義・演習	リハーサル⑨	前回授業(リハーサル)復習・確認。
10	12月10日	講義・演習	リハーサル⑩	前回授業(リハーサル)復習・確認。
11	12月17日	講義・演習	リハーサル⑪	前回授業(リハーサル)復習・確認。
12	1月21日	講義・演習	リハーサル⑫	前回授業(リハーサル)復習・確認。
13	2月4日	講義・演習	リハーサル⑬	前回授業(リハーサル)復習・確認。
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出。
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習			授業内容を確認、理解し自身のスキルアップを計画的に考えて復習。ストレッチ等を反復する。	
【使用教科書・教材・参考書】				
ドレスコードは体ラインがハッキリ見える物。裸足or靴下。				

科目名	Contemporary B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家						
授業の学習 内容	フェルデンクライスメソッド・ダンス版(コンディショニング) ①身体の中にある骨の関節の隙間と可動域を広げ、筋肉の捻れを解く事で、柔軟性を高める。 ②全てのダンスのジャンルに適用可能。 ③あらゆるダンスの動きに適用する身体になり、継続することで身に付いていきます。 ④目瞑り床に寝て、小さな動きを繰り返す事で、動きやすい身体を生み出す。 ⑤ダイナミック・ストレッチ、瞑想、エネルギーワーク。						
到達目標	床を足で押し返す感じが分かる。立ちやすくなる。動きやすくなる。正しい背骨のS字カーブになる(反り腰の解消)筋肉の捻れの解消。全ての関節の隙間と股関節の可動域の向上。腰痛解消、ケガの防止。脳の疲れを取り、ストレス軽減。身体知覚を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	オリエンテーションと身体の骨と筋肉の説明と理解	シラバス等を見て準備する。
2	5月7日	講義・演習	①フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
3	5月14日	講義・演習	②フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
4	5月21日	講義・演習	③フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
5	5月28日	講義・演習	④フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
6	6月4日	講義・演習	⑤フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
7	6月11日	講義・演習	⑥フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
8	6月18日	講義・演習	⑦フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
9	6月25日	講義・演習	⑧フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
10	7月2日	講義・演習	⑨フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
11	7月9日	講義・演習	⑩フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
12	7月16日	講義・演習	⑪フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
13	8月27日	講義・演習	実技試験	試験結果の反省と今後の対策。
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出。
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習			授業内容を確認、理解し自身のスキルアップを計画的に考えて復習。ストレッチ等を反復する。	
【使用教科書・教材・参考書】				
ドレスコードは体ラインがハッキリ見える物。裸足or靴下。				

科目名	Contemporary B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家						
授業の学習 内容	フェルデンクライスメソッド・ダンス版(コンディショニング) ①身体の中にある骨の関節の隙間と可動域を広げ、筋肉の捻れを解く事で、柔軟性を高める。 ②全てのダンスのジャンルに活用可能。 ③あらゆるダンスの動きに適用する身体になり、継続することで身に付いていきます。 ④目瞑り床に寝て、小さな動きを繰り返す事で、動きやすい身体を生み出す。 ⑤ダイナミック・ストレッチ、瞑想、エネルギーワーク。						
到達目標	床を足で押し返す感じが分かる。立ちやすくなる。動きやすくなる。正しい背骨のS字カーブになる(反り腰の解消)筋肉の捻れの解消。全ての関節の隙間と股関節の可動域の向上。腰痛解消、ケガの防止。脳の疲れを取り、ストレス軽減。。身体知覚を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	前期の確認。身体の骨と筋肉の説明と理解	前期授業の復習。
2	10月15日	講義・演習	①フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
3	10月22日	講義・演習	②フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
4	10月29日	講義・演習	③フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
5	11月5日	講義・演習	④フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
6	11月12日	講義・演習	⑤フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
7	11月19日	講義・演習	⑥フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
8	11月26日	講義・演習	⑦フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
9	12月3日	講義・演習	⑧フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
10	12月10日	講義・演習	⑨フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
11	12月17日	講義・演習	⑩フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
12	1月21日	講義・演習	⑪フェルデンクライスメソッド・ダンス版。ストレッチor瞑想	前回授業の復習(確認と理解)・ストレッチ等をする。
13	2月4日	講義・演習	実技試験	試験結果の反省と今後の対策。
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出。
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出。
準備学習 時間外学習			授業内容を確認、理解し自身のスキルアップを計画的に考えて復習。ストレッチ等を反復する。	
【使用教科書・教材・参考書】				
ドレスコードは体ラインがハッキリ見える物。裸足or靴下。				

科目名	Modern A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石井直彦
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	海外ダンスカンパニー、国際バレエコンクール振付、国内スタジオ(BDCなど)でのモダン/コンテンポラリー講師						
授業の学習 内容	①使えていない身体の部分、筋肉に気づける。また、自身の癖の発見。 ②身体コアの感覚の強化、重心を落として踊る、という意味で全てのダンス。 ③多様な身体表現の可能性・特性を勉強した上で、自身がやりたいダンスにその学びを投影し、成長し続けるダンサーになってほしい。 ④踊る身体作りに必要なベーシック(バレエベース)を反復しつつ、各々が動きに対するアプローチを考え、提案し合える「参加型」のクラス。						
到達目標	2年生の前期では、新しく学ぶ 動きのボキャブラリー を理解・マスターし、 また他分野で活かせる技術面の向上を図る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	ガイドダンス。静的・動的ストレッチ考察。フレーズまで	家でできる静的・動的ストレッチメニュー考案(発表あり)
2	4月24日	講義・演習	呼吸と身体の伸縮、動きとの関連性	日常生活の中での呼吸の変化に注目
3	5月8日	講義・演習	踊る身体のセンターとは	生活の中でコアを意識する時間
4	5月15日	講義・演習	ロールダウン・アップ。フラットバック	起床後のロールアップ・ダウンを習慣化
5	5月22日	講義・演習	ターンアウト考察、上体との関係	ターンアウトのメリット考察、実践
6	5月29日	講義・演習	エクササイズ～プリエ応用、コントラクション	コアエクササイズ
7	6月5日	講義・演習	片脚で立つとは。エクササイズ～タンジュ・デガジェ応用	タンジュ、デガジェ時の足の出し方考察・練習
8	6月12日	講義・演習	腕の重さ、頭の重さ・骨盤の重さ	体幹トレーニング
9	6月19日	講義・演習	上記 8、9を取り入れたリリース・テクニック	下半身強化
10	7月3日	講義・演習	上記 8を考えて エクササイズ～タンジュ・デガジェ	股関節ストレッチ(臀部、内転筋)
11	7月10日	講義・演習	クロスフロア～ターン、フレーズ	自分が得意、優れているもの考察、課題の発見
12	7月17日	講義・演習	クロスフロア～ターン、ジャンプ、フレーズ	自分が苦手、できないと思っていること考察、課題の発見
13	8月21日	講義・演習	前期の復習	レポートの提出
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Modern A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石井直彦
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	海外ダンスカンパニー、国際パレエコンクール振付、国内スタジオ(BDCなど)でのモダン/コンテンポラリー講師						
授業の学習 内容	①身体改造 ②身体コアの感覚の強化、重心を落として踊る、という意味で全てのダンス。 ③「上手」なダンサーから「心が見える」ダンサーへ。 ④身体強化に必要なベーシック(パレエベース)を反復しつつ、自己分析～発表を通して 学生の独創性を育成。						
到達目標	振付を覚えて「上手に踊ること」だけを目標とするのではなく、時間がかかっても どうやったら「自分らしい踊り」ができるダンサーになれるのか、それを考えながら毎クラスの学習に臨む。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	前期の復習①	休み中の課題/成果(発表あり)
2	10月16日	講義・演習	前期の復習②	今期の課題を考える(短期、長期)
3	10月23日	講義・演習	ロンドゥ・ジャンプ・応用	体幹トレーニング
4	10月30日	講義・演習	エクササイズ～ロンドゥ・ジャンプ+フロア	体幹トレーニング、上体のストレッチ
5	11月6日	講義・演習	フォンデュ・応用	自身の身体の何が変わったか考察
6	11月13日	講義・演習	エクササイズ～応用	つま先、アキレス ストレッチ
7	11月20日	講義・演習	ジャンプ	足の裏強化エクササイズ、ストレッチ
8	11月27日	講義・演習	クロスフロア～ジャンプ応用	色々なジャンルのダンス動画を観る
9	12月4日	講義・演習	多様な音楽を感じる	多様な音楽に心はどう動く?
10	12月11日	講義・演習	お題下のインプロビゼーション(仮)	自由に即興で動いてみる
11	12月18日	講義・演習	シンプルなフレーズ創作(仮)	ストレッチ見直し
12	1月15日	講義・演習	フレーズ発表	体幹トレーニング レベルアップ
13	1月22日	講義・演習	基礎トレーニングの確認	今後の課題、自身のダンス向上に必要なのは何か考察
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Modern B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石井直彦
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	海外ダンスカンパニー、国際バレエコンクール振付、国内スタジオ(BDCなど)でのモダン/コンテンポラリー講師						
授業の学習 内容	①使えていない身体の部分、筋肉に気づける。また、自身の癖の発見。 ②身体コアの感覚の強化、重心を落として踊る、という意味で全てのダンス。 ③多様な身体表現の可能性・特性を勉強した上で、自身がやりたいダンスにその学びを投影し、成長し続けるダンサーになってほしい。 ④踊る身体作りに必要なベーシック(バレエベース)を反復しつつ、各々が動きに対するアプローチを考え、提案し合える「参加型」のクラス。						
到達目標	2年生の前期では、新しく学ぶ 動きのボキャブラリー を理解・マスターし、 また他分野で活かせる技術面の向上を図る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	ガイドダンス。静的・動的ストレッチ考察。フレーズまで	家でできる静的・動的ストレッチメニュー考案(発表あり)
2	4月24日	講義・演習	呼吸と身体の伸縮、動きとの関連性	日常生活の中での呼吸の変化に注目
3	5月8日	講義・演習	踊る身体のセンターとは	生活の中でコアを意識する時間
4	5月15日	講義・演習	ロールダウン・アップ。フラットバック	起床後のロールアップ・ダウンを習慣化
5	5月22日	講義・演習	ターンアウト考察、上体との関係	ターンアウトのメリット考察、実践
6	5月29日	講義・演習	エクササイズ～プリエ応用、コントラクション	コアエクササイズ
7	6月5日	講義・演習	片脚で立つとは。エクササイズ～タンジュ・デガジェ応用	タンジュ、デガジェ時の足の出し方考察・練習
8	6月12日	講義・演習	腕の重さ、頭の重さ・骨盤の重さ	体幹トレーニング
9	6月19日	講義・演習	上記 8、9を取り入れたリリース・テクニック	下半身強化
10	7月3日	講義・演習	上記 8を考えて エクササイズ～タンジュ・デガジェ	股関節ストレッチ(臀部、内転筋)
11	7月10日	講義・演習	クロスフロア～ターン、フレーズ	自分が得意、優れているもの考察、課題の発見
12	7月17日	講義・演習	クロスフロア～ターン、ジャンプ、フレーズ	自分が苦手、できないと思っていること考察、課題の発見
13	8月21日	講義・演習	前期の復習	レポートの提出
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Modern B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石井直彦
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	海外ダンスカンパニー、国際バレエコンクール振付、国内スタジオ(BDCなど)でのモダン/コンテンポラリー講師						
授業の学習 内容	①身体改造 ②身体コアの感覚の強化、重心を落として踊る、という意味で全てのダンス。 ③「上手」なダンサーから「心が見える」ダンサーへ。 ④身体強化に必要なベーシック(バレエベース)を反復しつつ、自己分析～発表を通して 学生の独創性を育成。						
到達目標	振付を覚えて「上手に踊ること」だけを目標とするのではなく、時間がかかっても どうやったら「自分らしい踊り」ができるダンサーになれるのか、それを考えながら毎クラスの学習に臨む。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	前期の復習①	休み中の課題/成果(発表あり)
2	10月16日	講義・演習	前期の復習②	今期の課題を考える(短期、長期)
3	10月23日	講義・演習	ロンドゥ・ジャンプ・応用	体幹トレーニング
4	10月30日	講義・演習	エクササイズ～ロンドゥ・ジャンプ+フロア	体幹トレーニング、上体のストレッチ
5	11月6日	講義・演習	フォンデュ・応用	自身の身体の何が変わったか考察
6	11月13日	講義・演習	エクササイズ～応用	つま先、アキレス ストレッチ
7	11月20日	講義・演習	ジャンプ	足の裏強化エクササイズ、ストレッチ
8	11月27日	講義・演習	クロスフロア～ジャンプ応用	色々なジャンルのダンス動画を観る
9	12月4日	講義・演習	多様な音楽を感じる	多様な音楽に心はどう動く?
10	12月11日	講義・演習	お題下のインプロビゼーション(仮)	自由に即興で動いてみる
11	12月18日	講義・演習	シンプルなフレーズ創作(仮)	ストレッチ見直し
12	1月15日	講義・演習	フレーズ発表	体幹トレーニング レベルアップ
13	1月22日	講義・演習	基礎トレーニングの確認	今後の課題、自身のダンス向上に必要なのは何か考察
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Back Dancer B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岩崎依里子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストのMV出演や東方神起のツアーダンサーとして活躍中。						
授業の学習 内容	バックダンサーになるためには何が必要かを学ぶ						
到達目標	自分の色を見つけること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	基礎練、アインレの習得	体幹筋トレ、授業内容復習
2	4月25日	講義・演習	基礎練、アインレの習得②	体幹筋トレ、授業内容復習②
3	5月9日	講義・演習	ポーズをメインとした内容	授業内容の確認、復習
4	5月16日	講義・演習	ポーズをメインとした内容②	クラス内動画を確認、復習
5	5月23日	講義・演習	ウォーキングの習得	脚トレ
6	5月30日	講義・演習	ウォーキングの習得、振り付け	脚トレ、振り付け確認
7	6月6日	講義・演習	振り付け②	クラス内動画を確認、復習、筋トレ
8	6月13日	講義・演習	揃えるをメインとした振り付け	腕の筋肉トレーニング
9	6月20日	講義・演習	揃えるをメインとした振り付け②	クラス内動画を確認、復習
10	7月4日	講義・演習	表情管理の習得	自宅で再度同じことを行う
11	7月11日	講義・演習	これまでの授業内容を全て合わせた振り付け	クラス内容を復習
12	7月18日	講義・演習	これまでの授業内容を全て合わせた振り付け②	クラス内容を復習、動画確認
13	8月22日	講義・演習	発表	クラス内動画の確認、良くなるための自主練
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してバックダンサーを学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してバックダンサーを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Back Dancer B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岩崎依里子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アーティストのMV出演や東方神起のツアーダンサーとして活躍中。						
授業の学習 内容	バックダンサーになるためには何が必要かを学ぶ						
到達目標	自分の色を見つけること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	ヒールの基礎練 ②	脚トレ
2	10月17日	講義・演習	ヒールの振り付け	体幹と脚トレ
3	10月24日	講義・演習	Hiphop系の振り付け	復習
4	10月31日	講義・演習	Hiphop系の振り付け②	復習
5	11月7日	講義・演習	Hiphop系の振り付け③、フォーメーション付け	動画を確認し、復習
6	11月14日	講義・演習	Street jazzの振り付け	復習
7	11月21日	講義・演習	Street jazzの振り付け②	復習
8	11月28日	講義・演習	Street jazzの振り付け③、フォーメーション付け	クラス内の動画を確認し、復習
9	12月5日	講義・演習	Jazz Conteの振り付け	クラス内動画の確認、良くなるための自主練
10	12月12日	講義・演習	Jazz Conteの振り付け②	クラス内動画の確認、良くなるための自主練
11	12月19日	講義・演習	楽しい系の振り付け	表情管理の練習
12	1月16日	講義・演習	自分たちでフォーメーションをつける	次回に向け各自で練習
13	1月23日	講義・演習	発表	動画を確認し、復習
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してバックダンサーを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してバックダンサーを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小川紗弥花
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2PM CONCERT HOUSE PARTY in Japan ダンサー出演 他						
授業の学習 内容	ダンスの基礎練習・身体の使い方を研究・怪我をしないためのストレッチ方法の学習						
到達目標	基礎を練習して身体の可動域を広げること・自分にしかできない表現力を磨き、自信をつけること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	自己紹介・目標設定・授業内容説明・基礎練習	得意なことを探す
2	4月25日	講義・演習	アイソレーション基礎練習	前週の復習
3	5月9日	講義・演習	アイソレーション基礎応用	前週の復習
4	5月16日	講義・演習	ステップ基礎練習	前週の復習
5	5月23日	講義・演習	ステップ基礎応用	前週の復習
6	5月30日	講義・演習	指先・足先にフォーカス 動線確認	前週の復習
7	6月6日	講義・演習	緩急について研究	前週の復習
8	6月13日	講義・演習	テスト内容 振り写し・練習	前週の復習
9	6月20日	講義・演習	テスト内容 振り写し・練習	テスト内容の練習
10	7月4日	講義・演習	テスト内容 練習	テスト内容の練習
11	7月11日	講義・演習	前期 実技テスト	テスト内容の練習
12	7月18日	講義・演習	身体の使い方 確認	前週の復習
13	8月22日	講義・演習	個性を活かした表現の研究	前週の復習
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル・ドリンク				

科目名	K-POP A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小川紗弥花
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2PM CONCERT HOUSE PARTY in Japan ダンサー出演 他						
授業の学習 内容	ダンスの基礎練習・身体の使い方を研究・怪我をしないためのストレッチ方法の学習						
到達目標	基礎を練習して身体の可動域を広げること・自分にしかできない表現力を磨き、自信をつけること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	目標確認・前期の復習	目標の確認
2	10月17日	講義・演習	アイソレーションテクニック習得	前週の復習
3	10月24日	講義・演習	アイソレーションテクニック応用	前週の復習
4	10月31日	講義・演習	ステップテクニック習得	前週の復習
5	11月7日	講義・演習	ステップテクニック応用	前週の復習
6	11月14日	講義・演習	フロアテクニック練習	前週の復習
7	11月21日	講義・演習	フロアテクニック応用	前週の復習
8	11月28日	講義・演習	テスト内容 振り写し・練習	前週の復習
9	12月5日	講義・演習	テスト内容 振り写し・練習	テスト内容の練習
10	12月12日	講義・演習	テスト内容 練習	テスト内容の練習
11	12月19日	講義・演習	後期 実技テスト	テスト内容の練習
12	1月16日	講義・演習	身体の角度にフォーカス 練習	前週の復習
13	1月23日	講義・演習	自分だけのダンススタイルを築く	前週の復習
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル・ドリンク				

科目名	Theater(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	面高祐太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	テーマパーク経験を元にJazzスタイルを軸に様々な舞台、コンサートに出演。近年では振付師としても活動。						
授業の学習 内容	オーディションへの対応能力、技術、見せ方が必要。バレエ、JAZZ ダンスが基礎。プロになる為のメンタル、技術を上げて夢を掴んでほしい。						
到達目標	個性豊かに踊れること。人を魅了する踊りをする。人間性を大切に出来る事。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	ピルエット、シエネ基礎、8x8振付	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
2	5月7日	講義・演習	ピルエット、シエネ基礎、8x8振付	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
3	5月14日	講義・演習	ピルエット、シエネ基礎、8x8振付	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
4	5月21日	講義・演習	クロスフロア、基礎、8X8振付	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
5	5月28日	講義・演習	クロスフロア、基礎、8X8振付	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
6	6月4日	講義・演習	クロスフロア、基礎、8X8振付	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
7	6月11日	講義・演習	表現力強化、バットマン応用、8x8振付	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
8	6月18日	講義・演習	表現力強化、バットマン応用、8x8振付	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
9	6月25日	講義・演習	表現力強化、バットマン応用、8x8振付	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
10	7月2日	講義・演習	10x8振付 音を身体で表現に特化	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
11	7月9日	講義・演習	10x8振付 音を身体で表現に特化	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
12	7月16日	講義・演習	10x8振付 音を身体で表現に特化	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
13	8月27日	講義・演習	イベント実践を通して振付制作を学ぶ	今学期の振り返り
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して振付制作を学ぶ	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して振付制作を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Theater(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	面高祐太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	テーマパーク経験を元にJazzスタイルを軸に様々な舞台、コンサートに出演。近年では振付師としても活動。						
授業の学習 内容	オーディションへの対応能力、技術、見せ方が必要。バレエ、JAZZ ダンスが基礎。プロになる為のメンタル、技術を上げて夢を掴んでほしい。						
到達目標	個性豊かに踊れること。人を魅了する踊りをする。人間性を大切に出来る事。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	ピルエット、ピケ、シエネ応用、10x8振付	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
2	10月15日	講義・演習	ピルエット、ピケ、シエネ応用、10x8振付	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
3	10月22日	講義・演習	ピルエット、ピケ、シエネ応用、10x8振付	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
4	10月29日	講義・演習	クロスフロア応用、3人ずつ12x8振付	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
5	11月5日	講義・演習	クロスフロア応用、3人ずつ8x12振付	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
6	11月12日	講義・演習	クロスフロア応用、3人ずつ8x12振付	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
7	11月19日	講義・演習	自己PR強化、14x8振付	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
8	11月26日	講義・演習	自己PR強化、14x8振付	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
9	12月3日	講義・演習	自己PR強化、14x8振付	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
10	12月10日	講義・演習	表現力強化、クロスフロア応用、14x8振付	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
11	12月17日	講義・演習	表現力強化、クロスフロア応用、14x8振付	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
12	1月21日	講義・演習	表現力強化、クロスフロア応用、14x8振付	レポート(見学の場合)学んだ事、自分に活かすことなど
13	2月4日	講義・演習	イベント実践を通して振付制作を学ぶ	今学期の振り返り
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して振付制作を学ぶ	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通して振付制作を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Girls Hiphop (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	新井杏子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンスインストラクター歴27年□						
授業の学習 内容	Girls HiphopにHiphop,R&B,Reggae,J-pop,K-popなど様々なジャンルの要素をとりいれて学び、 昨今のジャンルレス、ジェンダーレスなコレオグラフィーに対応できる技術を学び、感性を磨く。						
到達目標	ダンサーとしての必要不可欠なエクササイズ、アイソレーション、グルーヴ、ウォーキング、ポージングなど基礎を身に付け、 実際に振り付けを踊り表現力を身に付ける。□						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	授業内容の把握、ウォーミングアップ□	
2	4月25日	講義・演習	アイソレーションの理解、体幹トレーニング 基礎の動きを使った振り付け□	ストレッチの流れを復習
3	5月9日	講義・演習	しなやかな動きの理解、アイソレーション、課題曲振り付け	アイソレーションの復習
4	5月16日	講義・演習	腰の動き、グルーヴ感を養う、課題曲振り付け続き	前回の振り付け復習
5	5月23日	講義・演習	グルーヴ感、パワフルさを活かし課題曲振り付けを完成させる	次回課題曲を聞いておく
6	5月30日	講義・演習	視線の使い方を理解し表現力を身に付ける 振り付けを覚える	振り付けの復習をしておく
7	6月6日	講義・演習	上半身の強化 J-popで踊り、歌詞に沿った表現力を身に付ける	振り付けの復習をしておく
8	6月13日	講義・演習	下半身の強化 前回の振り付け確認、さらに振り付けを覚える	振り付けの復習をしておく
9	6月20日	講義・演習	前回の振り付けに表現力をつけ自分らしさをひきだす	課題曲を聞いておく
10	7月4日	講義・演習	テストの課題曲の振り付けを覚える	振り付けの復習をしておく
11	7月11日	講義・演習	テスト	後期への課題を自分で考える
12	7月18日	講義・演習	テスト振り返り	後期へむけて復習
13	8月22日	講義・演習	前期で学んだことを活かして踊り込む	
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Girls Hiphop (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	新井杏子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンスインストラクター歴27年□						
授業の学習 内容	Girls HiphopにHiphop,R&B,Reggae,J-pop,K-popなど様々なジャンルの要素をとりいれて学び、 昨今のジャンルレス、ジェンダーレスなコレオグラフィーに対応できる技術を学び、感性を磨く。						
到達目標	ダンサーとしての必要不可欠なエクササイズ、アイソレーション、グルーヴ、ウォーキング、ポージングなど基礎を身に付け、実際に振り付けを踊り表現力を身に付ける。□						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	リズム、ニュアンスなある動きを理解する	体幹を鍛えておく
2	10月17日	講義・演習	グルーヴ、アイソレーションの確認 課題曲の振り付け	前回の復習をしておく
3	10月24日	講義・演習	アイソレーション、ウォーキング 課題曲の振り付け続き	前回の振り付けを復習しておく
4	10月31日	講義・演習	課題曲の理解を深め、表現力をつけ踊る	前回の振り付けを復習しておく
5	11月7日	講義・演習	振り付けにフォーメーションをつけて踊る	前回の振り付けを復習しておく
6	11月14日	講義・演習	ヒールでウォーキングができる	課題曲を聞いておく
7	11月21日	講義・演習	ヒールを履いて振り付けを踊る	前回の振り付けを復習しておく
8	11月28日	講義・演習	椅子を使った振り付けを理解する	前回の振り付けを復習しておく
9	12月5日	講義・演習	椅子を使った振り付けに表現力をつける	前回の振り付けを復習しておく
10	12月12日	講義・演習	テストの課題曲の振り付けを覚える	課題曲を聞いておく
11	12月19日	講義・演習	テスト	自分なりの課題を立てておく
12	1月16日	講義・演習	テスト振り返り	自分で立てた課題を復習しておく
13	1月23日	講義・演習	後期学んだことを活かして踊り込む	
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してHiphopを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Voice Training A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 藤田統子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	HIPHOP R&Bユニット「SoFly」のボーカルとして2005年にメジャーデビュー。アーティスト/ボーカリストとして活動する傍ら、ボイトレーナー(2006年～)としても活動中。					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱トレーニングメインで進める。</li> <li>・どんな状況においても本来の自分の力を発揮できるようなメンタルを身につけられるようにマインドセットもやる。</li> <li>・オーディションやライブでのパフォーマンス力を上げ、デビューへ近づぐための実践型トレーニング。</li> <li>・表現者として生きていく上での基礎的な知識と体力を身につける。</li> </ul>					
到達目標	<p>他人と比べず、自分の声・自分の歌を見つけ、それを言葉で説明、実技で表現できるようにすること。 ダンスと歌を共存させるために必要な力(表現力・パフォーマンス力・実行力)、 そして表現者としての振る舞い方や心と体のバランス感覚・考え方などを身につける。</p>					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	課題曲①-1 【課題】表現とダイナミックさについて学ぶ。	授業内容の復習・自主トレ
2	5月7日	講義・演習	課題曲①-2 【課題】表現とダイナミックさについて学ぶ。	授業内容の復習・自主トレ
3	5月14日	講義・演習	課題曲①-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
4	5月21日	講義・演習	課題曲① 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
5	5月28日	講義・演習	課題曲②-1 【課題】ロングトーンとプレスを再現する。	授業内容の復習・自主トレ
6	6月4日	講義・演習	課題曲②-2 【課題】ロングトーンとプレスを再現する。	授業内容の復習・自主トレ
7	6月11日	講義・演習	課題曲②-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
8	6月18日	講義・演習	課題曲② 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
9	6月25日	講義・演習	課題曲③-1 【課題】滑舌とリズムを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
10	7月2日	講義・演習	課題曲③-2 【課題】滑舌とリズムを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
11	7月9日	講義・演習	課題曲③-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
12	7月16日	講義・演習	課題曲③ 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
13	8月27日	講義・演習	個人カウンセリング。	授業内容の復習・自主トレ
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ。	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			進行具合によって課題が変わるので、必ず授業後には復習と自主練を行うことが必要。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Voice Training A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 藤田統子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	HIPHOP R&Bユニット「SoFly」のボーカルとして2005年にメジャーデビュー。アーティスト/ボーカリストとして活動する傍ら、ボイトレーナー(2006年～)としても活動中。					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱トレーニングメインで進める。</li> <li>・どんな状況においても本来の自分の力を発揮できるようなメンタルを身につけられるようにマインドセットもやる。</li> <li>・オーディションやライブでのパフォーマンス力を上げ、デビューへ近づくための実践型トレーニング。</li> <li>・表現者として生きていく上での基礎的な知識と体力を身につける。</li> </ul>					
到達目標	他人と比べず、自分の声・自分の歌を見つけ、それを言葉で説明、実技で表現できるようにすること。 ダンスと歌を共存させるために必要な力(表現力・パフォーマンス力・実行力)、 そして表現者としての振る舞い方や心と体のバランス感覚・考え方を身につける。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	課題曲④-1 【課題】ハモリを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
2	10月15日	講義・演習	課題曲④-2 【課題】ハモリを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
3	10月22日	講義・演習	課題曲課題曲④-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及び びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
4	10月29日	講義・演習	課題曲④ 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
5	11月5日	講義・演習	課題曲⑤-1(洋楽) 【課題】洋楽についての学習(英語の発音)。	授業内容の復習・自主トレ
6	11月12日	講義・演習	課題曲⑤-2(洋楽) 【課題】洋楽についての学習(英語の発音)。	授業内容の復習・自主トレ
7	11月19日	講義・演習	課題曲課題曲⑤-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及び びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
8	11月26日	講義・演習	課題曲⑤ 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
9	12月3日	講義・演習	課題曲⑥-1 【課題】二年間の総まとめ。	授業内容の復習・自主トレ
10	12月10日	講義・演習	課題曲⑥-2 【課題】二年間の総まとめ。	授業内容の復習・自主トレ
11	12月17日	講義・演習	課題曲課題曲⑥-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及び びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
12	1月21日	講義・演習	課題曲⑥ 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
13	2月4日	講義・演習	個人カウンセリング。	授業内容の復習・自主トレ
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ。	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			進行具合によって課題が変わるので、必ず授業後には復習と自主練を行うことが必要。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Voice Training B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 藤田統子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	HIPHOP R&Bユニット「SoFly」のボーカルとして2005年にメジャーデビュー。アーティスト/ボーカリストとして活動する傍ら、ボイトレーナー(2006年～)としても活動中。					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱トレーニングメインで進める。</li> <li>・どんな状況においても本来の自分の力を発揮できるようなメンタルを身につけられるようにマインドセットもやる。</li> <li>・オーディションやライブでのパフォーマンス力を上げ、デビューへ近づぐための実践型トレーニング。</li> <li>・表現者として生きていく上での基礎的な知識と体力を身につける。</li> </ul>					
到達目標	<p>他人と比べず、自分の声・自分の歌を見つけ、それを言葉で説明、実技で表現できるようにすること。 ダンスと歌を共存させるために必要な力(表現力・パフォーマンス力・実行力)、 そして表現者としての振る舞い方や心と体のバランス感覚・考え方などを身につける。</p>					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	課題曲①-1 【課題】表現とダイナミックさについて学ぶ。	授業内容の復習・自主トレ
2	5月7日	講義・演習	課題曲①-2 【課題】表現とダイナミックさについて学ぶ。	授業内容の復習・自主トレ
3	5月14日	講義・演習	課題曲①-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
4	5月21日	講義・演習	課題曲① 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
5	5月28日	講義・演習	課題曲②-1 【課題】ロングトーンとプレスを再現する。	授業内容の復習・自主トレ
6	6月4日	講義・演習	課題曲②-2 【課題】ロングトーンとプレスを再現する。	授業内容の復習・自主トレ
7	6月11日	講義・演習	課題曲②-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
8	6月18日	講義・演習	課題曲② 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
9	6月25日	講義・演習	課題曲③-1 【課題】滑舌とリズムを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
10	7月2日	講義・演習	課題曲③-2 【課題】滑舌とリズムを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
11	7月9日	講義・演習	課題曲③-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
12	7月16日	講義・演習	課題曲③ 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
13	8月27日	講義・演習	個人カウンセリング。	授業内容の復習・自主トレ
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ。	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			進行具合によって課題が変わるので、必ず授業後には復習と自主練を行うことが必要。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Voice Training B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 藤田統子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	HIPHOP R&Bユニット「SoFly」のボーカルとして2005年にメジャーデビュー。アーティスト/ボーカリストとして活動する傍ら、ボイトレーナー(2006年～)としても活動中。					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱トレーニングメインで進める。</li> <li>・どんな状況においても本来の自分の力を発揮できるようなメンタルを身につけられるようにマインドセットもやる。</li> <li>・オーディションやライブでのパフォーマンス力を上げ、デビューへ近づくための実践型トレーニング。</li> <li>・表現者として生きていく上での基礎的な知識と体力を身につける。</li> </ul>					
到達目標	他人と比べず、自分の声・自分の歌を見つけ、それを言葉で説明、実技で表現できるようにすること。 ダンスと歌を共存させるために必要な力(表現力・パフォーマンス力・実行力)、 そして表現者としての振る舞い方や心と体のバランス感覚・考え方を身につける。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	課題曲④-1 【課題】ハモリを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
2	10月15日	講義・演習	課題曲④-2 【課題】ハモリを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
3	10月22日	講義・演習	課題曲課題曲④-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及び びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
4	10月29日	講義・演習	課題曲④ 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
5	11月5日	講義・演習	課題曲⑤-1(洋楽) 【課題】洋楽についての学習(英語の発音)。	授業内容の復習・自主トレ
6	11月12日	講義・演習	課題曲⑤-2(洋楽) 【課題】洋楽についての学習(英語の発音)。	授業内容の復習・自主トレ
7	11月19日	講義・演習	課題曲課題曲⑤-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及び びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
8	11月26日	講義・演習	課題曲⑤ 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
9	12月3日	講義・演習	課題曲⑥-1 【課題】二年間の総まとめ。	授業内容の復習・自主トレ
10	12月10日	講義・演習	課題曲⑥-2 【課題】二年間の総まとめ。	授業内容の復習・自主トレ
11	12月17日	講義・演習	課題曲課題曲⑥-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及び びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
12	1月21日	講義・演習	課題曲⑥ 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
13	2月4日	講義・演習	個人カウンセリング。	授業内容の復習・自主トレ
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ。	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			進行具合によって課題が変わるので、必ず授業後には復習と自主練を行うことが必要。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Voice Training C(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 藤田統子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	HIPHOP R&Bユニット「SoFly」のボーカルとして2005年にメジャーデビュー。アーティスト/ボーカリストとして活動する傍ら、ボイトレーナー(2006年～)としても活動中。					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱トレーニングメインで進める。</li> <li>・どんな状況においても本来の自分の力を発揮できるようなメンタルを身につけられるようにマインドセットもやる。</li> <li>・オーディションやライブでのパフォーマンス力を上げ、デビューへ近づぐための実践型トレーニング。</li> <li>・表現者として生きていく上での基礎的な知識と体力を身につける。</li> </ul>					
到達目標	他人と比べず、自分の声・自分の歌を見つけ、それを言葉で説明、実技で表現できるようにすること。 ダンスと歌を共存させるために必要な力(表現力・パフォーマンス力・実行力)、 そして表現者としての振る舞い方や心と体のバランス感覚・考え方を身につける。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	課題曲①-1 【課題】表現とダイナミックさについて学ぶ。	授業内容の復習・自主トレ
2	5月7日	講義・演習	課題曲①-2 【課題】表現とダイナミックさについて学ぶ。	授業内容の復習・自主トレ
3	5月14日	講義・演習	課題曲①-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
4	5月21日	講義・演習	課題曲① 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
5	5月28日	講義・演習	課題曲②-1 【課題】ロングトーンとプレスを再現する。	授業内容の復習・自主トレ
6	6月4日	講義・演習	課題曲②-2 【課題】ロングトーンとプレスを再現する。	授業内容の復習・自主トレ
7	6月11日	講義・演習	課題曲②-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
8	6月18日	講義・演習	課題曲② 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
9	6月25日	講義・演習	課題曲③-1 【課題】滑舌とリズムを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
10	7月2日	講義・演習	課題曲③-2 【課題】滑舌とリズムを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
11	7月9日	講義・演習	課題曲③-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
12	7月16日	講義・演習	課題曲③ 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
13	8月27日	講義・演習	個人カウンセリング。	授業内容の復習・自主トレ
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ。	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			進行具合によって課題が変わるので、必ず授業後には復習と自主練を行うことが必要。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Voice Training C(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 藤田統子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	HIPHOP R&Bユニット「SoFly」のボーカルとして2005年にメジャーデビュー。アーティスト/ボーカリストとして活動する傍ら、ボイトレーナー(2006年～)としても活動中。					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱トレーニングメインで進める。</li> <li>・どんな状況においても本来の自分の力を発揮できるようなメンタルを身につけられるようにマインドセットもやる。</li> <li>・オーディションやライブでのパフォーマンス力を上げ、デビューへ近づくための実践型トレーニング。</li> <li>・表現者として生きていく上での基礎的な知識と体力を身につける。</li> </ul>					
到達目標	<p>他人と比べず、自分の声・自分の歌を見つけ、それを言葉で説明、実技で表現できるようにすること。 ダンスと歌を共存させるために必要な力(表現力・パフォーマンス力・実行力)、 そして表現者としての振る舞い方や心と体のバランス感覚・考え方を身につける。</p>					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	課題曲④-1 【課題】ハモリを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
2	10月15日	講義・演習	課題曲④-2 【課題】ハモリを理解・表現する。	授業内容の復習・自主トレ
3	10月22日	講義・演習	課題曲課題曲④-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及び びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
4	10月29日	講義・演習	課題曲④ 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
5	11月5日	講義・演習	課題曲⑤-1(洋楽) 【課題】洋楽についての学習(英語の発音)。	授業内容の復習・自主トレ
6	11月12日	講義・演習	課題曲⑤-2(洋楽) 【課題】洋楽についての学習(英語の発音)。	授業内容の復習・自主トレ
7	11月19日	講義・演習	課題曲課題曲⑤-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及び びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
8	11月26日	講義・演習	課題曲⑤ 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
9	12月3日	講義・演習	課題曲⑥-1 【課題】二年間の総まとめ。	授業内容の復習・自主トレ
10	12月10日	講義・演習	課題曲⑥-2 【課題】二年間の総まとめ。	授業内容の復習・自主トレ
11	12月17日	講義・演習	課題曲課題曲⑥-3 定期発表の練習・各々自由に練習、講師への質疑応答及び びレッスン時間として設ける。	授業内容の復習・自主トレ
12	1月21日	講義・演習	課題曲⑥ 定期発表。	授業内容の復習・自主トレ
13	2月4日	講義・演習	個人カウンセリング。	授業内容の復習・自主トレ
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ。	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			進行具合によって課題が変わるので、必ず授業後には復習と自主練を行うことが必要。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Advanced Voice A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	潤豊
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習 内容	ボイストレーニングおよび歌唱指導						
到達目標	ボイストレーニング、および歌唱における基礎の向上						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	自己紹介、目標の確認、発声メソッドの説明、指導	発声練習及び課題曲練習
2	4月24日	講義・演習	外化、姿勢呼吸、イーストレッチレクチャー、歌唱指導	発声練習及び課題曲練習
3	5月8日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱指導	発声練習及び課題曲練習
4	5月15日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	5月22日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	5月29日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	6月5日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	6月12日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	6月19日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	7月3日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	7月10日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
12	7月17日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
13	8月21日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Advanced Voice A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	潤豊
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習 内容	ボイストレーニングおよび歌唱指導						
到達目標	ボイストレーニング、および歌唱における基礎、パフォーマンス力の向上						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
2	10月16日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
3	10月23日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
4	10月30日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	11月6日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	11月13日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	11月20日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	11月27日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	12月4日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	12月11日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	12月18日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
12	1月15日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
13	1月22日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ	ワークシート提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Advanced Voice B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	吉田華奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして、Dreams come true、湘南乃風、福原みほ、今市隆二、小柳ゆき等のレコーディングやコーラスに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習 内容	ボイストレーニングおよび歌唱指導						
到達目標	ボイストレーニング、および歌唱における基礎の向上						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	自己紹介、目標の確認、発声メソッドの説明、指導	発声練習及び課題曲練習
2	4月24日	講義・演習	外化、姿勢呼吸、イーストレッチレクチャー、歌唱指導	発声練習及び課題曲練習
3	5月8日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱指導	発声練習及び課題曲練習
4	5月15日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	5月22日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	5月29日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	6月5日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	6月12日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	6月19日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	7月3日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	7月10日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
12	7月17日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
13	8月21日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Advanced Voice B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	吉田華奈
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして、Dreams come true、湘南乃風、福原みほ、今市隆二、小柳ゆき等のレコーディングやコーラスに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習 内容	ボイストレーニングおよび歌唱指導						
到達目標	ボイストレーニング、および歌唱における基礎、パフォーマンス力の向上						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
2	10月16日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
3	10月23日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
4	10月30日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	11月6日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	11月13日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	11月20日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	11月27日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	12月4日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	12月11日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	12月18日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
12	1月15日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
13	1月22日	講義・演習	外化、発声指導、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ	ワークシート提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して歌唱を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP VT(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	潤豊 ・ キムゴンヒョ ン
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習 内容	韓国語発音の正確さを極める。歌唱の基礎、リズム、音程の正確な取り方						
到達目標	K-POPシンガーに必要な心構えを兼ね備えたアーティストの育成						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	自己紹介、プレゼン	
2	4月21日	講義・演習	基本の発生、腹式呼吸	前週の復習、自主練習
3	5月12日	講義・演習	K-POPの課題曲の決定	前週の復習、自主練習
4	5月19日	講義・演習	パート分け	前週の復習、自主練習
5	5月26日	講義・演習	パート分けのハーモニーの練習	前週の復習、自主練習
6	6月2日	講義・演習	パート分けのハーモニーの練習②	前週の復習、自主練習
7	6月9日	講義・演習	パート分けのハーモニーの練習③	前週の復習、自主練習
8	6月16日	講義・演習	別の課題曲決めスタート	前週の復習、自主練習
9	6月23日	講義・演習	パート分けのハーモニーの練習	前週の復習、自主練習
10	6月30日	講義・演習	パート分けのハーモニーの練習②	前週の復習、自主練習
11	7月7日	講義・演習	パート分けのハーモニーの練習③	前週の復習、自主練習
12	7月14日	講義・演習	課題曲のテスト	前週の復習、自主練習
13	8月25日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	今学期の振り返り
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP VT(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	潤豊 ・ キムゴンヒョ ン
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。						
授業の学習 内容	韓国語発音の正確さを極める。歌唱の基礎、リズム、音程の正確な取り方						
到達目標	K-POPシンガーに必要な心構えを兼ね備えたアーティストの育成						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	前期の復習・歌に臨むマインドを考える	
2	10月13日	講義・演習	マイクの使い方	前週の復習、自主練習
3	10月20日	講義・演習	KPOPダンスと歌の課題、グループ・パート決め	前週の復習、自主練習
4	10月27日	講義・演習	KPOPダンスと歌の課題、練習	前週の復習、自主練習
5	11月3日	講義・演習	KPOPダンスと歌の課題、練習②	前週の復習、自主練習
6	11月10日	講義・演習	KPOPダンスと歌の課題、練習③	前週の復習、自主練習
7	11月17日	講義・演習	新しい曲・スタイルの考察	前週の復習、自主練習
8	11月24日	講義・演習	新課題曲選び、グループ決め、練習	前週の復習、自主練習
9	12月1日	講義・演習	新課題曲、練習②	前週の復習、自主練習
10	12月8日	講義・演習	新課題曲、練習③	前週の復習、自主練習
11	12月15日	講義・演習	新課題曲、練習④	前週の復習、自主練習
12	1月19日	講義・演習	グループでテスト	前週の復習、自主練習
13	2月2日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	今学期の振り返り
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Acrobat(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	東山悠司
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アクロバット指導歴 STUDIO ARTRIZ(13年)・STUDIO VICEO、BOX ACADEMY(5年)・ENERGY DANCE STUDIO(4年)・SPACE N(3年)・他ワークショップ等(16年)						
授業の学習 内容	①特殊技能であるアクロバットを習得するのが目的。 ②アクロバット習得に必要な基礎トレーニングを重ねることによって、身体能力の向上が期待出来るので、他のダンスや実技クラスにも活かせる。 ③技の習得やアクロバット技術への理解を深めることにより、パフォーマンスの幅を広げる。 ④主に前方系・後方系・側方系の基礎的なマット運動。補助倒立。筋カトレーニング・柔軟。						
到達目標	男子も女子も綺麗なロンダートを目指とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	授業内容、注意事項の説明 基礎練習	ネット上でアクロバットの歴史と文化を調査
2	4月24日	講義・演習	基礎練習 前方系・後方系・側方系 ブリッジ・倒立	動画を撮影し、自身の柔軟性・筋力を分析
3	5月8日	講義・演習	基礎練習 前方系・後方系・側方系 ブリッジ・倒立	体幹トレーニング
4	5月15日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを説明～補助付きで練習	ネット上で参考動画の検索・閲覧
5	5月22日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを補助付きで練習	動画を撮影し、自己分析
6	5月29日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを補助付きで練習	体幹トレーニング
7	6月5日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを補助無しでの練習	動画を撮影し、自己分析
8	6月12日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを補助無しでの練習	体幹トレーニング
9	6月19日	講義・演習	基礎練習 ロンダートを補助無しでの練習	体幹トレーニング
10	7月3日	講義・演習	基礎練習 ロンダートの実践	動画を撮影し、自己分析
11	7月10日	講義・演習	基礎練習 ロンダートの実践	動画を撮影し、自己分析
12	7月17日	講義・演習	基礎練習 ロンダートの実践	動画を撮影し、自己分析
13	8月21日	講義・演習	イベント実践を通して筋力・柔軟性の必要性を学ぶ	レポートの提出
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してアクロバットを学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してアクロバットを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			自宅や狭い場所でも可能な体幹トレーニング数種	
【使用教科書・教材・参考書】				
マット各種				

科目名	Acrobat(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	東山悠司
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アクロバット指導歴 STUDIO ARTRIZ(13年)・STUDIO VICEO、BOX ACADEMY(5年)・ENERGY DANCE STUDIO(4年)・SPACE N(3年)・他ワークショップ等(16年)						
授業の学習 内容	①具体的に自身で選んだ高難度の技を習得し、補助無しの実践。パフォーマンスの印象付けになる。 ②アクロバット習得に必要な基礎トレーニングを重ねることによって、身体能力の向上が期待出来るので、他のダンスや実技クラスにも活かせる。 ③技が成功した時の達成感や、一つの難しいことにも繰り返し挑戦する意義を実感させる。 ④主に前方系・後方系・側方系の高難度のマット運動。倒立静止。筋力トレーニング・柔軟。タンブリング(連続技)。カポエイラやトリッキングなどの動きを取り入れた練習も行う。						
到達目標	男子も女子も二つ以上のタンブリング(連続技)を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	後期の方向性の説明 基礎練習	各自目標とする難度技の設定
2	10月16日	講義・演習	基礎練習 前方系・後方系・側方系 ブリッジ・倒立	動画を撮影し、自身の柔軟性・筋力を分析
3	10月23日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハndsプリングを補助付きで練習	動画を撮影し、自己分析
4	10月30日	講義・演習	基礎練習 バック転・ハndsプリングを補助無しで実践	動画を撮影し、自己分析
5	11月6日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技を補助付きで練習	動画を撮影し、自己分析
6	11月13日	講義・演習	基礎練習 宙返り系の技を補助無しで練習	動画を撮影し、自己分析
7	11月20日	講義・演習	基礎練習 カポエイラやトリッキング等の説明～体験	ネット上で参考動画の検索・閲覧
8	11月27日	講義・演習	基礎練習 カポエイラやトリッキング等の練習	動画を撮影し、自己分析
9	12月4日	講義・演習	基礎練習 カポエイラやトリッキング等の練習	体幹トレーニング
10	12月11日	講義・演習	基礎練習 カポエイラやトリッキング等の練習	体幹トレーニング
11	12月18日	講義・演習	基礎練習 タンブリングの説明～補助付きで体験	ネット上で参考動画の検索・閲覧
12	1月15日	講義・演習	基礎練習 タンブリングの練習・実践	動画を撮影し、自己分析
13	1月22日	講義・演習	後期のまとめ	
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してアクロバットを学ぶ	ワークシート提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してアクロバットを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			自宅や狭い場所でも可能な体幹トレーニング数種	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Break(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	東山悠司
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ブレイクダンス指導歴 STUDIO ARTRIZ(13年)・ZEAL町田(10年)・WINWIN, WANNA DANNCE STUDIO, SUNNY SPOT(5年)・他ワークショップ等(21年)						
授業の学習 内容	①ブレイクダンスの要素を細分化し基礎から習得する中で、非日常的な姿勢で静止したり、全身を使って立体的に回転したり、パフォーマンスの中で特に人の目を惹きつける技を体得していく。 ②ストリートダンス全般に関連し、歴史的背景もあり1対1でのバトル等、競い合う精神が一番高いジャンル。 ③他ジャンルでは得にくい基礎体力・筋力・バランス感覚等を養う。 ④レッスン順序 柔軟→筋力トレーニング→フリーズ各種→振り付けまたは技の練習→バトルまたはセッション。						
到達目標	ストレッチで柔軟性を養い関節の可動域を広げ、可能な技の範囲を拡大する。筋力トレーニングで特に上半身の筋力を養い、脚が床に着かない色々な体勢で支持出来る体作りを行う。倒立が基礎になる技を多用するので、倒立が自立で可能になる為のトレーニングを段階的に行う。名前の付いている基礎となるステップを覚え、反復練習する。ブレイクダンスの歴史と、今も残る特有の文化を学習する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	ブレイクダンスの歴史と文化の説明	ネット上でブレイクダンスの歴史と文化を調査
2	4月24日	講義・演習	日本でのブレイクダンスシーン解説	日本人有名ダンサーを検索・把握
3	5月8日	講義・演習	ネットでの学習の仕方や検索用語の説明	教わった用語を使用し、ネットにて調査
4	5月15日	講義・演習	柔軟・筋トレ・フリーズ各種の習得	ネットでの動画閲覧
5	5月22日	講義・演習	柔軟・筋トレ・フリーズ各種の実践	動画を撮影し、自身の柔軟性・筋力を分析
6	5月29日	講義・演習	柔軟・筋トレ・フリーズ各種の自己分析	動画を撮影し、自身のフリーズの形を分析
7	6月5日	講義・演習	倒立・ステップ数種の習得	動画を撮影し、自身の倒立を分析
8	6月12日	講義・演習	倒立・ステップ数種の実践	動画を撮影し、自身のステップを分析
9	6月19日	講義・演習	倒立・ステップ数種の自己分析	この時点での自身の能力に合った技術を選定
10	7月3日	講義・演習	振り付け・セッションの練習	動画を撮影し、自己分析
11	7月10日	講義・演習	振り付け・セッションの実践	動画を撮影し、見直し
12	7月17日	講義・演習	振り付け・バトルの練習・実践	動画を撮影し、自己分析
13	8月21日	講義・演習	イベント実践を通して文化と精神面、様々な技術を学ぶ	レポートの提出
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してブレイクダンスを学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してブレイクダンスを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			ネットを使用し、検索や調査・動画サイトで初心者～上級者まで閲覧	
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ・タオル・ソフトマット1枚				

科目名	Break(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	東山悠司
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ブレイクダンス指導歴 STUDIO ARTRIZ(13年)・ZEAL町田(10年)・WINWIN, WANNA DANNCE STUDIO, SUNNY SPOT(5年)・他ワークショップ等(21年)						
授業の学習 内容	①群舞でのパフォーマンスと区別し、一人で踊る事への意義を実感してもらう。 ②ストリートダンス全般に関連し、歴史的背景もあり1対1でのバトル等、競い合う精神が一番高いジャンル。 ③難易度の高い技の習得に向かい、出来た時の達成感を感じる事で、途中で屈しない精神を養う。 ④バトルを通じて、競争心・コミュニケーション・相手への尊重等の育成を図る。						
到達目標	前期で培われた柔軟性・筋力・覚えたステップを基礎とし、1人で踊る為の振り付けを自分で組み立てる。バトルを想定し、鏡では無く、対戦相手にエネルギーを向けて踊る訓練をする。振り付けとは別で、即興性やミスした際にリカバリーする能力を高める。1対1またはチーム分けをし、ダンスバトルを実践する。バトルのモチベーションとは別で、円になりお互いを尊重しながら見せ合うだけのセッションを行う。大技の習得。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	高難度の柔軟・筋トレの解説 ステップ数種	各自目標とする難度技の設定
2	10月16日	講義・演習	高難度の柔軟・筋トレの練習 ステップ数種	ネットや動画サイトを調べ、難度技の理論を分析
3	10月23日	講義・演習	高難度の柔軟・筋トレの実践 振り付け	自身の柔軟度・筋力を動画撮影し分析
4	10月30日	講義・演習	高難度の倒立の解説 ステップ数種	倒立に関する記事や動画をネットで閲覧
5	11月6日	講義・演習	高難度の倒立の練習 ステップ数種	動画を撮影し分析
6	11月13日	講義・演習	高難度の倒立の実践 振り付け	高難度の倒立の反復練習
7	11月20日	講義・演習	高難度のフリーズ各種の練習 ステップ数種	フリーズに関する記事や動画をネットで閲覧
8	11月27日	講義・演習	高難度のフリーズ各種の実践 振り付け	高難度のフリーズの反復練習
9	12月4日	講義・演習	即興・リカバリーの解説・練習	即興・リカバリーに関する記事や動画をネットで閲覧
10	12月11日	講義・演習	即興・リカバリーの実践	動画を撮影し分析
11	12月18日	講義・演習	バトルの解説、実践	自身の振り付けを事前に構想
12	1月15日	講義・演習	チーム分けバトルまたは1対1のバトル	実践動画を分析し、見直し・考察
13	1月22日	講義・演習	イベント実践を通して文化と精神面、様々な技術を学ぶ	レポートの提出
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してブレイクダンスを学ぶ	ワークシート提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してブレイクダンスを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			授業内で行った内容の反復練習・動画の自己撮影	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	LA Style(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	相馬伊織
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アメリカ・ロサンゼルスでダンサーとして活動、WS、MV等出演						
授業の学習 内容	①日本にいても海外のスタイルを学べるため ②他のダンスにも応用できる技術を身に付ける ③世界でも活躍できるダンサー ④ストレッチ、アイソレーション、振り付けを通し、身体作りスキルの向上						
到達目標	基礎を学び、個々のダンススタイルを確立する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	身体作り	筋カトレーニング
2	4月24日	講義・演習	ストレッチ	自分の体の特徴を知る
3	5月8日	講義・演習	アイソレーション	アイソレーションの復習
4	5月15日	講義・演習	ストレッチ、アイソレーションの応用	応用の復習
5	5月22日	講義・演習	コンビネーション	コンビネーション復習
6	5月29日	講義・演習	カウントの取り方	授業内容の復習
7	6月5日	講義・演習	音の取り方、感じ方	曲を聞いて音とカウントを意識する
8	6月12日	講義・演習	身体の使い方	アイソレーションを意識する
9	6月19日	講義・演習	音を取り入れた身体の使い方	音によって異なる身体の使い方を考える
10	7月3日	講義・演習	重心、シルエットの運び方	自分の体と向き合い自分の癖を考える
11	7月10日	講義・演習	振り付けと音の結びつき	洋楽の音・歌詞の意味を考える
12	7月17日	講義・演習	力の強弱と振り付けの緩急	自分の個性に合わせた魅せ方を知る
13	8月21日	講義・演習	テスト	これまでの授業の復習・今後の課題を見据える
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してLAの身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してLAの身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習		授業内容の反復練習、授業で扱った洋楽の英語の意味を調べ日頃からの英語学習を心得る。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	LA Style(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	相馬伊織
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	アメリカ・ロサンゼルスでダンサーとして活動、WS、MV等出演						
授業の学習 内容	①日本にいても海外のスタイルを学べるため ②他のダンスにも応用できる技術を身に付ける ③世界でも活躍できるダンサー ④ストレッチ、アイソレーション、振り付けを通し、身体作りスキルの向上						
到達目標	海外でも通用するマインド&ダンススキルの獲得						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	前期の復習、後期の目標設定	自分のなりたいダンサー像を設定する
2	10月16日	講義・演習	自分のスタイルと向き合い長所を振り下げる	独自のダンススタイルを伸ばす意識をする
3	10月23日	講義・演習	日本とアメリカのダンス業界の差異について	視野を広げて今の自分の課題を見つける
4	10月30日	講義・演習	自分のスタイルを用いてフリーで踊る	音や歌詞に合わせて踊る意識を身体に染み込ませる
5	11月6日	講義・演習	アメリカにおけるダンスへのマインドについて	ソロでも自分を魅せられる力を身に付ける
6	11月13日	講義・演習	ひとりひとりソロで魅せるダンス	自分の個性と向き合い自分の課題を見つめる
7	11月20日	講義・演習	振り付けを作る際の音の取り方	独自の音の取り方を身に付ける
8	11月27日	講義・演習	洋楽の歌詞の意味を理解した上で踊る	これまでの英語学習をアウトプットする
9	12月4日	講義・演習	授業で扱った振り付けを取り入れ自分のスタイルにする	誰にも寄せず、振り付けを自分のものにする意識をする
10	12月11日	講義・演習	フリースタイルで振り付け制作して発表	これまでに得た自分のスタイルで振り付けを制作
11	12月18日	講義・演習	ステージレオグラフィー①	舞台やステージ上での個性の発揮を目指す
12	1月15日	講義・演習	ステージレオグラフィー②	舞台やステージ上での個性の発揮を目指す
13	1月22日	講義・演習	テスト	これまでの授業の復習・今後の課題を見据える
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してLAの身体表現を学ぶ	ワークシート提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してLAの身体表現を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習		授業内容の反復練習、授業で扱った洋楽の英語の意味を調べ日頃からの英語学習を心得る。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	House(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鳥居勇
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンススタジオインストラクター、イベント出演、アーティスト振付						
授業の学習 内容	他ジャンルと比べ特にステップに特化している為、リズムと身体の軸を正しく捉えることで、より幅広く自身の踊りを表現することができるようになる。基礎を反復し、きちんとした下地を作り、表面だけのステップにならないよう授業を進めていきます。授業後半ではフリーで踊る練習もしていきます。						
到達目標	授業で習得したステップを使いフリーで踊れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	リズムの取り方、身体の弾ませ方の説明、ピックアップステップ「バドブレ」	基本リズムの復習を各自
2	4月21日	講義・演習	基本ステップ反復、ピックアップステップ「2ステップ、ルースレグ」	ルースレグ 振付復習
3	5月12日	講義・演習	基本ステップ反復、ピックアップステップ「ヒールトゥ」	ヒールトゥ 振付復習
4	5月19日	講義・演習	基本ステップ反復、ピックアップステップ「ツイストを使ったステップ」	ツイスト 振付復習
5	5月26日	講義・演習	基本ステップ反復、ピックアップステップ「膝抜き」	膝抜き 振付復習
6	6月2日	講義・演習	基本ステップ反復、ピックアップステップ「ファーマー」	ファーマー 振付復習
7	6月9日	講義・演習	基本ステップ反復、ピックアップステップ「クロスウォーク、シャッフル」	クロスウォーク、シャッフル 振付復習
8	6月16日	講義・演習	基本ステップ反復、フロアムーブ	振付復習
9	6月23日	講義・演習	基本ステップ反復、ピックアップ各ステップ復習	各ステップの細かい確認
10	6月30日	講義・演習	基本ステップ反復、前期の総合的なステップの振付を覚える	振付復習
11	7月7日	講義・演習	基本ステップ反復、前期の総合的なステップの振付続き	振付復習
12	7月14日	講義・演習	2週続けた振付での少人数ずつのテスト フリーのテスト	振付復習
13	8月25日	講義・演習	前期の総復習	各基本ステップの確認
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してHOUSEを学ぶ	ワークシート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してHOUSEを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	House(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鳥居勇
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンススタジオインストラクター、イベント出演、アーティスト振付						
授業の学習 内容	前期と同様、リズムの取り方と基本ステップを繰り返し練習し、HOUSEのノリの理解を更に深める。またフリーで踊る表現の幅を 広くできるように授業を進めていく。						
到達目標	起承転結を意識しフリーで踊る						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	リズムと弾み方の説明、基本ステップ説明・復習「バドブレ・応用」	振付復習
2	10月13日	講義・演習	基本ステップ「2ステップ・ルースレグ、表裏のリズム、腰の使い方」	腰の使い方 振付復習
3	10月20日	講義・演習	基本ステップ 前期後期ステップ復習①	ステップ復習
4	10月27日	講義・演習	基本ステップ 前期後期ステップ復習②	ステップ復習
5	11月3日	講義・演習	基本ステップ「スワル」	スワル 振付復習
6	11月10日	講義・演習	基本ステップ「スワル応用」	振付復習
7	11月17日	講義・演習	基本ステップ「ピーターポール」	ピーターポール 振付復習
8	11月24日	講義・演習	基本ステップ 3連ステップドルフィン	振付復習
9	12月1日	講義・演習	基本ステップ 総復習	基本ステップの練習
10	12月8日	講義・演習	基本ステップ 総復習・応用	ステップとステップを繋ぐ練習
11	12月15日	講義・演習	基本ステップ 総復習・応用	フリーで踊るイメージ具体化してみる
12	1月19日	講義・演習	基本ステップ 実技テスト用振付	ステップ復習
13	2月2日	講義・演習	基本ステップ テスト フリーテスト	振付復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してHOUSEを学ぶ	ワークシート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してHOUSEを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Pop(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	村上未来
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	チームでのショーやバトル、ナンバー出演、インストラクターなど多方面で活動						
授業の学習 内容	アイルから始まり様々な身体のコントロールの仕方を学び、技を身に着ける。振付(作る・踊る)、フリースタイルの練習。						
到達目標	身体の使い方を理解しコントロールしながらPOP特有の技を身に着け応用としてフリースタイルや自ジャンルに生かせるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	POPとは？筋力の使い方(腕・脚)	ヒット練習・筋トレ
2	4月21日	講義・演習	ヒットの打ち方②(首・手首)	ヒット練習・筋トレ
3	5月12日	講義・演習	ヒットの打ち方③(胸)/ウェーブ	ヒット練習・ウェーブ練習
4	5月19日	講義・演習	ハンドウィーブ/ボディーウェーブ	授業の復習
5	5月26日	講義・演習	リズムキープしながら踊る	授業の復習
6	6月2日	講義・演習	ウォークアウト/ステップの練習	授業の復習
7	6月9日	講義・演習	フレックスのバリエーション	授業の復習
8	6月16日	講義・演習	⑥⑦の復習と振付の練習	授業の復習
9	6月23日	講義・演習	リズムキープしながら踊るのタットの応用	授業の復習
10	6月30日	講義・演習	オールドマン(引っぱり)について	授業の復習
11	7月7日	講義・演習	①～⑪の復習を応用(フリー)	授業の復習
12	7月14日	講義・演習	テスト準備しチームで振付	振付の復習・考えてくる
13	8月25日	講義・演習	テスト	動画を見て振り返り
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してPopを学ぶ	ワークシート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してPopを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Pop(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	村上未来
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	チームでのショーやバトル、ナンバー出展、インストラクターなど多方面で活動						
授業の学習 内容	どのジャンルにも通ずる身体の使い方や音の取り方、POP 特有のスキルを習得し、自ジャンルに生かしながら踊りの幅を広げる。						
到達目標	ボディコントロールを正確にできるようになる事で、踊りに緩急、メリハリをつけられるようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ヒットの打ち方、仕組み	ヒット練習
2	10月13日	講義・演習	ヒットの打ち方②・ヒットとポップの使い分け	ヒット練習、使い分け復習
3	10月20日	講義・演習	スロー・ストップのコントロール	ヒット、ストップ練習
4	10月27日	講義・演習	ウェーブとリズム取り	ヒット、ウェーブ練習
5	11月3日	講義・演習	ウェーブ②、リズム取りと応用	ここまでの学習の復習
6	11月10日	講義・演習	1～5週目のまとめとルーティン	自分で振り付け作り
7	11月17日	講義・演習	ウォークアウトと下半身のコントロール	ヒット練習、ボディコントロール
8	11月24日	講義・演習	軸移動の仕方とバランスの取り方	ヒット練習、ボディコントロール
9	12月1日	講義・演習	音のアプローチと緩急バランス	ヒット練習、フリーの練習
10	12月8日	講義・演習	1～9の応用とフリーで動けるようにする	ヒット練習、フリーの練習
11	12月15日	講義・演習	グループでの振り付け、構成作り	ヒット練習、フリーの練習、振り付けの練習
12	1月19日	講義・演習	グループでの振り付け、構成作り②、テスト	ヒットの打ち方、仕組み
13	2月2日	講義・演習	イベント実践を通して身体表現を学ぶ	今学期の振り返り
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してPopを学ぶ	ワークシート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してPopを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	デビュー対策プロジェクト(3) Theme Park Project(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西川明宏
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	TSM卒業後2006年オリエンタルランド入社。関東大手テーマパークにて4年間ダンサーとして出演。その後フリーランスとして、キッズショーなど様々な舞台に立つ。現在はテーマパークの振付などでも活躍中。						
授業の学習内容	①ウォーミングアップからしっかり身体作りを行い、一人一人が自分と向き合って基礎力を向上させる。 ②テクニックを身につける上で、クロスフロアなど基礎から応用まで反復練習させる。 ③オーディション対策クラスとして、振り渡しから本番同様のイメージで行い、実践的な即戦力を養う。 ④様々なコンビネーションを通してブラッシュアップをする事で、次の授業のステップアップを目指す。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーディションを通過する為のテクニックや表現力を身に付けること。</li> <li>オーディション本番に向けての知識も身に付け、適した服装やメイク等の意識を高める。</li> <li>プロフェッショナルとして精神面・人間性を養い、様々な環境で活躍できる人材になる。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	基礎力や対応力のスキルチェック。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
2	4月21日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
3	5月12日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
4	5月19日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
5	5月26日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
6	6月2日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
7	6月9日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
8	6月16日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
9	6月23日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
10	6月30日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
11	7月7日	講義・演習	テスト。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
12	7月14日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
13	8月25日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してテーマパークダンサーを学ぶ。	ワークシート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してテーマパークダンサーを学ぶ。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	デビュー対策プロジェクト(3) 韓国語(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	盧貞愛
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	韓国延世大学韓国語教師課程修了、韓国高麗サイバー大学韓国語学科卒業(韓国語教員資格2級取得)						
授業の学習 内容	K-POPや韓流ブームによって世界中韓国語がトレンドになっています。将来、仕事で使うビジネス韓国語はもちろんのこと、韓国文化も学ぶことで韓流を深く理解することを目指します。韓国語の基礎から日常会話、そして韓国の文化について学びます。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>ネイティブ発音・イントネーションで自然な会話ができる。</li> <li>変則活用を正しく使うようになる。</li> <li>短い文を連結してまとめて言えるようになる。</li> <li>進行形や今の状況が話せる。</li> <li>日常生活に必要な会話を身に付ける。</li> </ol>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	Lesson21 尊敬語の過去形で話す。	活用シート完成・練習 表現練習
2	4月25日	講義・演習	Lesson22 可能・不可能表現ができる。	第4章第12課練習 会話文の暗記
3	5月9日	講義・演習	Lesson23 変則活用ができる。 ㄹ, ㅂ, ㅅ 会話の練習。	活用シート完成・練習 会話文の暗記
4	5月16日	講義・演習	Lesson24 変則活用ができる。 ㅁ, ㄴ 会話の練習。	活用シート完成・練習 会話文の暗記
5	5月23日	講義・演習	Lesson25 命令表現: 丁寧な命令、ぞんざいな命令。	第4章第13課練習、命令・指示・依頼の練習
6	5月30日	講義・演習	Lesson26 文の羅列・理由・先行動作で理由が言える。	第4章第11課練習
7	6月6日	講義・演習	Lesson27 逆説の表現ができる。	比較・頼む時使う練習 会話文の暗記
8	6月13日	講義・演習	Lesson28 現在連体形、状態の進行形ができる。	進行形の使い分けの練習
9	6月20日	講義・演習	Lesson29 仮定・条件の表現ができる。	方法・手段を尋ねる練習
10	7月4日	講義・演習	Lesson30 変則活用ができる。 ㅁ, ㄴ 会話の練習。	活用シート完成・練習 会話文の暗記
11	7月11日	講義・演習	テスト: 筆記試験、会話試験。	レポート提出
12	7月18日	講義・演習	韓国の文化を理解する。	
13	8月22日	講義・演習	イベント実践を通してやさしい韓国語を活用する。	レポート提出
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してやさしい韓国語を活用する。	ワークシート提出
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してやさしい韓国語を活用する。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
KO韓国語初歩の初歩、KO韓国語「文法」トレーニング、できる韓国語初級1/初級2、ワークブック				

科目名	デビュー対策プロジェクト(4) Theme Park Project(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西川明宏
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	TSM卒業後2006年オリエンタルランド入社。関東大手テーマパークにて4年間ダンサーとして出演。その後フリーランスとして、キッズショーなど様々な舞台に立つ。現在はテーマパークの振付などでも活躍中。						
授業の学習 内容	①ウォーミングアップからしっかり身体作りを行い、一人一人が自分と向き合って基礎力を向上させる。 ②テクニックを身につける上で、クロスフロアなど基礎から応用まで反復練習させる。 ③オーディション対策クラスとして、振り渡しから本番同様のイメージで行い、実践的な即戦力を養う。 ④様々なコンビネーションを通してブラッシュアップをする事で、次の授業のステップアップを目指す。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーディションを通過する為のテクニックや表現力を身に付けること。</li> <li>オーディション本番に向けての知識も身に付け、適した服装やメイク等の意識を高める。</li> <li>プロフェッショナルとして精神面・人間性を養い、様々な環境で活躍できる人材になる。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	基礎力や対応力のスキルチェック。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
2	4月21日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
3	5月12日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
4	5月19日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
5	5月26日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
6	6月2日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
7	6月9日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
8	6月16日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
9	6月23日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
10	6月30日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
11	7月7日	講義・演習	テスト。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
12	7月14日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
13	8月25日	講義・演習	オーディションに向けての基礎トレーニング、コンビネーション・実践練習。	ストレッチ・トレーニング・クールダウン
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してテーマパークダンサーを学ぶ。	ワークシート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通してテーマパークダンサーを学ぶ。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	デビュー対策プロジェクト(4) 韓国語(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	盧貞愛
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	韓国延世大学韓国語教師課程修了、韓国高麗サイバー大学韓国語学科卒業(韓国語教員資格2級取得)						
授業の学習 内容	K-POPや韓流ブームによって世界中韓国語がトレンドになっています。将来、仕事で使うビジネス韓国語はもちろんのこと、韓国文化も学ぶことで韓流を深く理解することを目指します。韓国語の基礎から日常会話、そして韓国の文化について学びます。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>ネイティブ発音・イントネーションで自然な会話ができる。</li> <li>日常生活の会話ができる。</li> <li>相手の話がよく聞き取れる。</li> <li>連体形、願望、勧誘、禁止、義務、意志、試みるなどが言えるように練習する。</li> <li>自分の気持ちをよく伝えることができる。</li> </ol>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	Lesson31 願望する、許可を求める。	第5章第2・6課 会話文の暗記
2	10月17日	講義・演習	Lesson32 勧誘表現:丁寧な表現、ぞんざいな表現。	第5章第7・10課 会話文の暗記
3	10月24日	講義・演習	Lesson33 禁止表現:丁寧な表現、ぞんざいな表現。	会話文の暗記
4	10月31日	講義・演習	Lesson34 義務、必須表現ができる。	活用シート完成・練習
5	11月7日	講義・演習	Lesson35 意志・未来表現ができる。	活用シート完成・練習、自分の予定を言う練習
6	11月14日	講義・演習	Lesson36 形容詞の現在連体形を活用する。	活用シート完成・練習、会話文の暗記
7	11月21日	講義・演習	Lesson37 動詞の現在連体形を活用する。	活用シート完成・練習、会話文の暗記
8	11月28日	講義・演習	Lesson38 動詞の過去連体形を活用する。	活用シート完成・練習、会話文の暗記
9	12月5日	講義・演習	Lesson39 ーしてください、ーしてあげる表現ができる。	活用シート完成・練習、助けてあげる・くれる練習
10	12月12日	講義・演習	Lesson40 試みる、ーしておく表現ができる。	試してみたこと・試してみたいことの発表
11	12月19日	講義・演習	テスト:筆記試験、会話試験。	レポート提出
12	1月16日	講義・演習	韓国の文化を理解する。	
13	1月23日	講義・演習	イベント実践を通してやさしい韓国語を活用する。	レポート提出
14	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してやさしい韓国語を活用する。	ワークシート提出
15	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してやさしい韓国語を活用する。	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
KO韓国語初歩の初歩、KO韓国語「文法」トレーニング、できる韓国語初級1/初級2、ワークブック				

科目名	Art of K-pop Vocal(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 潤豊 キム・ゴン ヒョン
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。					
授業の学習 内容	海外でも高い評価を得ているK-POPの曲や今のトレンドに合う曲をピックアップし、歌とダンスは勿論、歌の中での韓国語の発音、ピッチ、リズムなどを細かく指導。週毎に曲を変える。クオリティを上げるための生徒個々のプロセスを管理する。約2ヶ月に1回、クオリティチェックを行い、業界第一線の目線から、より成長するため客観的アドバイスを受ける。□					
到達目標	K-POPを学ぶことでアーティストとして、歌、ダンスのスキルを上げる。卒業後、K-POPに限らず、色んなお仕事にも対応できる水準まで御術を上げて行く。共創、コラボレーションの大切さを重視し、実践する。良い言葉使ったコミュニケーション力を上げる。相手を活かし、自分を活きる。チームを活かし、更に自分を活きる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	ピッチ、リズム、言葉、アクセント、音色、声を鳴らして歌えるようラララなどで歌うことを課題としてレクチャー□	曲の中の発音、課題曲の練習□
2	5月7日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセッションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー□	歌うセッションの細かい発音、課題曲の練習
3	5月14日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
4	5月21日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
5	5月28日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中の発音、課題曲の練習□
6	6月4日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセッションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー□	歌うセッションの細かい発音、課題曲の練習
7	6月11日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
8	6月18日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
9	6月25日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中の発音、課題曲の練習□
10	7月2日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセッションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー□	歌うセッションの細かい発音、課題曲の練習
11	7月9日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
12	7月16日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
13	8月27日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中の発音、課題曲の練習□
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Art of K-pop Vocal(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 潤豊 キム・ゴン ヒョン
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。K-POPやJ-POPアーティストの歌唱指導を行っている。					
授業の学習 内容	海外でも高い評価を得ているK-POPの曲や今のトレンドに合う曲をピックアップし、歌とダンスは勿論、歌の中での韓国語の発音、ピッチ、リズムなどを細かく指導。週毎に曲を変える。クオリティを上げるための生徒個々のプロセスを管理する。約2ヶ月に1回、クオリティチェックを行い、業界第一線の目線から、より成長するため客観的アドバイスを受ける。□					
到達目標	K-POPを学ぶことでアーティストとして、歌、ダンスのスキルを上げる。卒業後、K-POPに限らず、色んなお仕事にも対応できる水準まで御術を上げて行く。共創、コラボレーションの大切さを重視し、実践する。良い言葉使ったコミュニケーション力を上げる。相手を活かし、自分を活きる。チームを活かし、更に自分を活きる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	ピッチ、リズム、言葉、アクセント、音色、声を鳴らして歌えるようラララなどで歌うことを課題としてレクチャー□	曲の中の発音、課題曲の練習□
2	10月15日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセッションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー□	歌うセッションの細かい発音、課題曲の練習
3	10月22日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
4	10月29日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
5	11月5日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中の発音、課題曲の練習□
6	11月12日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセッションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー□	歌うセッションの細かい発音、課題曲の練習
7	11月19日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
8	11月26日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
9	12月3日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中の発音、課題曲の練習□
10	12月10日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセッションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー□	歌うセッションの細かい発音、課題曲の練習
11	12月17日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
12	1月21日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
13	2月4日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中の発音、課題曲の練習□
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Art of K-pop Dance(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	新井杏子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンスインストラクター歴27年□						
授業の学習 内容	海外でも高い評価を得ているK-POPの曲や今のトレンドに合う曲をピックアップし、歌とダンスは勿論、歌の中での韓国語の発音、ピッチ、リズムなどを細かく指導。週毎に曲を変える。クオリティを上げるための生徒個々のプロセスを管理する。約2ヶ月に1回、クオリティチェックを行い、業界第一線の目線から、より成長するため客観的アドバイスを受ける。□						
到達目標	K-POPを学ぶことでアーティストとして、歌、ダンスのスキルを上げる。卒業後、K-POPに限らず、色んなお仕事にも対応できる水準まで御術を上げて行く。共創、コラボレーションの大切さを重視し、実践する。良い言葉使ったコミュニケーション力を上げる。相手を活かし、自分を活きる。チームを活かし、更に自分を活きる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	ピッチ、リズム、言葉、アクセント、音色、声を鳴らして歌えるようラララなどで歌うことを課題としてレクチャー□	曲の中の発音、課題曲の練習□
2	5月7日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセッションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー□	歌うセッションの細かい発音、課題曲の練習
3	5月14日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
4	5月21日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
5	5月28日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中の発音、課題曲の練習□
6	6月4日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセッションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー□	歌うセッションの細かい発音、課題曲の練習
7	6月11日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
8	6月18日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
9	6月25日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中の発音、課題曲の練習□
10	7月2日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセッションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー□	歌うセッションの細かい発音、課題曲の練習
11	7月9日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
12	7月16日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
13	8月27日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中の発音、課題曲の練習□
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Art of K-pop Dance(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	新井杏子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンスインストラクター歴27年□						
授業の学習 内容	海外でも高い評価を得ているK-POPの曲や今のトレンドに合う曲をピックアップし、歌とダンスは勿論、歌の中での韓国語の発音、ピッチ、リズムなどを細かく指導。週毎に曲を変える。クオリティを上げるための生徒個々のプロセスを管理する。約2ヶ月に1回、クオリティチェックを行い、業界第一線の目線から、より成長するため客観的アドバイスを受ける。□						
到達目標	K-POPを学ぶことでアーティストとして、歌、ダンスのスキルを上げる。卒業後、K-POPに限らず、色んなお仕事にも対応できる水準まで御術を上げて行く。共創、コラボレーションの大切さを重視し、実践する。良い言葉使ったコミュニケーション力を上げる。相手を活かし、自分を活きる。チームを活かし、更に自分を活きる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	ピッチ、リズム、言葉、アクセント、音色、声を鳴らして歌えるようラララなどで歌うことを課題としてレクチャー□	曲の中の発音、課題曲の練習□
2	10月15日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー□	歌うセクションの細かい発音、課題曲の練習
3	10月22日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー	ダンスと合わせて課題曲の練習
4	10月29日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
5	11月5日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う(WE ARE曲の提示)	曲の中の発音、課題曲の練習□
6	11月12日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー(WE ARE曲のチェック)	歌うセクションの細かい発音、課題曲の練習
7	11月19日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー(WE ARE曲のチェック)	ダンスと合わせて課題曲の練習
8	11月26日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー(WE ARE曲のチェック)	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
9	12月3日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う	曲の中の発音、課題曲の練習□
10	12月10日	講義・演習	宿題のチェック&フィードバック。歌うセクションによって細かいディレクションを宿題としてレクチャー□	歌うセクションの細かい発音、課題曲の練習
11	12月17日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌い、その中で歌のレクチャー(WE ARE曲のチェック)	ダンスと合わせて課題曲の練習
12	1月21日	講義・演習	ダンスのフリと一緒に歌を指導。歌の精度は勿論、感情表現、目、口、表情なども共にレクチャー	課題曲の練習、オリジナルアーティストの動画を見て表情、目、口の使い方を研究
13	2月4日	講義・演習	クラス内発表会！映像収録。フィードバック。次の課題曲で1週目の授業内容を行う□	曲の中の発音、課題曲の練習□
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通してK-popを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	振付理論(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家						
授業の学習 内容	①ダンスを追究して行くなら振付と構成を学ぶ必要がある。 ②どんなジャンルにも対応可能な振付構成法です。 ③ダンスは、振付より構成の方が大事、少しでも構成が上手になって欲しい。 ④振付と構成の講義(実技あり)→動画から構成読み取り→実践を通して学ぶ。*授業の進行状況によっては、授業内容の変更あり。						
到達目標	①振付と構成の講義(①ダンスと音楽の関係性。②作品構造の考え方。③振付と構成の考え方。④動きのフレーズ構成・フォーメーションと空間構成。)②動画から構成読み取り(実際に幾つかの作品動画を見ながら構成等の読み取りを行う。)③実践を通して学ぶ(グループになり簡単な動きと構成を創り実験、修正しながら経験していく。)①～③を習得						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	オリエンテーション・①振付と構成の講義。	シラバス等を見て準備する。
2	5月7日	講義・演習	②振付と構成の講義。	前回授業の復習(確認と理解)
3	5月14日	講義・演習	③振付と構成の講義。	前回授業の復習(確認と理解)
4	5月21日	講義・演習	①動画から構成読み取り。	前回授業の復習(確認と理解)
5	5月28日	講義・演習	②動画から構成読み取り。	前回授業の復習(確認と理解)
6	6月4日	講義・演習	③動画から構成読み取り。	前回授業の復習(確認と理解)
7	6月11日	講義・演習	④動画から構成読み取り。	前回授業の復習(確認と理解)
8	6月18日	講義・演習	①実践(1)(振付構成)	前回授業の復習(確認と理解)
9	6月25日	講義・演習	②実践(1)(振付構成)	前回授業の復習(確認と理解)
10	7月2日	講義・演習	③実践(1)(振付構成)	前回授業の復習(確認と理解)
11	7月9日	講義・演習	④実践(1)(振付構成)	前回授業の復習(確認と理解)
12	7月16日	講義・演習	⑤実践(1)(振付構成)	前回授業の復習(確認と理解)
13	8月27日	講義・演習	実践試験(振付構成)	試験結果の反省と今後の対策。
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して振付理論を学ぶ	ワークシート提出
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して振付理論を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			授業内容を確認、理解し自身のスキルアップを計画的に考えて復習。	
【使用教科書・教材・参考書】				
講義・読み取り講義→筆記用具・iphone等・pc)実践→レッスン着等。				

科目名	振付理論(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家						
授業の学習 内容	①ダンスを追究して行くなら振付と構成を学ぶ必要がある。 ②どんなジャンルにも対応可能な振付構成法です。 ③ダンスは、振付より構成の方が大事、少しでも構成が上手になって欲しい。 ④実践を通して学ぶ。* 授業の進行状況によっては、授業内容の変更あり。						
到達目標	④実践を通して学ぶ(グループになり簡単な動きと構成を創り実験、修正しながら経験していく。)④舞台照明の講義。③を繰り返し実践していく事でダンス作品の振付・構成の更なるスキルアップを目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	①舞台照明の講義	前期授業の復習(確認と理解)
2	10月15日	講義・演習	②舞台照明の講義	前回授業の復習(確認と理解)
3	10月22日	講義・演習	③舞台照明の講義	前回授業の復習(確認と理解)
4	10月29日	講義・演習	①実践(2)(振付構成)	前回授業の復習(確認と理解)
5	11月5日	講義・演習	②実践(2)(振付構成)	前回授業の復習(確認と理解)
6	11月12日	講義・演習	③実践(2)(振付構成)	前回授業の復習(確認と理解)
7	11月19日	講義・演習	④実践(2)(振付構成)	前回授業の復習(確認と理解)
8	11月26日	講義・演習	グループ講評	前回授業の復習(確認と理解)
9	12月3日	講義・演習	①実践(3)(振付構成)	前回授業の復習(確認と理解)
10	12月10日	講義・演習	②実践(3)(振付構成)	前回授業の復習(確認と理解)
11	12月17日	講義・演習	③実践(3)(振付構成)	前回授業の復習(確認と理解)
12	1月21日	講義・演習	④実践(3)(振付構成)	前回授業の復習(確認と理解)
13	2月4日	講義・演習	実践試験(振付構成)	試験結果の反省と今後の対策。
14	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して振付理論を学ぶ	ワークシート提出
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通して振付理論を学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習		授業内容を確認、理解し自身のスキルアップを計画的に考えて復習。		
【使用教科書・教材・参考書】				
講義・読み取り講義→筆記用具・iphone等・pc)実践→レッスン着等。				

科目名	Teacher's Training(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	新井杏子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンスインストラクター歴27年□						
授業の学習 内容	ダンスを学びたいあらゆる対象者に合った教えるスキルを身につけ、対象者の技術の向上だけでなく、楽しさ、芸術性、個性を引き出す講師を目指す						
到達目標	対象者によつて的確に伝わる方法でレッスンできる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	授業内容の把握 ストレッチ構築	
2	4月24日	講義・演習	課外活動1のチーム作り、把握	ストレッチの構築
3	5月8日	講義・演習	幼児、小学生への指導方法(低学年)	課外活動の選曲
4	5月15日	講義・演習	小学生への指導方法(高学年)、課外活動2の準備	課外活動の振り付け
5	5月22日	講義・演習	課外活動1のフィードバック	課外活動2の選曲
6	5月29日	講義・演習	課外活動1のフィードバック、課外活動の準備	課外活動1,2の準備
7	6月5日	講義・演習	課外活動2の模擬レッスン	課外活動1,2の準備
8	6月12日	講義・演習	課外活動2	
9	6月19日	講義・演習	課外活動2のフィードバック、課外活動の準備	課外活動1、2の準備
10	7月3日	講義・演習	課外活動1、2の準備模擬レッスン	課外活動1,2の準備
11	7月10日	講義・演習	テスト	
12	7月17日	講義・演習	課外活動1、2の準備模擬レッスン	模擬レッスンの準備
13	8月21日	講義・演習	課外活動1、2の準備模擬レッスン	
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してインストラクターの考えを学ぶ	ワークシート提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してインストラクターの考えを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Teacher's Training(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	新井杏子
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ダンスインストラクター歴27年□						
授業の学習 内容	ダンスを学びたいあらゆる対象者に合った教えるスキルを身につけ、対象者の技術の向上だけでなく、楽しさ、芸術性、個性を引き出す講師を目指す						
到達目標	対象者によつて的確に伝わる方法でレッスンできる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	課外活動1のチーム作り、把握	
2	10月16日	講義・演習	小学生への指導方法(高学年)、課外活動2の準備	ストレッチの構築
3	10月23日	講義・演習	課外活動1、2の準備模擬レッスン	課外活動の選曲
4	10月30日	講義・演習	課外活動1、2の準備模擬レッスン	課外活動の振り付け
5	11月6日	講義・演習	課外活動1のフィードバック	課外活動2の復習
6	11月13日	講義・演習	ワークショップに向けてのレッスン構築	レッスンで使用する曲の選曲
7	11月20日	講義・演習	ワークショップ	ストレッチの確認
8	11月27日	講義・演習	ワークショップに向けてのレッスン構築	振り付けの確認
9	12月4日	講義・演習	ワークショップ	レッスンで使用する曲の選曲
10	12月11日	講義・演習	ワークショップに向けての準備、課外活動2の準備	ストレッチの確認
11	12月18日	講義・演習	テスト	
12	1月15日	講義・演習	ワークショップ	振り付けの確認
13	1月22日	講義・演習	ワークショップのフィードバック	
14	2月5日	講義・演習	イベント実践を通してインストラクターの考えを学ぶ	ワークシート提出
15	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してインストラクターの考えを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Creation Plus (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	櫻井郁也
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	舞踊家。日大芸術学部卒業後、コンテンポラリーダンスを中心にダンサー、振付、演出などの立場で舞台活動を重ねる。ポルトガル、ルクセンブルグほか海外公演、国内主要芸術祭への参加、NHK振付など作品多数。						
授業の学習 内容	①各種イベントや上演企画の実現、および、そのための作品創作を通じて、事業趣旨に合ったコンセプトメイキングと具体的な作品の創作および上演の実行力を育成する。 ②全科目の実技および知識をすべて活用し、卒業制作を前提とした高度な作品創作に挑戦する。						
到達目標	①実際のパフォーマンス体験やステージ構築を通じて、ダンサー・振付家としての専門スキルと高いコミュニケーション能力を身につける。また社会人として独立できる人格と自信、リーダーシップを身につけ、芸能芸術イベント(舞台、オンライン、映像などを含む)や、現場におけるダンサー・振付家としての基本的能力の獲得を目指す。②迅速で的確なコミュニケーション力と計画性を身につけ、他人との協力体制を構築できるようになる。③期限や予算を守った作業の実現力を身につけ、かつ、独自性の希求と妥協のない行動を実践する。④同学生年間で作品のほか一年生と組んだ縦割りグループでの作品も実践し、作品発表・作品評価・意見交換を活発に行なう。後期には卒業制作における作品創造・発表・出演・ステージ運営の実践を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	①授業の解説と計画 ②作品づくりと舞台制作についてのガイダンス(取り組むイベントのイメージング)	取り組んでみたい作品の構想を進めておく
2	4月21日	講義・演習	再演作品グループ分け～再演作品の振付開始	
3	5月12日	講義・演習	再演作品の作業 & 2年以上の新作プレゼン ★作品はこの時点でのプレゼンテーション通過で創作スタート。	プレゼン準備、企画書提出(取り組んでみたい作品のイメージや各自の関わり方についての考えを話せるようにしておく)
4	5月19日	講義・演習	作品づくり + 創作指導(再演 & 新作)	以後、毎回講師から出される課題や事前準備をこなしたうえで出席すること
5	5月26日	講義・演習	経過ショーイング～前期イベント企画のイメージをまとめる	
6	6月2日	講義・演習	オリジナル作品のプレゼン(事前に企画書を教務に提出) ★作品はこの時点でのプレゼンテーション通過で創作スタート。	
7	6月9日	講義・演習	前期イベント 企画の仮構築、作品を仮仕上げ	
8	6月16日	講義・演習	全作品の仮通し～進級公演 全体像まとめ	
9	6月23日	講義・演習	作品の修正、シーン繋ぎ、メンバー整理など	
10	6月30日	講義・演習	舞台構成、演出作業、作品ツメ(舞台の流れをつくる)	
11	7月7日	講義・演習	舞台構成、演出作業、作品ツメ(細部の直し)	
12	7月14日	講義・演習	前期イベントドレスリハーサル(繰り上がる可能性あり=随時告知)	
13	8月25日	講義・演習	前期イベント止め通し	
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			イベントに合わせて授業スケジュールを調整します。講師の指示による準備や事前練習が必要です。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Creation Plus(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	櫻井郁也
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	舞踊家。日大芸術学部卒業後、コンテンポラリーダンスを中心にダンサー、振付、演出などの立場で舞台活動を重ねる。ポルトガル、ルクセンブルグほか海外公演、国内主要芸術祭への参加、NHK振付など作品多数。						
授業の学習 内容	卒業制作としての作品創作と舞台上演の実現に挑戦し、専門家の評価に耐え得るパフォーマンスやステージ構築への実習を行う。これを通じて、入学以来学んだ全ての実技および知識を活用し、舞踊分野における専門スキルと高いコミュニケーション能力を身につける。						
到達目標	専門家として、また、社会人として、自立できる技術・人格・自信・リーダーシップを身につけ、芸能・芸術イベントおよび関連業務(舞台、オンライン、映像などを含む)の現場における基本的な作業能力の獲得を目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	卒業制作(We are TSM) 企画詳細の説明～作品づくりと舞台制作についてのガイダンス (時期が早くなる可能性もあります＝随時告知)	毎回の授業までに各自の下稽古や準備を進めておく。講師から随時指示を出します。
2	10月13日	講義・演習	作品プレゼン ★作品はこの時点でのプレゼンテーション通過で創作スタート。(作品試作での審査や出演者オーディションを行う可能性もあります)	プレゼン準備、企画書提出など(詳細は授業内で告知します)
3	10月20日	講義・演習	作品づくり指導	
4	10月27日	講義・演習	作品づくり指導(続き)	
5	11月3日	講義・演習	We are企画ツメ、作品づくり指導(続き)	
6	11月10日	講義・演習	We are 企画&作品の仮まとめ	
7	11月17日	講義・演習	仮通し～イメージや企画の修正を割り出し	
8	11月24日	講義・演習	作品のつくりこみ(細かい指導)	
9	12月1日	講義・演習	作品のつくりこみ(細かい指導)	
10	12月8日	講義・演習	シーン繋ぎ、メンバー整理など	
11	12月15日	講義・演習	ドレスリハーサル～演出作業(舞台の流れをつくる)	
12	1月19日	講義・演習	舞台の本構成、演出作業つづき(別途スケジューリング)	
13	2月2日	講義・演習	We are TSM 直前指導(別途スケジューリング)	
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			イベントに合わせて授業スケジュールを調整します。講師の指示による準備や事前練習が必要です。	
【使用教科書・教材・参考書】				